

TrueVIS LG-640/LG-540/LG-300 ユーザーズマニュアル



このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みください
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません

FA04403 R7-250327 https://www.rolanddg.co.jp/ Copyright © 2023 - 2025 Roland DG Corporation

基本的な扱い方	8
基本情報	9
エー にまた シングン シング シング シング シング シング シング シング シング シン	10
るのの石がC成化 プリンター大体	
ノリノソー本体	
ついえき。 おかいのでは、「ない」の「ない」。 おかいのでは、「ない」、	
は日本スメディアについて	
(史用9るメデイアについて) メディアの種類について	
スティアの性知について	
を取装直について	
を 収 表 直 の 伊 用 余 竹	
和官に ついて	
廃液ボトルの取り外しについて	
其太操作	27
ニー・ホート 電石の場次	2/ 20
电 ぶり床 IF 雪酒オ [、] /	עסרעסר
电 <i>际</i> イノ	
电 <i>添す フ</i>	29 30
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	31
ハッ ノビー「(自电)」1000/	22
利税ステイナのビットナッフ	
ロールスティア のとり トテップ	JZ 55
ろうてスティアのビットアップ	60
豆酥酒のケノイノ のビッドノッノ	69 69
コールバッキアのセットアップ カットメディアのセットアップ	90
	102
LΔNI (ローカルエリアネットワーク)の状能	102
インクの沈殿を防ぐ	
出力の一時停止と中止	104
出力の一時停止と再開	
出力の中止	
メディアを切り離す	106
メント・ション ション ション ション ション ション ション ション ション ション	109
これ没自己 ラバット・アンビス ファトター こののののののののでのです。	111
インクが無くなったときのお知らせ	
インクの交換方法	
インクの次殿を防ぐ	116
	117
パチルのシステーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
池浄液がゆくゆうたとさめの知らせ	
出力方法	
出力の準備と出力方法	
一日の作業前準備	
1 日のワークフローの確認	
マニュアルクリーニングの方法	
プリントの方法	
 プリント出力の準備	
出力の開始	
カットの方法	
カット出力の準備	
リットロリの年浦	

出力の開始	140
プリント&カットの方法	
プリント&カット出力の準備	141
出力の開始	148
クロップ&カットの方法	
クロップマーク付き出力の準備	150
クロップマーク付き出力の開始	157
カット出力の準備	
カット出力の開始	
b率を最適化する	163
力品質を最適化する	164
補正機能を使う	
必要な調整を自動で行う	
手動調整:横すじを軽減する(送り補正)	
手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)	
メディアの性質に応じた設定	
プリントヘッドの高さを変える	
浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する	
巻取装置の設定をする	
	175
メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する	
メディアを追めてメディア浮きを抑制する	
クノョノ で温ツ Cクノョノ けこで抑制 y Q	1/0 177
17版吋ツレーノー///////////////////////////////////	
山ノ」ハリーシー ノ 直反ではたりで	
リッティノンの設定で켁かく調金9つ カッティングタルを知わく記守する	
ハッナイノノ米叶で栖川へ設た9 る 切り込み号を知めて調整する	١٥١
9)リンの里で和かく詞至9 0 印刷面にカットオスとキの調整たオス	
い卿囲にカットタるとこの詞笙をするカッティング時の野鮮雄正たオス	184 107
カラフィンノ 呵の叱咄咄止でする 色をきれいにカットズきスようにすみ (オーバーカット)	10/ 100
円でされいにカットでさるようにする(オーハーカット)	100 100
〜1版のリンティンノ設定でノノドンエア KIF の設定よりも変元させる プロント 9 カットの記字を知わく調整する	
ノリノト&刀ツトの設正を枻小く調整9る	
印刷C刀ツトの9れで補止9るした室のざれた抹エナス	
リッナイノン則作中に印刷12直とリット12直の91にを佣止9る	
クロッノ&カットの設定を細かく調整する	
クロップ印刷とカットのすれを補止する(クロップ&カット同時テスト)	
クロップ印刷とカットのすれを補止する(クロップ/カット分離テスト)	
読み取りセンサーを補止する	
クリーニングによる印刷の中断を回避する	206
印刷中に行われるクリーニングについて	
業効率を最適化する	209
メディア設定を管理する	
メディア設定を変更する	210
登録済みのメディア設定を確認する	211
メディア名を変更する	212
メディア設定を複製する	213
カット用にメディア設定を複製する	214
メディア設定を削除する	
出力開始位置を調整する	
ペーフ ポノント た記字 オス	216
ハースホイノトを設定する	
ハースホイントを設定する	
ハースホイントを設定する 出力時間を短縮する 幅のせまいメディアへの出力を凍くする	
ハースホイントを設定する 出力時間を短縮する 幅のせまいメディアへの出力を速くする その他の便利な機能	

業務管理を最適化する	
	221
現在日時を設定してメンテナンスに活用する	221
メディアの残量を確認する	221
通知の表示/非表示を切り替える	222
クリーニングまでの残り時間を表示する	
スリープモード(省雷力機能)になるまでの時間を設定する	
プリンターの其木設定を管理する	220
クラクク の坐平設定で自建する	225
表示単位を変更する	220
プリンターの情報を確認する	230
ネットワークの情報を確認する	
操作パネルの明るさを調整する	
操作パネルの操作音を消す	
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す	
メンテナンス	236
はじめに	
取り扱いに際してのお願い	
プリンター	
インクカートリッジ	
メンテナンスの基礎知識	239
メンテナンスの種類とタイミング	239
長期間使わないときの処置	
レギュラーメンテナンス	
印刷前のプリントヘッドチェック	243
ノズル抜けテストを実施する	
巻体の清掃	245
メディアの通り道の清掃	245
カッティングキャリッジのローラーの清掃	
プリントヘッド用りの清掃	247
マニュアルクリーニングの方法	247
マニュアルクリーニングに関係する消耗品、消耗部品について	240 254
	254
月に1 反以上必安なノリーーノフ	
UV 照射装置の清掃方法	
廃液の処理	
 廃液処理におけるご注意	
廃液処理のメッセージが表示されたら	
ハードメンテナンス	
ドット抜け、ドットよれが発生したとき	
ノーマルクリーニングの方法	
ノーマルクリーニングの効果がないとき	
ミディアムクリーニングの方法	
パワフルクリーニングの方法	
ホワイトインクの色ムラが発生したとき	
インク循環の方法	
パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法	
ダンパー内インク更新の方法	
重度のドット抜け、ドットよれ、色ムラへの対応	
インク更新の方法	
· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する	

操作パネルが汚れたとき	
操作パネルの清掃方法	
消耗部品の交換	
インディング 田平県の交換	286
クノリリンス市中ロックス	
プリントヘッドキャップの交換	
ワイパークリーナーの交換	205
リイバー ショー・ショー・シュー の交換	293
フラッシングスポンジの交換	295
	293
ろ初の文決	
カプランの文瑛	302
交換前にお問い合わせが必要な消耗部品	
トラブルへの対応方法	
山ノ市賞のトフノル	
印刷が粗い/横すじが入る	
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか?	
プリントヘッド高さは適切ですか?	
[メディアキャップ補止] (インクの着理位置補止) はしてありますか?	
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	
印刷モートは週切ぐすか?	
メティアの取り付け方法は適切ですか?	
[メテイア設定]は週切で9か?	
印刷するとメディアが汚れる	
ノリントヘッドがメテイアに当たっていませんか?	
ノリントヘッドか汚れていませんか?	
ビンナローフーやメティアクランノか汚れていませんか?	
色が安定しない/ムラになる	
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか?	
インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか?	
メディアがしわになっていませんか?	
印刷途中に一時停止しませんでしたか?	
印刷中にクリーニングが行われていませんか?	
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	
メディアの取り付け方法は適切ですか?	
動作条件を適切に設定してありますか?	
[メディア設定]は適切ですか?	
UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか?	
カットがずれる/ゆがむ/きれいでない	
メディアの取り付け方法は適切ですか?	
カッティング条件の設定は適切ですか?	
出力の長さが長すぎませんか?	
伸縮の大きいメディアを使用していませんか?	
[カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか?	
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか?	
プリントとカットのずれを補正しましたか?	
カッターホルダーは適切に取り付けられていますか?	
カッターは消耗してませんか?	
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか?	
クロップ&カットのトラブル	314
クロップマークの自動検出に失敗した	

メディアサイブがナキすギキサんか?	315
メノイノ シイスがへき そうしが :	
ルで反射しドリいスティア/巴の振いスティアを使用しているとのか?	
透明はメディアを使っていませんか!	
印刷したクロップマークの色と機体で設定したクロップマークの色が異なっていませんか?	
プリントとカットがずれる	
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか?	317
メディア送りのトラブル	318
メディアがしわになる/縮む	
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?	
メディアをセットしたまま放置しませんでしたか?	
メディアクランプはセットしてありますか?	
フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか?	319
フロントヒーターの温度が高すぎませんか?	319
シロシャピーシー ジェレク によってのア・パート パート ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	319
応圧しているメディアにたわみがありませんか?	310
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?	
メディア送りがなめらかでない	321
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが厚すぎませんか?	
グリットローラーが汚れていませんか?	
メディアが詰まった	
エラーメッセージが表示されていませんか?	322
メディアが反ったりしわになったりしていませんか?	322
プリントヘッド言さが任すぎませんか?	322
グリットローラーが注わていませんか?	322
ノジットローン かりれている 2007 :	322
メディアナランフロビットしてのりよりか!	
入りすがはようすくさらんとビッドしてのりよすが?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	222
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか?	323 323
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?メディアが厚すぎませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?メディアが厚すぎませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?メディアが厚すぎませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
 メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
 メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? [出力できます。]と表示されていますか? カバーが開いていませんか? [出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか? 画面にメッセージが表示されていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? 【出力できます。]と表示されていますか? カバーが開いていませんか? 「出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか? 画面にメッセージが表示されていませんか? ケーブルが接続されていますか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? 「出力できます。]と表示されていますか? カバーが開いていませんか? 画面にメッセージが表示されていませんか? 小グレが表続されていますか? ムハのルーティングは適切ですか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? [出力できます。]と表示されていますか? カバーが開いていませんか? [出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか? 画面にメッセージが表示されていませんか? ケーブルが接続されていますか? LAN のルーティングは適切ですか? ソフトウェア RIP が異常終了していませんか? [インクカートリッジエラー]と表示されていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 機体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? 【出力できます。]と表示されていますか? カバーが開いていませんか? 「出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか? 画面にメッセージが表示されていませんか? ケーブルが接続されていますか? LAN のルーティングは適切ですか? LAN の設定は正しいですか? ソフトウェア RIP が異常終了していませんか? アロントヒーターが熱くならない メディアをセットアップしてありますか? [フロントヒーター]がオフになっていませんか? アロントヒーター]がオフになっていませんか? 第屋の温度が低すぎませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 様体のトラブル	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? ポレントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは プリンター本体が動かない 電源がオンになっていますか? [出力できます。]と表示されていますか? 加バーが開いていませんか? [出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか? かバーが開いていませんか? レAN のルーティングは適切ですか? レAN の設定は正しいですか? ソフトウェア RIP が異常終了していませんか? 「インクカートリッジエラー]と表示されていませんか? フロントヒーターが熟くならない メディアをセットアップしてありますか? [フロントヒーター]がオフになっていませんか? ボージが表示されていませんか? アーブレが整点されていませんか? パンクカートリッジエラー]と表示されていませんか? ジフトウェア RIP が異常終了していませんか? パンクカートリッジエラー]と表示されていませんか? ジロントヒーターが熟くならない メディアをセットアップしてありますか? ボーブの切り離しができない セパレーティングナイフは取り付けてありますか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? … メディアが厚すぎませんか? … 様体のトラブル … プリントヘッドが動かない	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?メディアが厚すぎませんか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 勝体のトラブル プリントヘッドが動かない はじめに行う処置 どうしても動かないときは	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 様体のトラブル	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか? メディアが厚すぎませんか? 様体のトラブル	

	222
[キャッノ父授の時期です。]	
[ワイパーグリーナー交換の時期です。]	
[UV ミストフィルター交換の時期です。]	
[フラッシングスポンジ交換の時期です。]	
[ヘッド保護モードに入ります。]	334
[洗浄液パウチを交換してください。]	
[洗浄液パウチをセットしてください。]	
[洗浄液が残りわずかです。]	
[インク攪拌の時期です。]	
- 「巻取装置の動作を停止しました。]	
「すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]	
「メディアクランプを正しくヤットしてください。]	336
[メディアクランプが検出できませんでした。]	336
[パン・インシンンが、役出てきなどのとした。]	
[にちちしたり)」「は「「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」」「「」」」「	
[没統に時间ががかっているす。IFプドレスを丁勤設定すると以答しるす。]	
[月貝朔岐が切れしいる1 ノノがのりより。]	
[メナイアを白剉快击でさませんでした。于剉で印刷視魂を設走しま9。]	
エラーメッセージ	
[インクカートリッジエラー]	
[カバーオープンエラー]	
[メディアエンドエラー]	339
[ピンチレバーエラー]	
[メディアセットエラー]	
[廃液ボトルエラー]	
[クロップマーク検出エラー]	
[ワイパー洗浄液が充てんできません]	
[ピンチローラーエラー]	
- 「ヘッド高さ不整合]	
[メディア幅が不足]	
[モーターエラー]	342
[ヘッド乾燥Tラー]	342
[サノ 和朱二ノ]	3/12
[[20画 エノ・」	3/12
[同風エノー] [ポンプ向ルてニ_]	
[ハノノア史エン [—]]	
[フリーニングエフー(1 ノンガードリッン)]	
[フリーーノジェフー(焼液小 トル)]	
[苍�� 表直通信 上 フ ー]	
[サービスコール]	
[ソフトウェアエラー]	
付録	345
移送するときの作業	
移送の準備をする	
Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す	
Step 2: インクを循環させる (ホワイトインクを使用している場合のみ)	349
	350
Step 3. が成と出ても、「これになって、 Sten 4. プリントヘッドを固定目で固定する	352
Step 5: 再設置する	
キな什様	
 「印刷 / カッティング領域	357
中間/ ガンノュノノ 原身 星十領械	,
取八限場 クロップフェクは用性の早上の別答案	
ノロッノャーノビ用时の取入印刷視場	
理枕印刷時のみティア列り離し位直	
カッターについて	360
Memo	361
この文書について	

ソフ	トウエア	につい	7
//	トノエノ		C

基本的な扱い方

基本情報

各部の名称と機能	10
プリンター本体	
巻取装置	
操作パネル	
使用するメディアについて	23
メディアの種類について	
使用可能なメディアの条件	24
巻取装置について	25
巻取装置の使用条件	
紙管について	
廃液ボトルについて	26
廃液ボトルの取り外しについて	

プリンター本体

前面



番号	名称	機能概要
1	インクスロット	インクカートリッジを保持します。 インクパウチをセットしたインクカートリッジを挿入します。
2	フロントカバー	機体作動時にプリントヘッドなどの高速で移動する部位との接触 を防止します。 UV ランプの紫外線やホコリをカットする働きもあります。 メディアをセットするときやメンテナンスをするとき以外は、閉じ ておきます。
3	操作パネル	印刷、設定、メンテナンスなど、すべての機体操作を行います。 P. 16 操作パネル
4	カバー L	機体左側の内部にアクセスします。 プリントヘッド周辺の清掃など、メンテナンスをするときに開けます。
5	カバー R	機体右側の内部にアクセスします。 清掃や部品交換など、メンテナンスをするときに開けます。
6	ローディングレバー(前側)	メディアを固定したり、固定を解除したりします。 機体の前側で作業しているときに使用します。下ろすとメディア が固定されます。
0	参取装置	印刷後のメディアを巻き取ります。 床に出力後のメディアが着かないように、出力物を巻き取ります。

10



番号	名称	機能概要
1	ローディングレバー(後側)	メディアを固定したり、固定を解除したりします。 機体の後ろ側で作業しているときに使用します。下ろすとメディ アが固定されます。
2	リア UV シールド	印刷時の UV ランプの光を遮光します。 メディアを取り付けるときに開け、終わったら閉じてください。 開けたままだと印刷できません。
3	メディアステイ	ロールメディアを一時的に保持します。 メディアホルダーにロールメディアを取り付けるときに、一時的 にロールメディアを置きます。
4	シャフト	メディアステイやメディアホルダーの位置を調整します。 メディアの幅に合わせてメディアステイやメディアホルダーを左 または右に移動します。
5	メディアホルダー	ロールメディアを保持します。 メディアホルダーのエンドキャップに紙管をはめ込みます。
6	廃液ボトル	洗浄液やインクの廃液を貯留します。 ボトルから廃液が溢れそうなときは、エラーが表示され印刷でき なくなります。
7	メイン電源スイッチ	機体のメイン電源をオンオフします。
8	電源コネクター	機体に電気を供給する電源ケーブルを接続します。





番号	名称	機能概要
1	イーサネットコネクター	イーサネットケーブルを接続します。
2	洗浄液スロット	洗浄液パウチをセットした洗浄カートリッジを保持します。

フロントカバー内部/プリントヘッド周辺



番号	名称	機能概要
1	UV 照射装置	UV 光を照射します。 印刷面に LIV 光を照射してインクを硬化します
		中間面にして見る思想してインクを使用しより。
2	UV ミストフィルター	UV 照射装置に流入するインクミストを吸着します。
3	プリントヘッドキャリッジ	内蔵したプリントヘッドや UV 照射装置を搬送します。
4	カッティングキャリッジ	カッターとセパレーティングナイフ(メディア切り離し用ナイ フ)を装備しています。 カッターとセパレーティングナイフを左右に搬送します。
5	カッターホルダー	カッティングで使用するカッターを保持します。
6	セパレーティングナイフ(メディア切り離し用ナイフ)	メディアを切り離しするナイフです。
0	ワイパー	プリントヘッドを清掃します。 プリントヘッドに付着した余分なインクや汚れを除去します。

番号	名称	機能概要
8	ワイパークリーナー	ワイパーに付着したインクや汚れを除去します。
9	フラッシングスポンジ	プリントヘッドからフラッシングされたインクを吸収します。
10	プリントヘッドキャップ	プリントヘッドの乾燥を防止します。 印刷待機時など、プリントヘッドが右側にあるときにプリント ヘッドと密着して、インク吐出面を保護します。
1	メディアクランプ	メディアの左右端を押さえます。 メディアの浮き上がりを抑えたり、メディア切り口の毛羽がプ リントヘッドにふれることを防ぎます。
12	グリットローラー	メディアを搬送します。
(3)	グリットマーク	グリットローラーの位置を示します。 メディアを取り付けるとき、ピンチローラーは必ずこのマーク の範囲内に配置してください。
(4)	ピンチローラー (左ピンチローラー、右ピンチローラー、ミドルピンチロ ーラー)	ローディングレバーの操作と連動して、下降/上昇します。 ローディングレバーをおろすと、ピンチローラーが下がりメデ ィアを挟み込みます。 ピンチローラーは、それぞれの位置で左ピンチローラー、右ピ ンチローラー、ミドルピンチローラーと呼びます。
(5)	カッタープロテクション	カッティング時のカッターの通り道です。 カッターの刃先を保護します。
(6)	プラテン	メディアの通り道です。 メディアの浮きを防ぐ吸着ファンが内蔵されています。
Ð	エプロン	メディアの通り道です。 エプロンには、ヒーターが内蔵されています。メディアを温め てメディア浮きを抑えます。

動作中にカバーを開けた場合

出力動作中にフロントカバー、カバーL、カバーR、リア UV シールド(以下、総称して「カバー」)のいずれかを開けると、本 機は緊急停止します。緊急停止すると、表示画面にカバーを閉じるように促すメッセージが表示されます。画面の指示にしたが って、カバーを閉じてください。

カバーを閉じると、作業を継続できるようになります。

カバーを閉じても作業を継続できない場合は、復帰できないエラーが発生している可能性があります。

関連情報

• P. 339 エラーメッセージ

卷取装置



番号	名称	機能概要
1	モーター付きメディアホルダー	巻き取り用の紙管の右側を保持します。 紙管の幅に合わせて右または左に動かして紙管をエンドキャップの適 切な位置まで差し込みます。 メディアホルダーに内蔵されたモーターでエンドキャップを回転させ てメディアを巻き取ります。
2	マニュアルスイッチ	メディアを巻き取るときに使用します。 操作パネルに手か届かないときに使います。
3	コントロールボックス	メディアの巻き取りを制御します。
(4)	エンドキャップ	巻き取り用の紙管を保持します。 エンドキャップの適切な位置まで紙管を差し込みます。
5	ダンサーローラー	メディアがたるんだり張りすぎたりしないようにメディアにかかる張 力を調整します。 巻取装置を使用しないときは奥に倒しておいてください。
6	メディアホルダー(左)	巻き取り用の紙管の左側を保持します。 紙管の幅に合わせて右または左に動かして紙管をエンドキャップの適 切な位置まで差し込みます。
0	シャフト	メディアホルダーの位置を調整します。 メディアの幅に合わせてメディアホルダーを左または右に移動しま す。

操作パネル



番号	名称	詳細
1	ステータスバー	プリンターの状態表示や次に行う操作を案内します。
2	ホーム	ホーム画面を表示します。
3	-בבא	各種の設定メニューを表示します。
(4)	通知	重要なお知らせを表示します。通知がある場合は、通知の 数がアイコンの横に表示されます。
5	サブ電源	操作パネルの電源を操作します。
6	メディア情報	メディア名、メディア幅(W)、メディア残量(L)を表示 します。メディアがセットアップされていて、メディア残 量が設定されているときだけ表示されます。メディア幅 (W)、メディア残量(L)をタップすると[メディア残量管 理]画面が表示されて、メディアの残量を設定できます。 P. 222 メディアの残量を確認する
7	インク残量	インクカートリッジごとのインク残量を表示します。交換時期を迎えた色のインクカートリッジには いが表示されます。タップすると各インクの詳細情報が表示されます。
8	フロントヒーター温度	フロントヒーターの温度を「現在の温度/設定温度」として表示します。 図は、ヒーターがオフの状態を表しています。オンの状態は、ヒーターがオフの状態を表しています。オンの状態 は、ヒーター部分が赤くなります。 タップすると画面が表示されて、以下の設定ができます。 ・ <u>メディアがセットアップされていないとき</u> [待機時ヒーター温度]の設定ができます。 ・ <u>メディアがセットアップされているとき</u> [ヒーター温度]の設定ができます。
(9)	参取装置	巻取装置の状態を表示します。タップすると、[巻き取り設 定]画面が表示されて、[巻き取り方法]と[巻き取り方向]を 設定できます。

番号	名称	詳細
0	[セットアップ]/[セットアップ解除]	メディアのセットアップを開始または解除します。 P. 32 新規メディアのセットアップ P. 69 登録済みメディアのセットアップ
(1)	[クリーニング]/[ノズル抜けテスト]	ノズル抜けチェックのためのテストプリントやクリーニン グに関するメニューを表示します。
12	[カッター調整]	カッティング条件を設定します。メディアをセットアップ したときだけ有効です。
(3)	[移動]	メディアを送ったり、キャリッジを移動したりできます。 移動した位置を出力エリアの右端(ベースポイント)に設 定することもできます。 P.216 出力開始位置を調整する
Ø	[シートカット]	セパレーティングナイフが動作し、メディアを切り離した り、ミシン目カットを入れたりすることができます。例え ば、ミシン目カットにすることで、メディアを巻き取った 後で切り離しが出来ます。 また、メディアの切り離しおよびミシン目カットをした後 のメディア余白を調整することもできます。 P. 106 メディアを切り離す

☞ メニュー一覧

をタップして操作する一覧を示します。

XE

[メディア設定]はメディアをセットアップしたときだけ表示されます。

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[メディア設定] ^{*1}	[メディア設定値一覧]			セットアップされたメディアの設定値を一覧で表示しま す。各設定値をタップすると、設定を変更する画面に移り ます。
	[印刷設定]	[ヘッド高さ設定]		ヘッド高さの確認・変更をします。
		[一括自動補正]		[マルチセンサー調整]、[メディアギャップ補正]、[送り補 正]を順番に実施します。
		[送り補正]	[簡易補正 (自動)]	印刷時のメディアの送り量を補正します。[簡易補正(自 動)]では、テストパターンを印刷し、それをセンサーで読 み取ることで自動で補正値を設定します。
			[詳細補正 (手動)]	印刷時のメディアの送り量を補正します。[詳細補正(手 動)]では、テストパターンを印刷し、印字された補正値を 目視確認して補正値を手入力します。
	[メディアギャッ プ補正]	[簡易補正 (自動)]	インクの着弾位置を補正します。[簡易補正(自動)]では、 テストパターンを印刷し、それをセンサーが読み取ること で自動で補正値を設定します。	
			[詳細補正 (手動)]	インクの着弾位置を補正します。[詳細補正(手動)]では、 テストパターンを印刷し、印字された補正値を目視で確認 して補正値を手入力します。
	[カット設定]	[カッター調整]		[カッター圧]や[カット速度]など、カッティングの条件を 設定します。
	[[プリント&カット位置調整]		プリント&カットする際に、印刷位置とカッティング位置 のずれを補正します。
		[クロップカット位		クロップカットする際に、クロップマーク位置とカッティ ング位置のずれを補正します。
		[カット距離補正]		メディアの移動距離の変化によって起こるカット線の長 さのずれを補正します。
		[オーバーカット]		カット線の外枠の角部分を少し長めにカットすることで、 角をきれいにカットすることができます。

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細	
[メディア設定] ^{*1}	[ヒーター温度]			メディアがセットアップされているときのフロントヒー ター温度を設定します。	
	[その他のメ [マルチセンサー調整] ディア設定]			クロップマークの読み取りや自動補正機能で使うマルチ センサーを最適な状態に補正します。	
		[メディア吸着力設	定]	プラテンでのメディアの吸着力を調整します。	
		[印刷時の動作幅]		印刷時、キャリッジの動作幅を[出力データ幅][メディア 幅][全幅]から選択します。	
		[ミドルピンチ自動昇降]		引き戻し印刷やプリント&カットのときにミドルピンチ ローラーを自動で上昇させます。	
	[一括メディア】	設定]		操作パネルの案内に沿って操作を進めて行くことで、メディアのセットアップに必要なひと通りの設定ができます。	
[メディア管理]				登録済みのメディアー覧が表示されます。最大 50 のス ィア名を保持することができ、メディア設定について」 の操作ができます。	
				 ・設定内容を一覧で確認 ・メディア名の変更 ・メディア設定の複製 ・メディア設定の削除 	
[クリーニング]	[テストプリン	F]		印刷する前に[ノズル抜けテスト]でプリントヘッドから正 常にインクが吐出されるかどうかを確認してください。 ノズル抜けがあった場合はノズル抜けの重症度に合わせ て各種クリーニングを行ってください。どうしても吐出 不良が改善されない場合は、[ノズルマスクテスト]で問題 のノズルを特定して使用しないようにもできます。	
	[ノーマルクリーニング]			ドット抜けやドットよれが発生した際に、ノズルを[A グ	
	[ミディアムクリーニング]			┃ループ][Bグループ][両万]から選択し、プリントヘッドの 」クリーニングを行います。改善しないときはさらに強力	
	[パワフルクリーニング]			なクリーニングを行ってください。 また、[パワフルクリーニング]はホワイトインクの色ムラ を改善する効果もあります。 メディアがセットアップ済の場合、[クリーニング後、テス トプリントを行う。]メニューが表示されます。オンにす るとクリーニングのあと、テストプリントを行います。	
	[マニュアルクリーニング]			プリントヘッド周辺を洗浄液とクリーニングスティック を使って清掃します。	

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[メンテナンス]	[ワイパー交換]		•	プリントヘッドを清掃するワイパーを交換します。
	[カッター交換]			カッティングに使うカッターを交換します。
	[セパレーティ:	ングナイフ交換]		メディアを切り離すときに使うセパレーティングナイフ を交換します。
	[キャップ交換]			プリントヘッドを乾燥やほこりから保護するプリントへ ッドキャップを交換します。
	[ワイパークリ・	-ナー交換]		ワイパーの汚れを拭き取るワイパークリーナーを交換し ます。
	[UV ミストフィ	ィルター交換]		インクミストを吸着する UV ミストフィルターを交換し ます。
	[フラッシング]	スポンジ交換]		フラッシングしたインクを吸収するフラッシングスポン ジを交換します。
	[インク更新]			[ノーマルクリーニング]、[ミディアムクリーニング]、[パ ワフルクリーニング]や[マニュアルクリーニング]を行っ ても吐出不良や色ムラが直らないときに実施します。た だし、インクの消費量が多く、プリントヘッドも傷みやす くなるため必要以上に行わないでください。
	[ダンパー内イ:	ン ク更新] ^{*2}		インクカートリッジを振るインク撹拌や[インク循環]を行 ってもホワイトインクの色ムラが直らないとき、出力を安 定させるために使用します。ただし、インクの消費量が多 く、プリントヘッドも傷みやすくなるため必要以上に行わ ないでください。
	 [インク循環] ^{*2}			ホワイトインクの色ムラを防ぐため、インクを循環しま す。 メディアがセットアップ済の場合、[インク循環後、テスト プリントを行う 。]メニューが表示されます。オンにする と[インク循環]のあと、テストプリントを行います。
	[廃液ボトル]			廃液が廃液ボトルにたまるとメッセージが表示されます。 廃液を捨てるときにこのメニューを使用します。

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細	
[環境設定]	[メディアエッ:	ジ検出]		メディアの前端と後端の検出をするかどうかを設定しま す。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用 するときは、この設定を[無効]にすることで端を検出せず にメディアをセットアップすることができます。	
	[巻き取り設定]			巻き取り装置の[巻き取り方法]と[巻き取り方向]を設定し ます。	
	[メディア残量	管理]		セットアップされたメディアの残量を設定して残量が表 示されるようにします。メディアに残量を印刷すること もできます。	
	[セットアップ]	持の斜行矯正補助]		セットアップするときに音や自動吸着ファンが動作する ことにより、メディアが斜めに取り付けられないように補 助します。	
	[テストプリン	ト位置]		テストパターンの印刷を[縦]方向に並べるか、[横]方向に 並べるかを設定します。	
	[ミシン目シー	トカット設定]		ミシン目シートカットの条件を設定します。	
	[待機時ヒーター温度]			メディアがセットアップされていないときのフロントヒ ーター温度を設定します。	
	[出力時の先送り設定]			メディアがカッティングなどで引き出されるときに、無理 に引っ張られないように、メディアを先送りします。	
	[カット設定の(憂 先度]		本機とソフトウェア RIP とで、どちらのカット設定を優先 するかを設定します。	
	[インク循環の]	間隔] ^{*2}		ホワイトインクを循環する頻度を設定します。	
	[通知の表示/非	表示]		オンにすると適切な時期に通知を表示します。	
				・ [インク攪拌通知] ^{*2} ・ [ミドルピンチローラー配置通知] ・ [メディアクランプ配置通知] ・ [インクの消費期限通知]	
	[印刷中クリーニングまでの残り時間]			自動で行われるクリーニングまでの残り時間を表示する かどうかを設定します。 オンにすると、設定画面にクリーニング&カウントクリア のメニューとホーム画面にクリーニングが開始されるま での残り時間を表示します。	
	[スリープ時間設定]			スリープモード(省電力機能が働く状態)になるまでのB 間を設定します。	
	[工場出荷時の設定に戻す]			[言語設定]と[単位設定]以外のすべての設定を出荷時の設定に戻します。	

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4	詳細
[システム情報]	[機体情報]			[モデル]、[シリアル]、[インクタイプ]、[ファームウェア バージョン]、[MAC アドレス]が確認できます。
	[ネットワーク設定]			機体をコンピューターと接続するために、[IP アドレスの 自動取得][IP アドレス][サブネットマスク][デフォルトゲ ートウェイ]を設定します。
	[単位設定]			[長さ単位][温度単位]を設定します。
	[言語設定]			言語を設定します。設定できる言語は日本語、英語、フラ ンス語、イタリア語、ドイツ語、欧州スペイン語、南米ス ペイン語、南米ポルトガル語などです。
	[日時設定]			現在の年・月・日・時・分・秒を設定します。
	[画面の明るさ]			操作パネルの画面の明るさを調整します。
	[画面の操作音]			操作パネルを操作するときの音のオン/オフを設定しま す。
	[ライセンス]			 操作パネルのライセンス情報を表示します。

*1 この設定はメディアをセットアップしたときだけ表示されます。

*2 ホワイトインクを含むインクタイプの機体にだけ表示されるメニューです。

メディアの種類について

本書では、出力に使用する用紙を「メディア」と呼びます。本機で使用するメディアには大きく分けて次の2種類があります。

• ロールメディア:紙管などに巻かれているもの

• カットメディア:定型サイズのメディアなど、紙管などに巻かれていないもの

ロールメディア、カットメディア共に用途に合わせてさまざまな紙質の種類を選択できます。各メディアの詳細については、メ ディアの購入先にお問い合わせください。

使用可能なメディアの条件

本機は、どんなメディアにでも印刷できるわけではありません。メディアの選定にあたっては、必ずテストを行い、満足できる出力結果が得られるか事前に確認してください。

<u>サイズ</u>

	64 インチモデル	54 インチモデル	30 インチモデル
^₩₩*1	335 ~ 1,625 mm	295 ~ 1,371 mm	182 ~ 762 mm
カッティング可能なメディア厚み ^{*1}	0.08 ~ 0.22 mm(メディアの材質による)		
台紙(剥離紙)を含む最大メディア厚み*1 印刷だけの場合:1.0 mm カッティングする場合:0.4 mm			
ロールメディアの最大外径	250 mm		
ロールメディアの紙管内径	76.2 mm(3 インチ)または 50.8 mm(2 インチ)		

*1 ロールメディア、カットメディア共通

ロール最大重量

- 64 インチモデル:45 kg
- 54 インチモデル:35 kg
- 30 インチモデル: 30 kg

(XE

巻取装置を使用する場合は、巻取装置の条件に依存します。

その他の条件

次のようなメディアは使用できません。

- メディアの巻き始めが紙管(芯)に接着されているもの
- 強く反っているか、巻き癖の強いもの
- メディアヒーティングシステムの熱に耐えられないもの
- 紙管(芯)が曲がったりつぶれたりしているもの
- 取り付け時にロールが自重で曲がってしまうもの
- ロール自体がたわんでいるもの
- ロールに巻きずれがあるもの

巻取装置の使用条件

メディアを無理に引っぱらないでください

メディアが無理に引っぱられると、保護機能が働きエラーの原因となります。メディアが無理に引っぱられることを避けるため、次のことを必ず守ってください。

ローディングレバーでメディアを固定した状態で巻取装置のマニュアルスイッチを操作しない。

メディアが無理に引っぱられてエラーの原因となります。

メディアの自動切り離し機能を使わないでください

ソフトウェア RIP でメディアの自動切り離しを実行するように設定されていると、1 ページの印刷が終わるごとにメディアの切り離しが行われます。複数ページを続けて印刷し、巻き取る場合は、ソフトウェア RIP で自動切り離し機能を無効にしてください。メディアが切り離されると、巻き取りはそこで中断します。

×E

ソフトウェア RIP によってはミシン目シートカットが設定できます。ミシン目シートカットはメディアが切り離されない ため、巻取装置を使用できます。

紙管について

紙管は消耗品です

紙管は消耗部品です。交換時期はご使用の状況によって異なりますが、メディアの巻取りが良好な状態でできるよう、紙管の状態を見ながら適切な時期での交換をお願いします。

ご使用のメディアの紙管をお使いいただけます。同梱した紙管のお求めは、お買い上げの販売店へ問い合わせいただくか当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。

廃液ボトルの取り外しについて

出力中もしくはメンテナンス動作中は、廃液ボトルを取り外さないでください

機体の動作が不安定になったり、廃液が垂れる恐れがあります。 次の場合を除き、廃液ボトルを機体から取り外さないでください。

- ・[廃液を捨ててください]のメッセージが表示されて、廃液の処理をするとき
- ・ _____ から[メンテナンス]>[廃液ボトル]をタップして廃液の処理をするとき

基本操作

電源の操作	
電源オン	
電源オフ	
電源の操作に関するご注意	
スリープモード(省電力機能)	
新規メディアのセットアップ	32
ロールメディアのセットアップ	
カットメディアのセットアップ	
登録済みメディアのセットアップ	69
ロールメディアのセットアップ	
カットメディアのセットアップ	
出力前の確認	
LAN(ローカルエリアネットワーク)の状態	102
インクの沈殿を防ぐ	103
出力の一時停止と中止	
出力の一時停止と再開	104
出力の中止	105
メディアを切り離す	
巻取装置からメディアを取り外す	
インクが無くなったときのお知らせ	111
インクの交換方法	112
インクの沈殿を防ぐ	116
洗浄液の交換	
洗浄液がなくなったときのお知らせ	
洗浄液の交換方法	118

電源の操作

電源オン

▲警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
 - 2. メイン電源をオンにする。



3. 操作パネルをタップする。

操作パネルの電源がオンになります。



4. 画面に案内が表示されたら、操作パネルをもう一度タップする。



電源の操作に関するご注意

メイン電源は常にオンにしておいてください。

メイン電源はオフにしないでください。オンにしておくことで自動メンテナンスが定期的に行われます。自動メンテナンスを 行わないとプリントヘッドが壊れるなど、本機の故障の原因となります。

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりしないでください。

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりすると、プリントヘッドが壊れることがあります。必ず先 にサブ電源をオフにしてください。誤ってオフにしてしまったときは、すぐにメイン電源とサブ電源をオンにし直してください。

スリープモード(省電力機能)

本機は省電力機能を持っており、何の動作もしていない状態が一定時間続くとより消費電力の少ない「スリープモード」に切り 替わります。スリープモードになる時間は、工場出荷時には 30 分に設定されています。スリープモードになると、操作パネル が消灯します。操作パネルを操作したり、コンピューターから印刷データを送ったりすると、通常のモードに戻ります。 スリープモードの設定は変更できますが、消費電力の節約や過熱事故防止のため、スリープモードへの移行時間は 30 分以下に 設定することをおすすめします。

(関連情報)

• P. 228 スリープモード(省電力機能)になるまでの時間を設定する

新規メディアのセットアップ

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

ロールメディアのセットアップ

プリンターにロールメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[**出力できます**。]と表示されます。この 作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

▲ 注意

ロールメディアは正しくセットする。

メディアが落下してけがをすることがあります。

▲ 注意

ロールメディアは重さが 45 kg(54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg)程度ある。 取り扱うときはけがに注意すること。

▲ 注意

重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) を超えるメディアをセットしない。 本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

1. メディアをメディアホルダーに取り付ける

本機のメディアホルダーは、紙管内径2インチおよび3インチの両方に使用できます。

▲ 警告

ロールメディアを取り扱うときは、2人以上で持ち、落下に十分注意する。 重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

手順



- 2. 巻取装置を使う場合は、以下の手順で設定をする。
 - (1) をタップする。
 - (2) [環境設定]>[巻き取り設定]>[巻き取り方向]をタップする。
 - (3) [内巻き]または[外巻き]を選択する。
 - (4) [保存]をタップする。



3. フロントカバーを開ける。



4. メディアクランプを、左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
 a. リア UV シールド(①)を開ける。
 b. リア UV シールドを機体前方に押して、リア UV シールドを左右のストッパー(②)の上に置く。



6. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



7. 機体にメディアを載せる。

重要

メディアをメディアステイまたはパイプの上に長時間置いたままにしないでください。メディアが変形する可能 性があります。ご注意ください。

・ 外径が 220 mm 以下のメディア

メディアステイをメディアの両端から 1/4 の位置に置いて、メディアを載せてください。



・ 外径が 220 mm を超えるメディア

a.メディアステイを回転させて、メディアホルダーに寄せる。



b. 直接 2 本のパイプの間にメディアを置く。



メディアの種類や環境設定によって、次の作業は異なります。以下にしたがって進んでください。

- 一般的なメディアの場合:2. A:メディアの位置を決める (P. 36)
- ・透明なメディアや[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合:2. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.41)
2. A:メディアの位置を決める

ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、2. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.41)を参照してください。

なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

手順

- **1.** グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。 位置を決めるときは、次の点に注意してください。
 - メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
 - メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
 - メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



重要

メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

2. メディアホルダーを固定する。



3. 次の手順でメディアをセットする。
 この手順を行うことでメディアの斜行を防止します。
 (1) メディアの先端をピンチローラー(A) とグリットローラー(B)の間に通す。



(2) ピッと音がなるまでメディアを送り、約 20 cm さらにメディアを送る。 ピッと音が鳴ったあと、約5秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メデ

ィアから手を離してもメディアを保持します。

(3) メディアホルダーのフランジを持ち、巻取方向にまわしてメディアのたるみを取る。



(4) たるみがない状態から、さらに 10 cm 程度メディアを巻き取る。





トローラーの上に配置してください。



40

2. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)

ここでは吸着ファンを利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、 [**環境設定**]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合が該当します。

手順

- **1.** グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。 位置を決めるときは、次の点に注意してください。
 - メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
 - メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
 - メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



こののとビフテローラーなどでメティアを固定するときにメティアの左右位直かすれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

2. メディアホルダーを固定する。



3. メディアの先端をピンチローラー(A)とグリットローラー(B)の間に通す。



4. ローディングレバー(後側)を下ろす。 メディアが固定されます。



5. リア UV シールドを閉じる。
 a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
 b. リア UV シールドを閉じる。



8. メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。 メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。





12. ローディングレバー(前側)を下ろす。



14. フロントカバーを閉じる。

3. メディアを登録する



8. [メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]が表示された場合は、以下の手順で設定をする。

47



4. メディアを巻取装置に取り付ける

巻取装置を使用しない場合は、5.メディアに合った設定をする(P.53)に進んでください。

手順



礼官をエントキャップの突までしつかりはの込んでくたさ

(3) 左側のメディアホルダーを紙管に押し付ける。



4. 以下の手順でメディアホルダーの位置を調整する。

(1) メディア右端から紙管が見える位置に両側のメディアホルダーを移動する。 メディアホルダーは外側を持って動かしてください。



5. 以下の手順でメディアを紙管に固定する。

メディアをメディアホルダーに取り付ける(P.32)の手順2で設定した[巻き取り方向]で固定してください。
 メディアがたるまないように引っぱりながら、粘着テープでメディアの中央を紙管に固定する。
 中央から外側へ向かってメディアを引っぱりながら、粘着テープでメディアの左右端を紙管に固定する。

・外巻きの場合



・内巻きの場合



8. [OK]をタップする。

5. メディアに合った設定をする

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、必要最低限の項目を設定します。ここで設定する項目はすべて 個別にも設定できます。

手順

- 1. [メディア出力タイプ選択]画面で出力タイプを選択し、[次へ]をタップする。
 - 「プリントのみ/プリント&カット]
 手順2へ遷移します。
 - [カットのみ]
 [マルチセンサー調整]画面に遷移します。自動調整後、[OK]をタップしてください。これで[カットのみ]の設定は 終了です。
 調整に失敗した場合は、読み取りセンサーを補正する(P. 205)を参照して対処してください。

2. [ヘッド高さ設定]画面で、プリントヘッドの高さを調整する。

- 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
- 調整する場合は、以下の手順で調整してください。
 - a. [**変更**]をタップする
 - b. フロントカバーを開ける。
 - c. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。
 - d. フロントカバーを閉じる。
 - e. [**OK**]をタップする。
 - f. [**次へ**]をタップする。
 - 作業の詳細は、プリントヘッドの高さを変える(P. 170)を参照してください。
- 3. [ノズル抜けテスト]画面で、[テストプリント]および[出力開始位置]の設定をおこなう。
 - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
 - ・[テストプリント]をする場合は、[テストプリント]>[実行]をタップしテストプリントをおこなってください。テストプリント後の対応は Step 2: ノーマルクリーニングの方法(P. 132)を参照してください。

 宗了後は、[次へ]をタップしてください。
- 4. [メディア調整方法選択]画面で、調整方法を選択する。

ここで調整するのは、横すじを軽減するメディアの送り補正とインクの着弾位置の補正です。

(XE

ここでの調整は[簡易補正(自動)]をおすすめします。[詳細補正(手動)]は自分で補正値を決めることができます。

- ・自動調整する場合は、以下の手順で自動調整をおこなってください。
 - a. [**簡易補正(自動)**]>[**次へ**]をタップする。
 - b. [一括自動補正]画面で、[実行]をタップする。
 自動調整が成功するとホーム画面に遷移します。設定は完了です。
 詳細は必要な調整を自動で行う(P.165)を参照してください。
- ・手動で調整する場合は、以下の手順で手動調整してください。
 - a. [詳細補正(手動)]>[次へ]をタップする。
 - b. [マルチセンサー調整]画面で[実行]をタップする。
 - 読み取りセンサーを最適な状態に調整します。調整に失敗した場合は、読み取りセンサーを補正する(P. 205) を参照して対処してください。

c. [**次へ**]をタップする。

- d. [詳細送り補正(手動)]画面でテストプリントをおこなう。 テストプリント結果から補正値を設定してください。詳細は手動調整:横すじを軽減する(送り補正)(P. 166) を参照してください。
- e. [**保存して次へ**]をタップする。
- f. [詳細メディアギャップ補正(手動)]画面でテストプリントをおこなう。 テストプリント結果から補正値を設定してください。詳細は手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メ ディアギャップ補正)(P. 168)を参照してください。

g. [**保存して終了**]をタップする。

重要

プリント&カットやカッティングを行う場合、巻取装置からメディアを巻き戻してメディアをたるませる動作を行います。 セットアップ直後で紙管にメディアが十分に巻かれていない場合、この動作がうまくできずに、カッティング品質が低下 し巻き取りが継続できなくなる可能性があります。メディアを紙管に取り付けてからすぐにカッティングを行う場合は、 あらかじめ数回巻き取りが行われる程度にメディアを送っておき、ベースポイントをセットしてください。

これでメディアのセットアップは完了です。

54

カットメディアのセットアップ

プリンターにカットメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[**出力できます**。]と表示されます。この 作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

1. A:メディアの位置を決める

メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合 は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、1.B:メディアの位置を決める([メ ディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.60)を参照してください。

なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

手順

- 2. フロントカバーを開ける。
- 3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



- 7. リア UV シールドを閉じる。
 a. リア UV シールド(①)を機体後方に引き、左右のストッパー(②)からリア UV シールドを外す。
 b. リア UV シールドを閉じる。
 - **8.** プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。 メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。 メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。





基本操作

58



13. フロントカバーを閉じる。

1. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)

メディアの端を検出できない透明なメディアや、[**環境設定**]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、以下の手順 でメディアの位置を決めてください。

手順

- **2.** フロントカバーを開ける。
- 3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
a. リア UV シールド (①) を開ける。
b. リア UV シールドを機体前方に押して、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。





11. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。 メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。





15. フロントカバーを閉じる。

2. メディアを登録する





(/) [UK]をタックタる。

3. メディアに合った設定をする

メディアのサイズや種類に合わせて最適な出力ができるように、必要最低限の項目を設定します。ここで設定する項目はすべて 個別にも設定できます。

手順

- 1. [メディア出力タイプ選択]画面で出力タイプを選択し、[次へ]をタップする。
 - 「プリントのみ/プリント&カット]
 手順2へ遷移します。
 - [カットのみ]
 [マルチセンサー調整]画面に遷移します。自動調整後、[OK]をタップしてください。これで[カットのみ]の設定は 終了です。
 調整に失敗した場合は、読み取りセンサーを補正する(P. 205)を参照して対処してください。

2. [ヘッド高さ設定]画面で、プリントヘッドの高さを調整する。

- 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
- 調整する場合は、以下の手順で調整してください。
 - a. [**変更**]をタップする
 - b. フロントカバーを開ける。
 - c. 高さ調整レバーでプリントヘッドの高さを調整する。
 - d. フロントカバーを閉じる。
 - e. [**OK**]をタップする。
 - f. [**次へ**]をタップする。
 - 作業の詳細は、プリントヘッドの高さを変える(P. 170)を参照してください。
- 3. [ノズル抜けテスト]画面で、[テストプリント]および[出力開始位置]の設定をおこなう。
 - 不要な場合は、[次へ]をタップしてください。
 - [テストプリント]をする場合は、[テストプリント]>[実行]をタップしテストプリントをおこなってください。テストプリント後の対応は Step 2: ノーマルクリーニングの方法 (P. 132) を参照してください。
- 4. [メディア調整方法選択]画面で、調整方法を選択する。

ここで調整するのは、横すじを軽減するメディアの送り補正とインクの着弾位置の修正です。

(メモ

ここでの調整は[簡易補正(自動)]をおすすめします。[詳細補正(手動)]は自分で補正値を決めることができます。

 ・自動調整する場合は、以下の手順で自動調整をおこなってください。

- a. [**簡易補正(自動)**]>[**次へ**]をタップする。
- b. [一括自動補正]画面で、[実行]をタップする。
 自動調整が成功するとホーム画面に遷移します。設定は完了です。
 詳細は必要な調整を自動で行う(P.165)を参照してください。
- ・手動で調整する場合は、以下の手順で手動調整してください。
 - a. [**詳細補正(手動)**]>[**次へ**]をタップする。
 - b. [マルチセンサー調整]画面で[実行]をタップする。 読み取りセンサーを最適な状態に調整します。調整に失敗した場合は、読み取りセンサーを補正する(P. 205) を参照して対処してください。
 - c. [**次へ**]をタップする。

- d. [詳細送り補正(手動)]画面でテストプリントをおこなう。 テストプリント結果から補正値を設定してください。詳細は手動調整:横すじを軽減する(送り補正)(P. 166) を参照してください。
- e. [**保存して次へ**]をタップする。

f. [詳細メディアギャップ補正(手動)]画面でテストプリントをおこなう。 テストプリント結果から補正値を設定してください。詳細は手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メ ディアギャップ補正)(P. 168)を参照してください。

g. [**保存して終了**]をタップする。

これでメディアのセットアップは完了です。

登録済みメディアのセットアップ

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

ロールメディアのセットアップ

プリンターにロールメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[**出力できます**。]と表示されます。この 作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

▲ 注意

ロールメディアは正しくセットする。

メディアが落下してけがをすることがあります。

▲ 注意

ロールメディアは重さが 45 kg(54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg)程度ある。 取り扱うときはけがに注意すること。

▲ 注意

重さが 45 kg (54 インチモデルは 35 kg、30 インチモデルは 30 kg) を超えるメディアをセットしない。 本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

1. メディアをメディアホルダーに取り付ける

本機のメディアホルダーは、紙管内径2インチおよび3インチの両方に使用できます。

▲ 警告

ロールメディアを取り扱うときは、2人以上で持ち、落下に十分注意する。 重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

手順



- 2. 巻取装置を使う場合は、以下の手順で設定をする。
 - (1) をタップする。
 - (2) [環境設定]>[巻き取り設定]>[巻き取り方向]をタップする。
 - (3) [内巻き]または[外巻き]を選択する。
 - (**4**) [**保存**]をタップする。



3. フロントカバーを開ける。



4. メディアクランプを、左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
a. リア UV シールド(①)を開ける。
b. リア UV シールドを機体前方に押して、リア UV シールドを左右のストッパー(②)の上に置く。



6. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



7. 機体にメディアを載せる。

重要

メディアをメディアステイまたはパイプの上に長時間置いたままにしないでください。メディアが変形する可能 性があります。ご注意ください。

・ 外径が 220 mm 以下のメディア

メディアステイをメディアの両端から 1/4 の位置に置いて、メディアを載せてください。



・ 外径が 220 mm を超えるメディア

a. メディアステイを回転させて、メディアホルダーに寄せる。



b. 直接 2 本のパイプの間にメディアを置く。


2. A:メディアの位置を決める

ここでは吸着ファンを利用してメディアの斜行を防止する方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、2. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.78)を参照してください。

なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

手順

- 1. グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。 位置を決めるときは、次の点に注意してください。
 - メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
 - メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
 - メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



▲ 注意

指示された位置以外の場所を持って作業しないこと。メディア自体を持って動かさないこと。 メディアホルダーからメディアが落下してけがをすることがあります。

重要

メディアの左右位置はこの時点でしっかり決めてください。

このあとピンチローラーなどでメディアを固定するときにメディアの左右位置がずれている場合は、もう一度この時点に戻ってやり直す必要があります。メディアだけを持って無理やり位置を直すと、出力時にメディアが斜行したりして出力結果に悪影響が出ます。

2. メディアホルダーを固定する。



(3) メディアホルダーのフランジを持ち、巻取方向にまわしてメディアのたるみを取る。



(4) たるみがない状態から、さらに 10 cm 程度メディアを巻き取る。



6. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。 メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。





2. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)

ここでは吸着ファンを利用しないでメディアの位置を決める方法を記します。メディアの端を検出できない透明なメディアや、 [**環境設定**]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合が該当します。

手順

- **1.** グリットマークを基準に、メディアの左右位置を決める。 位置を決めるときは、次の点に注意してください。
 - メディアホルダーは、外側を持って動かしてください。
 - メディアの左端は、左端のグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。
 - メディアの右端は、いずれかのグリットマークの範囲内に入る位置にしてください。



2. メディアホルダーを固定する。



3. メディアの先端をピンチローラー(A)とグリットローラー(B)の間に通す。



4. ローディングレバー(後側)を下ろす。 メディアが固定されます。



5. リア UV シールドを閉じる。
 a. リア UV シールド (①) を機体後方に引き、左右のストッパー (②) からリア UV シールドを外す。
 b. リア UV シールドを閉じる。



メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。





82



14. フロントカバーを閉じる。

3. メディアを選択する

手順

1. [][セットアップ]をタップする。

すでに登録されたメディアが一覧で表示されます。



2. 使用するメディア名を選択する。

	× T
	🧪 をタップして、登録済みメディアをキーワード検索することができます。
	入力したキーワードをリセットしたいときは、 🔵 をタップします。
•	メディア名の右にある ☆ をタップすると表示が ★ に変わり、お気に入り登録ができます。
	操作パネル上部のお気に入りフィルター ☆ をタップしてオン ★ にするとお気に入り登録したメデ
	ィアのみが表示されます。
	お気に入りフィルター機能をオフするときは 🗙 をタップします。
	◯ をタップすると、お気に入りフィルターがオフ ☆ になるとともにキーワードもリセットされます。
•	キーワード検索とお気に入りフィルター機能は、併用することもできます。

- 4. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。
- 5. [セットアップ開始]をタップする。 カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。
- 6. [印刷領域(幅)]画面が表示された場合は、以下の手順で設定をする。



(6) [OK]をタップする。

4. メディアを巻取装置に取り付ける

巻取装置を使用しない場合は、セットアップは完了です。

手順



(3) 左側のメディアホルダーを紙管に押し付ける。



4. 以下の手順でメディアホルダーの位置を調整する。

(1) メディア右端から紙管が見える位置に両側のメディアホルダーを移動する。 メディアホルダーは外側を持って動かしてください。



5. 以下の手順でメディアを紙管に固定する。

メディアをメディアホルダーに取り付ける(P.69)の手順2で設定した[巻き取り方向]で固定してください。
 メディアがたるまないように引っぱりながら、粘着テープでメディアの中央を紙管に固定する。
 中央から外側へ向かってメディアを引っぱりながら、粘着テープでメディアの左右端を紙管に固定する。







8. [OK]をタップする。

重要

プリント&カットやカッティングを行う場合、巻取装置からメディアを巻き戻してメディアをたるませる動作を行います。 セットアップ直後で紙管にメディアが十分に巻かれていない場合、この動作がうまくできずに、カッティング品質が低下 し巻き取りが継続できなくなる可能性があります。メディアを紙管に取り付けてからすぐにカッティングを行う場合は、 あらかじめ数回巻き取りが行われる程度にメディアを送っておき、ベースポイントをセットしてください。

カットメディアのセットアップ

プリンターにカットメディアを取り付けます。取り付けが完了するとステータスとして[**出力できます**。]と表示されます。この 作業を「メディアのセットアップ」と呼びます。

1. A:メディアの位置を決める

メディアの端を検出できない透明なメディアを使用する場合や[環境設定]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、吸着ファンは作動しないためこの手順ではメディアをセットできません。この場合は、1.B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.95)を参照してください。

なお、この[セットアップ時の斜行矯正補助]は出荷時は[有効]に設定されています。

手順

- **2.** フロントカバーを開ける。
- 3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
 a. リア UV シールド (①) を開ける。

b. リア UV シールドを機体前方に押して、リア UV シールドを左右のストッパー (②)の上に置く。



6. プリンターの背面から、メディアの先端をピンチローラー(A)とグリットローラー(B)の間に通し、ピッと 音が鳴るまでメディアを送る。

ピッと音が鳴ったあと、約5秒後にピッピッと音が鳴り吸着ファンが作動します。吸着ファンの作動中は、メディアから手を離してもメディアが戻ることはありません。

メディアをプリンターの前面からセットする場合は、メディアの前端(印刷開始する側)を一度プラテン上まで送って から手前に引くと、吸着ファンが動作します。



- 7. リア UV シールドを閉じる。
 a. リア UV シールド(①)を機体後方に引き、左右のストッパー(②)からリア UV シールドを外す。
 b. リア UV シールドを閉じる。
 - **8.** プリンターの前面に移動し、メディアの両端がグリットローラーの上にあることを確認する。 メディアの右端は、必ず右端のグリットローラー上にのせてください。



9. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。 メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。





11. ローディングレバー(前側)を下ろす。



13. フロントカバーを閉じる。

1. B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)

メディアの端を検出できない透明なメディアや、[**環境設定**]>[メディアエッジ検出]を[無効]に設定している場合は、以下の手順 でメディアの位置を決めてください。

手順

- 2. フロントカバーを開ける。
- 3. メディアクランプを左右両端のグリットローラーの外側まで移動する。



4. メディアホルダーの固定を解除し左右いっぱいまで寄せる。



5. プリンターの背面に移動し、リア UV シールドを開ける。
a. リア UV シールド (①) を開ける。
b. リア UV シールドを機体前方に押して、リア UV シールドを左右のストッパー (②) の上に置く。





11. 左右のピンチローラーを移動して、メディアの両端に配置する。 メディアの端から 10 mm 程度離れた位置に配置してください。



ミドルピンチローラーは、右端に3つ並んだグリットローラーの上には下りません。この3つ以外のグリットローラーの上に配置してください。



15. フロントカバーを閉じる。

2. メディアを選択する

手順

1. [][セットアップ]をタップする。

すでに登録されたメディアが一覧で表示されます。



2. 使用するメディア名を選択する。

	× E
•	✓ をタップして、登録済みメディアをキーワード検索することができます。
	入力したキーワードをリセットしたいときは、 🔵 をタップします。
•	メディア名の右にある ☆ をタップすると表示が ★ に変わり、お気に入り登録ができます。
:	操作パネル上部のお気に入りフィルター ☆ をタップしてオン ★ にするとお気に入り登録したメテ
	ィアのみが表示されます。
;	お気に入りフィルター機能をオフするときは ★ をタップします。
, I	🔵 をタップすると、お気に入りフィルターがオフ ☆ になるとともにキーワードもリセットされます。
• :	キーワード検索とお気に入りフィルター機能は、併用することもできます。

- 4. [セットアップ方法]画面が表示されるので、巻取装置を使う/使わないを選択する。
- 5. [セットアップ開始]をタップする。 カッティングキャリッジが動いてメディアの幅およびメディアクランプの位置を検出します。この動作を初期動作と呼びます。
- 6. [印刷領域(幅)]画面が表示された場合は、以下の手順で設定をする。



(6) [OK]をタップする。

LAN(ローカルエリアネットワーク)の状態

LAN(ローカルエリアネットワーク)が通信可能な状態になっていることを確認してください。 プリンター側面にある LAN コネクターのステータス LED が緑色に点灯していれば、LAN は有効な状態です。



1	アクティビティ LED	ネットワークからのデータを受信中に、橙色で点滅します。				
2	ステータス LED	通信機能の状態を示します。緑色で点灯していれば、通信可能な状態です。				

インクの沈殿を防ぐ

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

インクカートリッジは以下の頻度で振ってください。

- すべてのインク:新品交換時



重要

- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振る ときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れて落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- ・ 撹拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が 出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回(20秒程度)振ってください

出力の一時停止と中止

出力の途中で一時停止やキャンセルができます。



出力を再開します。

出力の中止

手順

- 出力中に[一時停止]をタップする。
 出力が一時停止します。
- 2. 以下の画面が表示されたら、[出力中止]をタップする。



出力が中止されます。

3. コンピューター側でデータの送信をストップする。

メディアを切り離す

印刷後に[シートカット]または[ミシン目シートカット]のどちらかでメディアを切り離します。

[シートカット]または[ミシン目シートカット]するときは、[シートカット後の余白設定]で次に印刷を開始する位置までメディア をフィード(送り)する量を設定することができます。初期設定ではメディアを切り離し後、メディア前端から75 mmの位置 で次の印刷が開始されます。この機能は、印刷開始位置までの余白を35 mm~75 mmの間で設定することができます。





	メニュー操作中・[ホーム]を押りと出力でさより。		
÷	ミシン目シートカット設定	?	A
0	標準		=
\bigcirc	切り残し箇所を増やす	^	
			Ļ
		~	
	保存		U

6. [実行]をタップする。

メディアが切り離されます。手順5で[ミシン目シートカット]を選択した場合は、ミシン目にカットされます。

- 出力終了後に自動でメディアが切り離されるようにソフトウェア RIP で設定できます。設定の仕方はお使いのソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。
- ・ 巻取装置を使用している場合はメディアが切り離されることで巻き取りが中断してしまうことがあるため、自動切り離し機能はオフにするか、付属のソフトウェア RIP であればミシン目シートカットを入れて切り離されないようにしておくことをおすすめします。


• メディア先端から切り離し位置までの長さが短いと、うまく切り離せないことがあります。

巻取装置を使っている場合

• ローディングレバーを下ろした状態で巻取装置のマニュアルスイッチを操作しないでください。巻取装置に よりメディア張力が働くため、メディアが無理に引っ張られる操作は避けてください。

メディアの材質にご注意ください

- 切り離しができないものがあります。
- 切り離し後にメディアがプラテン上に残ってしまうものがあります。メディアがプラテン上に残っているときは、手で取り外してください。

巻取装置からメディアを取り外す

出力が完了したらメディアを切り離し、手動で巻き取ってからメディアを取り外してください。





インクの交換

インクが無くなったときのお知らせ

<u>インクが無くなると、[インクカートリッジエラー]が表示されます。</u>

無くなったインクには[Empty]が表示されています。表示画面を確認し、空になったインクを交換してください。





重要

インクが無いことが表示されたインクカートリッジ内のインクパウチは、再使用しないでください。

インクが無いことが表示されてもパウチにわずかな量のインクが残っていることがありますが、使用しないでください。 そのようなインクパウチは、インクを吸引できない状態です。そのまま使用すると、インク経路に空気が侵入し、プリン ターの故障の原因となります。

関連情報

P. 112 インクの交換方法

インクの交換方法



ターの故障の原因となります。

手順

1. 交換する色のインクカートリッジを機体から引き抜く。



カートリッジのカバーを取り外す。
 a. 矢印マークがある面を上にする。
 b. カバーを矢印の方向にスライドして取り外す。



a. カバー後端の突起 (A) をカートリッジケースの穴に差し込む





インクの沈殿を防ぐ

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、インクカートリッジを両端 5 cm の振り幅で水平に振ります。

インクカートリッジは以下の頻度で振ってください。

- ・ すべてのインク:新品交換時
- ホワイトインク:毎日(その日の作業を始める前)
 ホワイトインクのカートリッジをいったん抜き、50回(20秒程度)振ってから再び差し込んでください。
 ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってください。
 い。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



重要

- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振る ときにインクが飛び散ります
- 振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れ て落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- ・ 撹拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が 出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回(20秒程度)振ってください

洗浄液の交換

洗浄液がなくなったときのお知らせ

洗浄液が無くなると、画面に [洗浄液パウチを交換してください。]と表示されます。[OK]をタップしてメッセージを閉じてください。



関連情報

• P. 118 洗浄液の交換方法

洗浄液の交換方法



洗浄液パウチ交換時に注意すること

- 洗浄カートリッジをむやみに抜き差ししないでください。洗浄液がもれ出すことがあります。
- 洗浄カートリッジカバーがしっかりロックされなくなったときには、洗浄カートリッジの交換が必要です。
 洗浄カートリッジの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト https://www.rolanddg.co.jp/をご覧ください。

手順







出力方法

出力の準備と出力方法

	123
1 日のワークフローの確認	123
マニュアルクリーニングの方法	124
プリントの方法	130
プリント出力の準備	
出力の開始	134
カットの方法	136
カット出力の準備	
出力の開始	140
プリント&カットの方法	141
プリント&カット出力の準備	141
出力の開始	148
クロップ&カットの方法	150
クロップマーク付き出力の準備	
クロップマーク付き出力の開始	
カット出力の準備	
カット出力の開始	

1日のワークフローの確認

1日の作業における、基本的なワークフローを説明します。

適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することで、本機の能力を最大限に引き出し、故障を防ぐことに繋がります。



マニュアルクリーニングの方法

以下のタイミングでマニュアルクリーニングを実施してください。

- 一日の作業を開始するまえ
- [マニュアルクリーニングの時期です。]という通知が表示されたとき
- 夜間、無人で印刷をしたい場合の印刷データを送るまえ
- パワフルクリーニングでも改善できないドット抜けやインクボタ落ちなどが発生したとき

▲ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約15分待つ)

UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

▲ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

重要

作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10分以内に作業を終わらせてください。10分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえってプリントヘッドを 傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響 を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面 (ノズル面) はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブ サイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。
- クリーニング中に警告音がなったときは
- ・ 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[**すべて完了**]を タップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。



1. プリントヘッドキャップを清掃する



清掃が終了したら、カバーRを閉じる。

2. プリントヘッドを清掃する

手順

1. カバーLを開ける。



2. 新品のクリーニングスティックを洗浄液に浸す。

- 必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。
- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。



3. 下図の場所を清掃する。 特に繊維状のほこりをよく清掃してください。



(3) クリーニングスティックの広い面を使って、図の場所の汚れを拭き取る。 この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。



6. 6. をタップして、もとの画面に戻る。

3. テストプリントを実施して結果を確認する



• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

プリント出力の準備

Step 1: ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、 プリントヘッドのクリーニング(ノーマルクリーニング)を行います。



関連情報

• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき



6. 🔶 をタップする。

- 7. もう一度テストプリントを実施する。
 - 8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。
 ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2
 ~3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- P. 130 ノズル抜けテストを実施する
- P. 266 ノーマルクリーニングの効果がないとき

出力の開始

▲ 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。

プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

重要

ホワイトインクをご使用されている方へ

1日の作業開始前に、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回(20秒程度)振って再び差し込んでください。 ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってくだ さい。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振る ときにインクが飛び散ります
- ・振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れ て落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- ・ 撹拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が 出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回(20秒程度)振ってください

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
- 2. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
- コンピューターから出力データを送信する。
 出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。



関連情報

• P. 177 待機時のヒーター温度を設定する

カットの方法

カット出力の準備

メモ

Step 1: ヒーターをオフにする

カットメディアを選択した場合やカット用にメディア設定を複製する(P. 214)でメディアを作成した場合、この作業は不要になります。

手順

- 1. 合をタップして、ホーム画面を表示する。
- 2. 以下の部分をタップする。



3. フロントヒーターがオフであることを確認する。



4. [保存]をタップして決定する。



Step 2: メディアが無理に引っ張られないようにする



Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
 - 2. ホーム画面で 🖵 [カッター調整]をタップする。
- **3.** [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。
 2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



2つの図形が別々にはがれた場合
 カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
 カッター圧を大きくします。
- 台紙まで切れた場合
 カッター圧を小さくします。
- 5. [保存]をタップする。 変更した設定値が保存されます。
- **6.** [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- 7. 調整が成功したか確認する。

[**カッター調整**]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

関連情報

• P. 181 カッティング条件を細かく設定する

出力の開始

▲ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。

カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
 - 2. 合 をタップしてホーム画面を表示する。
- **3.** 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。

4. コンピューターから出力データを送信する。

出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

重要

こんなときは出力されません

- カバー(フロント、L、R、リア UV シールド)が開いていると動きません。
- ・[メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターか

をタップしてホーム

らデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、

画面にもどると出力がはじまります。

出力時に守っていただきたいこと

- ・出力中にカバー(フロント、L、R、リア UV シールド)を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリント ヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

プリント&カット出力の準備

Step 1: ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、 プリントヘッドのクリーニング(ノーマルクリーニング)を行います。



関連情報

• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

Step 2: ノーマルクリーニングの方法 メモ メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが 表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。 手順 1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。 〔A〕の文字から〔B〕の文字までの間が、A グループ。〔B〕の文字から右のすべてが B グループです。 в メモ テストプリントの結果がわかりにくいときは 明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。 2. [クリーニング]をタップする。 3. [ノーマルクリーニング]をタップする。 以下の画面が表示されます。 メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます A ← ノーマルクリーニング ? クリーニング後、テストプリントを行う。 \equiv $\overline{}$ () 両方 Δ ○ Aグループ ○ Bグループ (|) 実行 4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。 5. [実行]をタップする。 クリーニングを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニング中です。]とステータスが表示されます。

クリーニンクを開始します。操作パネル上部に[ノーマルクリーニンク中です。]とステータスが表示されます。 終了すると、もとの画面に戻ります。
- **6.** 🔶 をタップする。
- 7. もう一度テストプリントを実施する。
 - 8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。
 ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2
 ~3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- P. 130 ノズル抜けテストを実施する
- P. 266 ノーマルクリーニングの効果がないとき

Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
 - 2. ホーム画面で 🦵 [カッター調整]をタップする。
 - **3.** [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
 - カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。
 2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



2つの図形が別々にはがれた場合
 カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
 カッター圧を大きくします。
- 台紙まで切れた場合
 カッター圧を小さくします。
- 5. [保存]をタップする。 変更した設定値が保存されます。
- **6.** [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- 7. 調整が成功したか確認する。

[**カッター調整**]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

関連情報

• P. 181 カッティング条件を細かく設定する

Step 4: 印刷とカットのずれを補正する



7. メディアの送り方向(FEED 方向)とプリントヘッドの移動方向(SCAN 方向)の補正値を設定する。
(1) [補正値(Feed)]の ―― 🕂 をタップして、メディアの送り方向(FEED 方向)の補正値を設定す
న ం
(2) [補正値(Scan)]の ―― 🕂 をタップして、プリントヘッドの移動方向(SCAN 方向)の補正値を
設定する。
8. [保存]をタップする。 補正値が保存されます。
9. [テストプリント1 (ズレの有無)]の[実行]をタップする。 テストプリント1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な 場合は、「補正値 (Feed)]と「補正値 (Scan)]の
[保存]してください。
メモ 出荷時設定
• [補正値(Feed)](メディアの送り方向の補正値):0.00 mm
・ [補正値(Scan)](プリントヘッドの移動方向の補正値): 0.00 mm
10. 6タップして、もとの画面に戻る。

出力の開始

▲ 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。

プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

重要

ホワイトインクをご使用されている方へ

1日の作業開始前に、ホワイトインクカートリッジだけを抜き、50回(20秒程度)振って再び差し込んでください。 ホワイトインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、必ずカートリッジを振ってくだ さい。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。



- 振る前にインクカートリッジの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、インクカートリッジを振る ときにインクが飛び散ります
- ・振るときはインクカートリッジカバーが外れないよう、両手でしっかり持ってください。カバーやインクパウチが外れ て落下すると破損やプリンタの故障の原因となることがあります。
- ・ 撹拌が終了したら、すぐにインクカートリッジを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が 出ます
- プリンターを使用しない場合でも、1週間に1回はホワイトインクのカートリッジを50回(20秒程度)振ってください

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
- 2. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
- コンピューターから出力データを送信する。
 出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。



関連情報

• P. 177 待機時のヒーター温度を設定する

149

クロップマーク付き出力の準備

<u>クロップ&カットとは</u>

印刷したメディアをいったん取り外し、再セットしてカッティングする場合(例:印刷後にラミネートなどの加工をしたメディ アを、再セットしてカッティングする)、印刷位置とカッティング位置を合わせる必要があります。そこで、印刷するときにあ らかじめクロップマークを付けて印刷することで、メディアを再セットしてカッティングするときにクロップマークを目印とし て位置合わせができるようにします。本書では、この出力方法を「クロップ&カット」と呼びます。 [クロップマーク]とは、位置合わせ用の目印です。「トンボ」と呼ばれることもあります。

Step 1: ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、 プリントヘッドのクリーニング(ノーマルクリーニング)を行います。

連続してテストプリントを行う場合は、2回目以降の印刷位置を1回目の印刷位置に対して[縦](縦に並べて印刷)にするか[横](横に並べて印刷)にするか設定できます。 P. 219 テストプリントを横に並べて印刷する

手順

メモ

- メディアをセットアップする。
 - 2. ホーム画面で [ノズル抜けテスト]をタップする。
- 3. [テストプリント]の[実行]をタップする。 テストパターンの印刷を開始します。

- XF	
ご使用になるメディアの色によっては	、、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。
ホーム画面で [ノズル抜けテス	スト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜け
テスト (下地:黒)]を選択するとホワー	イトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなりま
す。 ホワイトインクを搭載していない機体	の場合は、[ノズル抜けテスト (下地:黒)]は表示されません。
9。 ホワイトインクを搭載していない機体	の場合は、[ノズル抜けテスト (下地:黒)]は表示されません。

4. テストパターンにドット抜けやドットよれがないか確認する。 ブロックに欠けがあると、ドット抜けの状態です。ブロックに崩れや傾きがあると、ドットよれの状態です。



5. フロントカバーを開けた場合は、フロントカバーを閉じる。 ドット抜けやドットよれが無い場合は、出力の準備は完了です。

関連情報

• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

Step 2: ノーマルクリーニングの方法 「 メモ メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが 表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。 手順 1. テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。 〔A〕の文字から〔B〕の文字までの間が、A グループ。〔B〕の文字から右のすべてが B グループです。 в メモ テストプリントの結果がわかりにくいときは 明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。 2. [クリーニング]をタップする。 3. [ノーマルクリーニング]をタップする。 以下の画面が表示されます。 メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます Ĥ ← ノーマルクリーニング ? クリーニング後、テストプリントを行う。 \equiv $\overline{}$ () 両方 ○ Aグループ ○ Bグループ (1) 実行 4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。 5. [実行]をタップする。

クリーニングを開始します。操作パネル上部に[**ノーマルクリーニング中です**。]とステータスが表示されます。 終了すると、もとの画面に戻ります。

6. 🔶 をタップする。

- 7. もう一度テストプリントを実施する。
 - 8. ドット抜けやドットよれが無くなったか確認する。
 ドット抜けやドットよれがなくならなかった場合は、もう一度ノーマルクリーニングを行います。長く使っていると2
 ~3回ノーマルクリーニングを行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、別の方法でクリーニングします。

関連情報

- P. 130 ノズル抜けテストを実施する
- P. 266 ノーマルクリーニングの効果がないとき

Step 3: カッティングの調整を実施する

高品質なカッティングをするために、カッティングの前にはテストカットを行ってメディアの切れ具合を確認することをおすすめします。切れ具合の状態によっては、カッター圧を調整してください。

手順

1. フロントカバーを閉じる。



- **3.** [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- カットされた図形をはがして切れ具合に応じて、[カッター調整]の設定を変更する。
 2つの図形が別々にはがれ、台紙にカッターの跡(赤線)が残り、かつ台紙が切れていない状態であることを確認する。



2つの図形が別々にはがれた場合
 カッター圧は問題ないので設定の必要はありません。

- 2つの図形が一緒にはがれた場合
 カッター圧を大きくします。
- ・ 台紙まで切れた場合
 カッター圧を小さくします。
- 5. [保存]をタップする。 変更した設定値が保存されます。
- **6.** [**テストカット**]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- **7.** 調整が成功したか確認する。

[**カッター調整**]メニューでは、カッター圧以外のカッティング条件も設定できます。

関連情報

• P. 181 カッティング条件を細かく設定する

Step 4: クロップ印刷とカットのずれを同時に補正する

クロップマーク印刷とカットを実施して、位置のずれがないかを確認します。ここでは、簡易的にクロップマーク印刷後にメデ ィアを取り外さず、クロップマークを読んでテストカットを実行します。実際の工程と同じようにクロップマーク印刷後にメデ ィアを取り外してラミネートなどのあと処理をし、再度メディアを取り付けてカット位置のずれがないかを確認する場合は、 [クロップ/カット分離テスト]をオンにしてください。詳細は、クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離 テスト)(P. 199)を参照してください。

手順

- **1.** ===== をタップする。
- 2. [メディア設定]>[カット設定]>[クロップカット位置調整]をタップする。
- **3.** [**テストプリント1(ズレの有無)**]の[実行]をタップする。 テストプリント1がプリント&カットされます。テストパターンはメディア上に1つ出力されます。

重要

透明なメディア、銀色などの光を反射しやすいメディアおよび黒などの色の濃いメディアの場合、印刷(クロップ マーク)を読み取ることができずにカットが行われない場合があります。[**クロップマーク検出エラー**]と表示さ れたときは、以下をお試しください。

- 透明なメディアを使っていませんか? (P. 315)
- 光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使用していませんか? (P. 315)

4. テストプリント1を確認する。

プリント位置(塗りつぶし)とカット位置(赤線)のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置が ずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向(FEED方向)、[S]はプリントヘッドの移動方向(SCAN方向)を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。 プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

- **5.** [**テストプリント 2(補正値決め)**]の[実行]をタップする。 テストプリント 2 がプリント&カットされます。
- **6.** テストプリント2の状態から補正値を確認する。 カッティングライン(A)と補正値目盛りの交点(B)が補正値です。下図の場合、補正値は「-0.3」です。 メディアの送り方向(FEED方向)、プリントヘッドの移動方向(SCAN方向)それぞれを確認してください。



• P. 199 クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)

クロップマーク付き出力の開始

▲ 警告

出力中はプリントヘッドキャリッジにさわらない。

プリントヘッドキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

×E

ここでは、カッティングデータを含まず印刷だけのデータをご準備ください。お使いのソフトウェア RIP で、クロップマ ークを付けて印刷するように設定します。設定方法はお使いのソフトウェア RIP の取扱説明書をご確認ください。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
 - **2.** 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。
 - 3. コンピューターから出力データを送信する。 出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

メモ

- 出力データを送信すると、表示画面に[インク循環中です。]または[ノーマルクリーニング中です。]と表示されることがあります。これらは出力前の準備作業です。画面に表示された時間が経過すると、出力を開始します。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている場合は、温度が設定値に達するまでお待ちください。
- 出力中のデータを画像表示して確認することができます。下図の をタップすると、インク残量画面に切り 替わります。もう一度タップすると、出力中データの確認画面にもどります。ただし、出力データの画像(サムネイル)表示に対応したソフトウェア RIP に限ります。

プリント出力中です。	00:05	
Media 1	W : 1600 mm L : m	Â
VersaWorks TestPrint_test.pdf	е-9- 45/45°С	
A constraint of the second sec	巻取装置	Ļ
	❶一時停止	ل ا

重要

こんなときは出力されません

- カバー(フロント、L、R、リア UV シールド)が開いていると動きません。
- ・ [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- [ヒーター加熱中です。しばらくお待ちください。]が表示されている間は、出力は始まりません。
- [メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターか

をタップしてホーム

らデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、

画面にもどると出力がはじまります。

出力時に守っていただきたいこと

- ・出力中にカバー(フロント、L、R、リア UV シールド)を開けないでください。出力が中断します。
- ・出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリント ヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

関連情報

• P. 177 待機時のヒーター温度を設定する

カット出力の準備

Step 1: クロップマーク付きのメディアをセットする

手順

クロップマークが印刷されたメディアをセットする。
 手前側の左右クロップマークをカッタープロテクション(A)に沿ってまっすぐ配置してください。



メディアのセットアップを完了して、ホーム画面が表示されていることを確認する。
 これでクロップマーク付きのメディアのセットアップ完了です。Step 1: ヒーターをオフにする (P. 136) へ進んでください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ
- P. 357 印刷/カッティング領域

Step 2: ヒーターをオフにする



カットメディアを選択した場合やカット用にメディア設定を複製する(P. 214)でメディアを作成した場合、この作業は不要になります。

手順



2. 以下の部分をタップする。



3. フロントヒーターがオフであることを確認する。



Step 3: メディアが無理に引っ張られないようにする



カット出力の開始

▲ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。

カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

▲ 注意

ダンサーローラーにむやみにさわらない。

メディア巻き取り装置/繰り出し装置が突然動き、けがをする恐れがあります。

×E

ここでは、印刷データを含まずカッティングだけのデータをご準備ください。

手順

- 1. フロントカバーを閉じる。
- 2. か をタップしてホーム画面を表示する。
- 3. 操作パネル上部に[出力できます。]が表示されていることを確認する。

4. コンピューターから出力データを送信する。

出力用データの作成方法については、ソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

重要

こんなときは出力されません

- カバー(フロント、L、R、リア UV シールド)が開いていると動きません。
- ・ [メディアをセットしてください。]と表示されているときは、コンピューターからデータを受け付けません。
- ・ [メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。]が表示されているメニュー画面では、コンピューターか

をタップしてホーム

らデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメニューまでもどるか、

画面にもどると出力がはじまります。

出力時に守っていただきたいこと

- ・出力中にカバー(フロント、L、R、リア UV シールド)を開けないでください。出力が中断します。
- 出力するときは、メディアクランプでメディアの両端を押さえてください。メディアの両端が反り、プリント ヘッドに引っかかる原因になります。
- 出力中はメディアにさわらないでください。メディア送りが妨げられたり、メディアがプリントヘッドを擦ったりして紙詰りやプリントヘッド破損の原因となります。
- 本機を使用しないときはローディングレバーを上げておいてください。

使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管してください

• メディアを取り付けたまま放置すると、メディアが傷んで出力に悪影響が出ることがあります。使用しないときはメディアを取り外して、適切な環境で保管するようにしてください。

品質と効率を最適化する

出力品質を最適化する

ば正爆 能を使う	165
心理な調整を白動で行う	165
手動調整:構すじを軽減する(送り補正)	166
手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)	
メディアの性質に応じた設定	170
プリントヘッドの高さを変える	
浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する	
巻取装置の設定をする	
 メディアのずれを防ぐ	
メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する	
メディアを温めてメディア浮きを抑制する	
待機時のヒーター温度を設定する	
出力時のヒーター温度を設定する	179
カッティングの設定を細かく調整する	
カッティング条件を細かく設定する	181
切り込み量を細かく調整する	183
印刷面にカットするときの調整をする	184
カッティング時の距離補正をする	187
角をきれいにカットできるようにする(オーバーカット)	188
本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる	190
プリント&カットの設定を細かく調整する	191
印刷とカットのずれを補正する	191
カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する	194
クロップ&カットの設定を細かく調整する	196
クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ&カット同時テスト)	196
クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)	199
読み取りセンサーを補正する	205
クリーニングによる印刷の中断を回避する	206
印刷中に行われるクリーニングについて	206

補正機能を使う

出力品質を最適化するためには、いくつかの補正機能を活用することが有効です。

必要な調整を自動で行う

出力品質を最適化するため、メディアや印刷条件に合った補正が必要です。 印刷条件によってインクの着弾位置がずれたり、メディアを送るときの移動距離が微妙に変化したりします。これらをメディア に合わせて自動で補正します。 はじめにテストパターンを印刷し、マルチセンサーでテストパターンを読み取り、補正値を自動入力します。

自動補正を実行すると、テストパターンの印刷、読み取り、補正値の入力を以下のそれぞれに対して実施します。

- マルチセンサー調整 (補正に使うセンサーを最適な状態に調整する)
- ・ メディアギャップ補正 (インクの着弾位置の補正)
- 送り補正(横すじを軽減するための補正)

手順

- **1.** メディアをセットアップする。
- **2.** フロントカバーを閉じる。



- 4. [メディア設定]>[印刷設定]>[一括自動補正]をタップする。
 - 5. [実行]をタップする。 以下の内容について、テストパターンの印刷と補正値の入力が実施されます。
 - マルチセンサー調整
 - ・送り補正
 - メディアギャップ補正
- 6. 終了画面が表示されたら[OK]をタップする。
- 7. [結果]に応じて以下を実施する。
 - ・操作パネルに[成功]と表示されている場合は、
 - ・操作パネルに[**失敗**]と表示されている場合は、手動調整を実施してください。

関連情報

- P. 166 手動調整:横すじを軽減する(送り補正)
- P. 168 手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)

手動調整:横すじを軽減する(送り補正)

印刷面に入った帯状の「すじ」を目立たなくするように補正します。

帯状の「すじ」のことを、「横すじ」や「バンディング」と呼びます。横すじは、メディアの厚みやフロントヒーターの温度に よって、メディアを送るときの移動距離が微妙に変化することで生じます。お使いのメディアやフロントヒーターの設定温度に 合わせた補正をお勧めします。

はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補 正結果を確認してください。テストパターンの印刷と補正値の入力を何度かくり返し、最適な補正値を探してください。



・手元で確認したい場合は、[シートカット]の[実行]をタップしてメディアを切り離すこともできます。

- [保存]をタップする。
 入力した補正値が保存されます。
- 9. [テストプリント]の[実行]をタップする。 テストパターンをもう一度印刷します。
- **10.** テストパターンを確認し、調整が成功したかどうか確認する。
 「▲」が指している図形(=現在の補正値)が、すき間と重なりが最も小さいことを確認してください。すき間と重なりが小さい図形が他にある場合は、補正値を再設定してください。
- 11. 調整が成功したら、 🏫 をタップしてもとの画面に戻る。

手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)

プリントヘッドから吐出するインクの着弾位置を調整します。着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変 わりますので、お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

はじめにテストパターンを印刷し、補正値を決めて入力します。補正値を入力したら、あらためてテストパターンを印刷して補 正結果を確認してください。

次の場合は、必ずこの調整を実施してください。

- 本機を初めて使用する場合
- 使用するメディアの種類を変更する場合
- ヘッド高さを変更した場合

手順

- 1. メディアをセットアップする。
- 2. フロントカバーを閉じる。



- 4. [メディア設定]>[印刷設定]>[メディアギャップ補正]をタップする。
- 5. [詳細補正(手動)]を選択し、[次へ]をタップする。
- 6. [テストプリント]の[実行]をタップする。 テストパターンの印刷を開始します。
- 7. 印刷したテストパターンを確認し、 をタップして No.1 の H1 と H2 および No.2 の H1 と H2

の補正値を入力する。

2本の縦線の"ずれ"が最も少ない値を選びます。下図の場合、No.1とNo.2の[H1]は[+5]、No.1とNo.2の[H2] は「+4」を選びます。連続する値のどちらか迷う場合は、中間の値にしてください(補正値は「0.5」ずつ設定できま す)。



11. 調整が成功したら、 合子 をタップしてもとの画面に戻る。

プリントヘッドの高さを変える

しわになったりプラテンから浮き上がったりするメディアがプリントヘッドに当たらないように、プリントヘッドの高さを調整 します。

プリントヘッドの高さは[低い][中間][高い]から選べます。[中間]または[高い]にしたときは、[低い]のときに比べて印刷結果が 粗くなるなど、印刷品質の低下を招くことがあります。

手順

- **1.** メディアをセットアップする。
- **2.** をタップする。
- 3. [メディア設定]>[印刷設定]>[ヘッド高さ設定]をタップする。
- **4.** [変更]をタップする。 プリントヘッドが操作できる位置まで移動します。
- 5. フロントカバーを開ける。
- 高さ調整レバーでプリントヘッド高さを調整する。
 高さ調整レバーの位置を変えると、表示画面の表示が変わります。



位置	操作パネルの表示	説明
1	[低い]	通常は[低い]に設定してください。
2	[中間]	印刷時にしわになったりプラテンから浮き上がったりするメ ディアの場合は、[中間]に設定してください。
3	[高い]	[中間]にしても印刷時にしわになったりプラテンから浮き上 がったりする場合は、[高い]に設定してください。



- P. 165 必要な調整を自動で行う
- P. 168 手動調整: インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)

浮き上がりやすい/スムーズに動かないメディアを使用する

メディアを安定させるため、プラテンはメディアを吸着しています。メディアの性質や状態などに合わせて吸着力を調整することができます。

手順

1. メディアをセットアップする。



3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[メディア吸着力設定]をタップする。



0~100 %	コシがなくてスムーズに移動しにくいメディアでは、値を小さくする(吸着力を弱 める)とスムーズに移動するようになることがあります。
オート	メディア幅に最適な吸着力に自動調整されます。

- 5. [保存]をタップして決定する。

メモ

- ・出荷時設定:[オート]
- ソフトウェア RIP によってはこの設定をソフトウェア RIP でも行うことができます。ソフトウェア RIP で設定したときは、本機側の設定は無視されます。

巻取装置の設定をする

巻取装置を使用する場合、以下の設定が実際のメディアの取り付け方法と出力方法に則した設定かどうかを確認してください。 次のいずれかのような場合は、出荷時設定から設定を変更する必要があります。

- カッティング動作をともなわない印刷だけの出力で、かつコシの弱いメディアを使用するとき。
- 内巻きで巻き取りたいとき。
- ホワイトインクの上に CMYK インクを重ねて印刷するなど、複数の色を重ねて印刷するとき

手順

- 2. [環境設定]>[巻き取り設定]をタップする。
- 3. [巻き取り方法]をタップする。
- 4. 以下から設定を選択し、[保存]をタップする。

[たるみ巻き]	メディアを少したるませながら巻き取ります。塩ビなどのコシが強く、裏面がすべ りやすいメディアに適しています。
[テンション巻き]	メディアを張りながら巻き取ります。ターポリンなどのコシが弱く、裏面がすべり にくいメディアに適しています。
[まとめて巻く]	ひとつのデータの出力が完了したのちにメディアを巻き取ります。色を重ねて印刷 をする出力データに適しています。 ^{*1}

*1 出力中は巻き取りを行わないため、前後 (Feed) 方向に長いデータを出力するとメディアが床に接触します。印刷面を汚さないように、あらかじめ 床にきれいな段ボールなどを敷いてください。

重要

メモ

カッティング動作を伴う出力データのときはこの設定は無効になり、ひとつのデータの出力が完了するまでは巻き取りません。

• 出荷時設定: [たるみ巻き]

- 5. [巻き取り方向]をタップする。
- 6. 以下から設定を選択し、[保存]をタップする。

[外巻き]	印刷された面を外側にして紙管に巻き取ります。



メディアの引き戻しと送りのときにミドルピンチローラーを使用する

引き戻し印刷やプリント&カットのときにミドルピンチローラーが自動的に上昇する設定を[**無効**]にします。メディアの斜行や 浮きを抑えて、印刷やカットのずれを抑える効果があります。

[ミドルピンチ自動昇降]は、メディアを引き戻す際にミドルピンチローラーを自動的に上昇させ、上昇したまま重ね印刷やカットを実施する機能です。しかし、長尺印刷の場合やコシのないメディアなどでは、メディアが斜行したり浮いたりして、出力品 質に影響することがあります。

[ミドルピンチ自動昇降]を[無効]に設定すると、ミドルピンチローラーがメディアを押さえながら移動するため、メディアの斜行や浮きを防ぎます。ただし、ミドルピンチローラーが印刷表面に押し付けられたままになるため、印刷表面にローラーの跡が付きやすくなります。メディアを引き戻す前に、しっかりと乾燥させておくようにしてください。



関連情報

• P. 176 メディアを温めてメディア浮きを抑制する

本機は、エプロン部にメディアを温めるフロントヒーター (①) を搭載しています。メディアを温めることにより、メディアを しなやかにして、プラテン部のメディア浮きを抑えます。メディアの種類や印刷速度に応じて、温度を調整することができま す。



▲ 警告

高温注意。

ヒーターなど熱くなる場所があります。やけどに注意してください。

▲ 警告

出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。

同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火したりする恐れがあります。

▲ 警告

熱に耐えられないメディアは使わない。

メディアが変質したり、火災や有害ガス発生の恐れがあります。

▲ 警告

ヒーターで服を乾かすなど、用途以外の使い方をしない。

過熱による火災など、思わぬ事故の原因になります。

重要

20~32℃の環境でお使いください

20℃未満の環境で本機をお使いの場合、メディアの種類や幅によっては、しわになったり、温度ムラになったりすることがあります。このような場合は、メディアヒーティングシステムの温度を 2℃程度低くしてみてください。ただし、安定した印刷結果を得るためには、20~32℃の環境で本機をお使いください。

待機時のヒーター温度を設定する

使用する環境によって設定温度より高くなることがありますが、異常ではありません。

手順

- 1. ローディングレバーが上がっていることを確認する。
- 2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。





出力時のヒーター温度を設定する

使用する環境によって設定温度より高くなることがありますが、異常ではありません。

手順

- **1.** メディアをセットアップする。
- 2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。




カッティング条件を細かく設定する

カッターの圧力、移動速度、刃先補正量などを、メディアの性質やカットする形状に合わせて、細かく設定することができま す。はじめにテストカットを実施し、設定値を決めて入力します。設定値を入力したら、あらためてテストカットを実施して結 果を確認してください。テストカットと設定を何度かくり返し、最適な設定値を探してください。

手順

- 1. メディアをセットアップする。
- 2. フロントカバーを閉じる。



- 4. [テストカット]の[実行]をタップする。 テストパターンがカットされます。
- 5. テストカットの結果を確認する。 結果が見にくい場合は、[シートカット]を[実行]してメディアを切り離し、手元で確認してください。



確認項目	判定		設定項目	調整
形を確認する。	形がゆがんでいる。		[カット速度]	小さくする
田をけがす	四角形が一緒に	こはがれる。	[カッター圧]	大きくする
ቯ፟፝ዾ፝፞፝፝ፚዀ፝፝፝፝፝፝፝፝ኇ。	部分的な切り残	桟しがある。	[カット速度]	小さくする
	うっすらと台紙にカッターの跡がある。			そのまま
四角形をはがす。	カッターの跡がわからない。		[カッター圧]	大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている。			小さくする
はがした四角形の形を 確認する。		角に丸みやツノが無い		そのまま
		角がとれて丸くなっている	[カッターオフセット]	大きくする
		角にツノができている		小さくする



表示画面(カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセッ ト値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度(1つのカット線をカッ ティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが 移動するときの速度)を設定します。空送り中に、メディアが浮 き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速 度を落としてください。	30 cm/s

7. [保存]をタップして決定する。



切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整するとよい結果 が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。1 目盛で 0.1 mm、1 回転で 0.5 mm の 調整ができます。

ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることが あります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量(A)は、最小で0mm(B)、最大で2.5mm(C)です。



<u>刃先突出量の目安(ステッカーを作成する場合)</u>

刃先突出量(A)は、「シート部分の厚み(D)」と「台紙の厚み(E)の半分(F)」を足した量にしてください。



<u>刃先突出量の目安(ミシン目カットを実施する場合)</u>

刃先突出量(A)は、カッターがメディア(G)を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。 ミシン目カットの出力設定については、VersaWorksの取扱説明書を参照してください。



重要

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

印刷面にカットするときの調整をする

硬化したインクには厚みがあります。そのため、印刷面をカットするときと印刷してないところをカットするときとはカッティング条件が異なります。印刷面にカットするときは、この[**テストカット用プリント**]を使ってカッティング条件の 調整を行なってください。

この調整は、おおよその目安です。その精度を保証するものではありません。

Step 1: テストカット用プリントをしてテストカットする

手順

- **1.** メディアをセットアップする。
- **2.** をタップする。
- 3. [メディア設定]>[カット設定]>[カッター調整]をタップする。
- 4. [テストカット用プリント]の[実行]をタップする。



5. [テストカット]の[実行]をタップする。



Step 2: テストカットの結果を確認して調整する

手順

- **1.** フロントカバーを開ける。
- 2. テストカットの結果を確認する。



確認項目	判定		設定項目	調整
形を確認する。	形がゆがんでいる。		[カット速度]	小さくする
口たけがす	四角形が一緒に	こはがれる。	[カッター圧]	大きくする
	部分的な切り残しがある。		[カット速度]	小さくする
	うっすらと台紙にカッターの跡がある。		[カッター圧]	そのまま
四角形をはがす。	カッターの跡がわからない。			大きくする
	カッターの跡が深すぎる、台紙まで切れている。			小さくする
はがした四角形の形を 確認する。		角に丸みやツノが無い		そのまま
		角がとれて丸くなっている	[カッターオフセット]	大きくする
		角にツノができている		小さくする

3. — + をタップして、各設定を変更する。

表示画面(カッティング条件)	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセッ ト値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度(1つのカット線をカッ ティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが 移動するときの速度)を設定します。空送り中に、メディアが浮 き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速 度を落としてください。	30 cm/s

4. [保存]をタップして決定する。

Step 3: 調整結果を確認する

手順

1. [出力開始位置]の[実行]をタップする。



カッティング時の距離補正をする

カッティング時、カット線の長さを正確に合わせたいときの補正を行います。カッティングのみ、またはプリント&カットでも 適用されます。

メディアの厚みによって、メディアの移動距離が微妙に変化します。そのためカッティングしたときの線の長さがデータで設定 された長さとずれることがあります。

手順

1. メディアをセットアップする。



- 3. [メディア設定]>[カット設定]>[カット距離補正]をタップする。
- 4. --- たタップして、補正値を変更する。

設定項目	設定内容	出荷時設定
[補正値(Feed)]	メディアの送り方向の補正値	0.00 %
[補正値 (Scan)]	プリントヘッドの移動方向の補正値	0.00 %

- 5. [保存]をタップして決定する。
- 6. かかい をタップして、もとの画面に戻る。

角をきれいにカットできるようにする(オーバーカット)

カット線の外枠の角部分を少し長めにカットして、角をきれいにカットすることができます。

ラミネートした後や、厚みのあるメディア、コシのないメディアを使用する場合に効果的です。また、ステッカーを剥がしやす くする効果もあります。



手順

1. メディアをセットアップする。



- 3. [メディア設定]>[カット設定]>[オーバーカット]をタップする。
- **4.** [**有効**]をタップする。
- 5. [保存]をタップして決定する。
- 6. をタップして、もとの画面に戻る。
 - -(**XE**)-
 - 出荷時設定:[**無効**]
 - カッティングの始点ではオーバーカットされません。



本機のカッティング設定をソフトウェア RIP の設定よりも優先させる

ソフトウェア RIP の設定よりも、本機で設定したカッティング条件を優先するように設定します。カッティング条件はソフトウ ェア RIP でも設定でき、通常はソフトウェア RIP の設定を優先します。





- 2. [環境設定]>[カット設定の優先度]をタップする。
- 3. [機体優先]を選択する。

メモ

4. [保存]をタップして決定する。





印刷とカットのずれを補正する

印刷とカッティングを連続して行った場合に、印刷とカッティングが微妙にずれた場合の補正方法です。 位置合わせマークを印刷して読み取り、ずれを補正します。メディアの厚みやヘッド高さによって印刷とカッティングの位置が 微妙にずれることがあります。お使いのメディアに合わせた補正をおすすめします。

1. インクの着弾位置のずれを調整する



関連情報

• P. 168 手動調整: インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)

2. 印刷とカットのずれを補正する



7. メディアの送り方向(FEED 方向)とプリントヘッドの移動方向(SCAN 方向)の補正値を設定する。			
(1) [補正値(Feed)]の ―― 🕂 をタップして、メディアの送り方向(FEED 方向)の補正値を設定す			
a₀			
(2) [補正値(Scan)]の ―― 🕂 をタップして、プリントヘッドの移動方向(SCAN 方向)の補正値を			
設定する。			
8. [保存]をタップする。 補正値が保存されます。			
9. [テストプリント1 (ズレの有無)]の[実行]をタップする。 テストプリント1 がプリント&カットされます。印刷とカット線が合っていれば調整完了です。さらに調整が必要な			
場合は、[補正値(Feed)]と[補正値(Scan)]の + をタップしてプリント&カットの位置を微調整し、			
[保存]してください。			
メモ 出荷時設定			
・ [補正値(Feed)](メディアの送り方向の補正値):0.00 mm			
・ [補正値(Scan)](プリントヘッドの移動方向の補正値): 0.00 mm			
10. 余タップして、もとの画面に戻る。			

カッティング動作中に印刷位置とカット位置のずれを補正する

プリント後のカッティング中にカット位置のずれ(A)を見つけた場合、動作を一時停止してカット位置のずれを補正する方法です。ここで設定した補正値は、セットアップ中のメディア設定に反映されます。



通常は、印刷位置とカット位置のずれは、テストパターンを見ながら補正してください。

手順

- カッティング動作中に[一時停止]をタップする。
 カッティング動作が一時停止します。
- 2. 📄 をタップする。
- 3. [メディア設定]>[カット設定]>[プリント&カット位置調整]をタップする。
- 4. カット位置の補正値を決める。





関連情報

• P. 191 印刷とカットのずれを補正する

クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ&カット同時テスト)

メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わ せて印刷とカットのずれを補正してください。

クロップ&カットは、印刷後にメディアをいったん取り外してからカットしますが、この方法ではメディアは取り外さずに、印 刷位置とカット位置の補正を一度に実施することができます。

1. インクの着弾位置のずれを調整する



関連情報

• P. 168 手動調整:インクの着弾位置のずれを調整する(メディアギャップ補正)

2. クロップ印刷とカットのずれを同時に補正する

クロップマーク印刷とカットを実施して、位置のずれがないかを確認します。ここでは、簡易的にクロップマーク印刷後にメデ ィアを取り外さず、クロップマークを読んでテストカットを実行します。実際の工程と同じようにクロップマーク印刷後にメデ ィアを取り外してラミネートなどのあと処理をし、再度メディアを取り付けてカット位置のずれがないかを確認する場合は、 [クロップ/カット分離テスト]をオンにしてください。詳細は、クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離 テスト) (P. 199)を参照してください。

手順

- 1. _____ をタップする。
- 2. [メディア設定]>[カット設定]>[クロップカット位置調整]をタップする。
- **3. [テストプリント1(ズレの有無)**]の[**実行**]をタップする。

テストプリント1がプリント&カットされます。テストパターンはメディア上に1つ出力されます。

重要

透明なメディア、銀色などの光を反射しやすいメディアおよび黒などの色の濃いメディアの場合、印刷(クロップ マーク)を読み取ることができずにカットが行われない場合があります。[**クロップマーク検出エラー**]と表示さ れたときは、以下をお試しください。

- 透明なメディアを使っていませんか? (P. 315)
- 光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使用していませんか? (P. 315)

4. テストプリント1を確認する。

プリント位置(塗りつぶし)とカット位置(赤線)のずれを確認してください。下図は、プリント位置とカット位置が ずれた状態です。

[F]はメディアの送り方向(FEED方向)、[S]はプリントヘッドの移動方向(SCAN方向)を示しています。



プリント位置とカット位置が合っている場合は、調整は必要ありません。 プリント位置とカット位置がずれている場合は、次の手順に進んでください。

- **5.** [**テストプリント 2(補正値決め)**]の[実行]をタップする。 テストプリント 2 がプリント&カットされます。
- 6. テストプリント2の状態から補正値を確認する。 カッティングライン(A)と補正値目盛りの交点(B)が補正値です。下図の場合、補正値は「-0.3」です。 メディアの送り方向(FEED方向)、プリントヘッドの移動方向(SCAN方向)それぞれを確認してください。



• P. 199 クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)

クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)

ラミネート加工によってメディアの厚みが変わったり、カット前後のメディア取り付け位置がずれたりすることで、クロップマ ークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアや状態に合わせて、印刷とカットのずれを補正 してください。

このテストでは、実際の作業と同じ条件にするため、クロップマークだけを印刷した後にメディアを取り外し、もう一度メディ アを取り付けてからカットのテストを実施します。

1. インクの着弾位置のずれを調整する



関連情報

• P. 168 手動調整: インクの着弾位置のずれを調整する (メディアギャップ補正)

2. クロップマークだけを印刷する



3. テストカットを実施する



• 光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使用していませんか? (P. 315)

4. 補正値を設定する

手順



関連情報

• P. 196 クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ&カット同時テスト)

読み取りセンサーを補正する

メディアの特性(反射性や色など)によって、クロップマークが読み取れないことがあります。そのような場合は、クロップマ ークを読み取るセンサーを補正します。クロップ&カットを行わないときは、失敗と表示されていても動作に支障はありません。

手順

1. メディアをセットアップする。



- 3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[マルチセンサー調整]をタップする。
- 4. [実行]をタップする。 [調整結果]が表示されます。
 - ・[成功]:



・ [失敗]:

次の項目を確認してください。

原因	対策
プリンターを設置している部屋、またはプリンター周辺の 照明が明るすぎる	部屋の照明を調整してください
何等かの理由で補正に失敗した	もう一度やり直してください
メディアの特性(反射性や色)により、クロップマークが 認識できない	クロップ&カットをする場合は、以下をお試しください ・光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使 用していませんか?(P. 315) ・透明なメディアを使っていませんか?(P. 315)
印刷直後のメディアがあたるなどして、マルチセンサーに インクがついた	お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡 ください

印刷中に行われるクリーニングについて

本機は印刷している時間をカウントしており、印刷積算時間が規定時間に達すると自動的にクリーニングを行います。クリーニングが終了すると、印刷積算時間はリセットされます。このクリーニングは印刷中でも行われるため、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

印刷中のクリーニングを回避するために、まずクリーニングまでの時間を把握します。その後、ソフトウェア RIP で印刷に 必要な時間を確認します。印刷に必要な時間がクリーニングするまでの時間より長い場合は、印刷前にクリーニング&カウントクリアを行います。これにより印刷積算時間がリセットされます。または印刷品質を変更して印刷に必要な時間を短くします。これらのどちらかまたは両方を行うことで、印刷中のクリーニングを回避することができます。

1. 印刷積算時間を確認する

ホーム画面にクリーニングまでの時間が表示されていないときは、メニューからクリーニングまでの残り時間を表示する設定に 変更してください。

P. 226 クリーニングまでの残り時間を表示する

手順

1. ホーム画面が表示されていないときは、 かをタップする。

2. [CL.まで]の表示を確認する。

自動クリーニング開始までの残りの時間が表示されています。



2. 印刷に必要な時間を確認する

印刷に必要な時間はご使用のソフトウェア RIP でご確認ください。以下は VersaWorks の確認方法です。

手順

- 1. [ジョブの設定]画面を表示する。
 - 2. 印刷に必要な時間を確認する。

	品質設定				
	用紙の種類:			mm 0	100
4	一般		•		
U.	印刷品質:	• 高品質	(45分)		
		標準	(26分)	1102	
00		高速	(21分)		
-		F37h	(5分)		
¢,	解像度:	TABLE & PROVIDE	V	200	F
	₹-ド:	Collected	•		
12	詳細設定				

関連情報

・ VersaWorks マニュアル(https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6)

3. 自動クリーニングまでの時間をリセットする

自動クリーニングまでの時間と印刷に必要な時間を確認し、必要に応じて積算時間をリセットするクリーニング&カウントクリ アを実施します。

手順

- **1.** をタップする。
- 2. [環境設定]>[印刷中クリーニングまでの残り時間]をタップする。

以下の画面が表示されます。

メディアをセットしてください。		
← 印刷中クリーニングまでの残り時間	?	Ê
残り時間表示		=
クリーニング&カウントクリア 実行	^	
	~	
保存		Ū

[クリーニング&カウントクリア]の[実行]をタップする。
 クリーニングを開始します。操作パネル上部に[メンテナンス中です。]とステータスが表示されます。
 終了すると、もとの画面に戻ります。

4. 6 をタップして、もとの画面に戻る。

作業効率を最適化する

メディア設定を管理する	
メディア設定を変更する	210
登録済みのメディア設定を確認する	211
メディア名を変更する	
メディア設定を複製する	
カット用にメディア設定を複製する	
メディア設定を削除する	215
出力開始位置を調整する	
ベースポイントを設定する	216
出力時間を短縮する	
幅のせまいメディアへの出力を速くする	
その他の便利な機能	
テストプリントを横に並べて印刷する	

メディア設定を変更する

メディア設定を変更します。変更できるメディア設定は、セットアップ中のメディアのみです。

手順

1. メディアをセットアップする。



- 3. [メディア設定]>[メディア設定値一覧]をタップする。
- **4.** 変更したい設定をタップし、各設定の編集画面に移動する。 変更できるメディア設定は次のとおりです。

設定メニュー	参照ページ
[ヘッド高さ設定]	P. 170 プリントヘッドの高さを変える
[送り補正]	P. 166 手動調整:横すじを軽減する(送り補正)
[メディアギャップ補正]	P. 168 手動調整:インクの着弾位置のずれを調整す る(メディアギャップ補正)
[カッター調整]	P. 181 カッティング条件を細かく設定する
[プリント&カット位置調整]	P. 191 印刷とカットのずれを補正する
[クロップカット位置調整]	P. 196 クロップ印刷とカットのずれを補正する(ク ロップ&カット同時テスト) P. 199 クロップ印刷とカットのずれを補正する(ク ロップ/カット分離テスト)
[カット距離補正]	P. 187 カッティング時の距離補正をする
[オーバーカット]	P. 188 角をきれいにカットできるようにする(オー バーカット)
[ヒーター温度]	P. 177 待機時のヒーター温度を設定する P. 179 出力時のヒーター温度を設定する
[マルチセンサー調整]	P. 205 読み取りセンサーを補正する
[メディア吸着力設定]	P. 172 浮き上がりやすい/スムーズに動かないメデ ィアを使用する
[印刷時の動作幅]	P. 218 幅のせまいメディアへの出力を速くする
[ミドルピンチ自動昇降]	P. 175 メディアの引き戻しと送りのときにミドルピ ンチローラーを使用する

- 5. 設定を変更した場合は、[保存]をタップする。

登録済みのメディア設定を確認する

手順

- **1.** をタップする。
- [メディア管理]をタップする。
 登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
- 3. 任意のメディア設定をタップする。
- [メディア設定値一覧]をタップする。
 登録済みのメディア設定値が一覧表示されます。

設定メニュー	参照ページ
[ヘッド高さ設定]	P. 170 プリントヘッドの高さを変える
[送り補正]	P. 166 手動調整:横すじを軽減する(送り補正)
[メディアギャップ補正]	P. 168 手動調整:インクの着弾位置のずれを調整す る(メディアギャップ補正)
[カッター調整]	P. 181 カッティング条件を細かく設定する
[プリント&カット位置調整]	P. 191 印刷とカットのずれを補正する
[クロップカット位置調整]	P. 196 クロップ印刷とカットのずれを補正する(ク ロップ&カット同時テスト) P. 199 クロップ印刷とカットのずれを補正する(ク ロップ/カット分離テスト)
[カット距離補正]	P. 187 カッティング時の距離補正をする
[オーバーカット]	P. 188 角をきれいにカットできるようにする(オー バーカット)
[ヒーター温度]	P. 177 待機時のヒーター温度を設定する P. 179 出力時のヒーター温度を設定する
[マルチセンサー調整]	P. 205 読み取りセンサーを補正する
[メディア吸着力設定]	P. 172 浮き上がりやすい/スムーズに動かないメデ ィアを使用する
[印刷時の動作幅]	P. 218 幅のせまいメディアへの出力を速くする
[ミドルピンチ自動昇降]	P. 175 メディアの引き戻しと送りのときにミドルピ ンチローラーを使用する

5. かをタップして、もとの画面に戻る。

メディア名を変更する



メディア設定を複製する

作成済みのメディア設定を複製します。

手順



- [メディア管理]をタップする。
 登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
- 3. 複製したいメディア設定をタップする。
- [メディアを複製]をタップする。
 複製されたメディア名の入力画面が表示されます。複製されたメディア名は、複製元のメディア名の先頭に[COPY]が 追加されています。
- 5. 任意のメディア名を入力し、[OK]をタップする。
- 6. か をタップして、もとの画面に戻る。

カット用にメディア設定を複製する

作成済みのメディア設定をカット用に複製します。



- [メディア管理]をタップする。
 登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
- 3. 複製したいメディア設定をタップする。
- 4. [カット用メディアとして複製]をタップする。
 - 複製されたメディア名の入力画面が表示されます。複製されたメディア名は、複製元のメディア名の先頭に[**COPY**] が追加されています。
 - 複製元のメディアからヒーターパワーをオフにした設定で複製されます。
- 5. 任意のメディア名を入力し、[OK]をタップする。

メディア設定を削除する

作成済みのメディア設定を削除します。

セットアップ中のメディアに対しては、この操作は実行できません。メディアのセットアップを解除してから実行してく ださい。

手順

メモ

- **1.** をタップする。
- **2.** [メディア管理]をタップする。 登録済みのメディア設定が一覧表示されます。
- 3. 削除したいメディアをタップする。
- 4. [メディアを削除]をタップする。
- 5. 確認画面が表示されたら、[はい]をタップする。 メディア設定が削除され、登録済みのメディア設定一覧画面に戻ります。
- 6. 命 をタップして、もとの画面に戻る。
ベースポイントを設定する

セットしたメディアへの出力エリアを決めるために、ベースポイントを設定します。

ベースポイント(④)とは、出力エリア(①)の右端を指します(②:メディアの送り方向、③:プリントヘッドキャリッジの 移動方向)。ベースポイントを設定しなくても出力はできますが、出力エリアを定めることでメディアを無駄なく使ったり、狙 った場所に印刷したりできます。

印刷後は初期状態に戻りますので、1ページごとにベースポイントを設定してください。



• ②:ベースポイント(出力エリアの右端)

4. 位置が決まったら、[ここをベースポイントに設定]をタップして決定する。 ベースポイント位置が更新され、ホーム画面に戻ります。

- × =	
ホーム画	面では、デイコンの表示が変わり、ハースホイント位置が更新されたことをの知らせてます。
0	W : 1600 mm
Basa	l · m
Dase	

幅のせまいメディアへの出力を速くする

ヘッドの動く幅を必要最小限にすることで出力時間を短縮します。メディアの幅がせまいときや出力データの幅がせまいとき に効果があります。

手順

- **1.** メディアをセットアップする。
 - **2.** をタップする。
 - 3. [メディア設定]>[その他のメディア設定]>[印刷時の動作幅]をタップする。
 - 4. 印刷時にプリントヘッドが動く範囲を指定する。

[出力データ幅]	プリントヘッドの動く範囲を出力データに合わせます。必要最小限の動きになり、 最も速い出力が期待できます。ただし、メディアの移動速度が一定ではなくなりま すので、色がムラになることがあります。
[メディア幅]	プリントヘッドの動く範囲をメディアの幅に合わせます。
[全幅]	プリントヘッドが機体の端から端まで動きます。メディアの移動速度が常に一定に なり、最も安定した出力結果になります。

- 5. [保存]をタップして決定する。
- 6. 合 をタップして、もとの画面に戻る。
 - -**X**E

出荷時設定:[出力データ幅]

テストプリントを横に並べて印刷する

連続してテストプリントを行なう場合の2回目以降の印刷位置を、1回目の印刷位置に対して[縦](縦に並べて印刷)にするか [横](横に並べて印刷)にするか設定できます。



- 2. [環境設定]>[テストプリント位置]をタップする。
- 3. [横]を選択する。
- 4. [保存]をタップして決定する。
- 5. をタップして、もとの画面に戻る。



業務管理を最適化する

業務を適切かつ効率的に管理する22	21
現在日時を設定してメンテナンスに活用する	21
メディアの残量を確認する22	22
通知の表示/非表示を切り替える2	24
クリーニングまでの残り時間を表示する2	26
スリープモード(省電力機能)になるまでの時間を設定する	28
プリンターの基本設定を管理する	29
表示言語を変更する	29
表示単位を変更する	230
プリンターの情報を確認する2.	231
ネットワークの情報を確認する2	232
操作パネルの明るさを調整する2	233
操作パネルの操作音を消す2	234
すべての設定を工場出荷時の状態に戻す2.	235

現在日時を設定してメンテナンスに活用する

現在の日付と時間を設定します。この設定をすることで、テストプリントを実施したときにテストプリント実施日時がテストパターン印刷の横にプリントされます。



- 2. [システム情報]>[日時設定]をタップする。
- 3. --- キー をタップして、日付と時間を設定する。
- 4. [保存]をタップして決定する。
- 5. 合 をタップして、もとの画面に戻る。

メディアの残量を確認する

使用中のメディアの残量を表示させることができます。はじめに現在の残量を設定しておくことで、残量が0になるまで常に表示画面に残量が表示されます。

残量表示はメディアを交換しても自動更新されませんので、メディアを交換するたびに設定しなおしてください。

メモ 表示される残量はおおよその目安です。その精度を保証するものではありません。		
手順		
1.	メディアをセットアップする。	
2.	ホーム画面で以下の箇所をタップする。	
	世力できます。 Media 1 レーター [メディア残量管理]画面が表示されます。	
3.	十 をタップして、残りのメディアの長さを入力する。	
4.	[保存]をタップして決定する。	
5.	をタップして、もとの画面に戻る。 メディアの残量が表示されます。	
	出力できます。	
	Media 1 W : 1600 mm L : 8.5 m	

I メディア残量を印刷する

ホーム画面に表示されているメディア残量を印刷します。

現在使用中のメディアの残り長さを記録したいときに使います。メディアの交換前にそのときの残量を印刷しておくと、次回使 用するときにはその印刷結果を見て残量を設定できます。

ただし、続けて次の印刷を行うと、メディア残量が印刷された部分の上に印刷を開始してしまいます。続けて次の印刷を行う場合は、印刷前にメディアを切り離してください。

手順

- ホーム画面でメディア残量が表示されていることを確認する。
 メディア残量が表示されていないときは、メディアの残量を確認する (P. 222) を参照してメディア残量を設定してください。
- 2. ホーム画面で以下の箇所をタップする。

出力できます。		
Media 1	W : 1600 mm L : 8.5 m	A
	ヒーター	

[メディア残量管理]画面が表示されます。

[メディア残量印刷]>[実行]をタップする。
 メディア残量が印刷されます。

通知の表示/非表示を切り替える

作業者に適切な操作を促すため、以下の通知を表示するかどうかを設定します。

手順



- 2. [環境設定]>[通知の表示/非表示]をタップする。
- 3.

をタップして各通知の表示、非表示を切り替える。

	表示される通知	説明
[インク攪拌通知]	[インク攪拌の時期です。]	インクの沈殿を予防するため、インクパ ウチトレイの撹拌を促します。有効に した場合は、1日に1度インクの撹拌を 促すメッセージが表示されます。
[ミドルピンチローラー配置通知]	[すべてのグリットローラー位置にミド ルピンチローラーを配置してくださ い。]	メディアの送り精度を上げたり、メディ アが浮いてしまうのを防止したりする ためにミドルピンチローラーの使用を 促します。有効にした場合は、ミドルピ ンチローラーが配置されていないとメ ッセージが表示されます。
[メディアクランプ配置通知]	[メディアクランプを正しくセットして ください。]	メディア浮きを防止するためメディア クランプを正しく配置することを促し ます。有効にした場合は、メディアクラ ンプが正しくメディアの端に配置され ていないとメッセージが表示されます。
	[メディアクランプが検出できませんで した。]	メディアクランプがメディアで隠れて いるか、インクなどにより汚れていて検 出できないとメッセージが表示されま す。
[インクの消費期限通知]	[消費期限が切れているインクがありま す。]	まもなくインクが消費期限をむかえま す。消費期限前にインクを交換してく ださい。 P. 112 インクの交換方法

- 4. [保存]をタップして決定する。
- 5. 命 をタップして、もとの画面に戻る。

メモ 出荷時設定: • [**インク攪拌通知**]:オン

- ・[ミドルピンチローラー配置通知]:オン
- ・[メディアクランプ配置通知]:オン

・ [インクの消費期限通知]:オン

クリーニングまでの残り時間を表示する

自動で行われるクリーニングまでの残り時間を表示させることができます。 残り時間表示をオンにすると、クリーニング&カウントクリアのメニューが表示されるとともに、ホーム画面にクリーニングが 開始されるまでの残り時間を表示します。

メモ プリントヘッドの高さを変更すると、クリーニングまでの残りの時間が変化します。 メディアとプリントヘッドとの距離が広いと、インクミストが発生しやすくなるため、クリーニングまでの残りの時間が 短くなります。 手順 をタップする。 1. 2. [環境設定]>[印刷中クリーニングまでの残り時間]をタップする。 3. をタップして、[**残り時間表示**]をオン にする。 メディアをセットしてください。 A ← 印刷中クリーニングまでの残り時間 0 残り時間表示 ≡ クリーニング&カウントクリア ധ 保存 4. [保存]をタップして決定する。 5. をタップして、もとの画面に戻る。 ホーム画面に[CL.まで]の残り時間が表示されます。 メモ [CL.まで]の残り時間をタップすると、設定画面を開くことができます。



スリープモード(省電力機能)になるまでの時間を設定する

出力データの受信や、操作のない状態が続いたときに、どの程度の時間が経ったらスリープモード(省電力機能が働く状態)に なるかを設定します。



表示言語を変更する

操作パネルの表示画面に表示される言語を設定します。

- **1.** をタップする。
- 2. [システム情報]>[言語設定]をタップする。
- **3.** [言語]をタップする。
- 4. 表示言語を選択する。
- **5.** [OK]をタップする。
 - 6. [保存]をタップして決定する。 表示言語が変更され、ホーム画面に戻ります。



表示単位を変更する

操作パネルの表示画面に表示される単位を設定します。



プリンターの情報を確認する

シリアル番号やインクの種類など、本機の情報を確認する方法です。



- [システム情報]>[機体情報]をタップする。
 以下の情報を確認できます。
 - ・[モデル]:機種名
 - [**シリアル**]:シリアル番号
 - [**インクタイプ**]:インクの種類
 - ・[ファームウェアバージョン]
 - ・ [MAC アドレス]
- 3. 合 をタップして、もとの画面に戻る。

ネットワークの情報を確認する

IP アドレスやデフォルトゲートウェイなど、ネットワークの情報を確認する方法です。



・ LG-640/540/300 セットアップガイド

操作パネルの明るさを調整する



操作パネルの操作音を消す

操作パネルをタップするたびに鳴る音をオフにします。



すべての設定を工場出荷時の状態に戻す

すべてのメニューを出荷時設定に戻します。 [言語設定]、[単位設定]の設定は、出荷時の設定にはもどりません。



- 2. [環境設定]>[工場出荷時の設定に戻す]をタップする。
- 3. [初期化]をタップする。
- 4. 確認画面で[はい]をタップする。
- 5. 合 をタップして、もとの画面に戻る。



はじめに

取り扱いに際してのお願い	
プリンター	
インクカートリッジ	
メンテナンスの基礎知識	
メンテナンスの種類とタイミング	
長期間使わないときの処置	

プリンター

・ 本機は精密機器です

- 衝撃や無理な力を加えないようにしてください。
- カバーの中やインクカートリッジ挿入口など、本機の内部にむやみに手を入れないでください。
- ・ 適切な場所に設置してください
 - 決まった温度と湿度の場所に設置してください。
 - 静かで安定している、条件のよい場所に設置してください。
- ・ プリントヘッド、UV 照射装置はデリケートです
 - むやみにさわったり、印刷対象物でこすったりしないでください。ていねいに扱わないと壊れます。
 - プリントヘッドは乾燥すると壊れます。本機は自動で乾燥を防ぎますが、不適切な操作をすると、この機能が働かないことがあります。本書に従って適切に操作してください。
 - インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。プリンターに残ったインクが固まり、プリントヘッドが目づまりすることがあります。
 - 毎日のメンテナンス、状態に応じた各種のメンテナンスが必要です。本書をよく読んで、適切なタイミングで適切なメン テナンスを行うようにしてください。
 - プリントヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。

操作パネルはいつもきれいに

• 操作パネルに汚れやインクが付着したときは、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

インクカートリッジ

- インクカートリッジ内のインクパウチには種類があります
 - プリンターに適合した種類のものをお使いください。また、必ず当社純正品をお使いください。
- インクカートリッジやインクパウチに衝撃を加えたり、インクパウチを分解したりしないでください
 - 落としたり強く振ったりしないでください。衝撃で中の袋が破れ、インクがもれ出すことがあります。
 - インクパウチを分解しないでください。
 - インクパウチにインクを補充しないでください。
 - インクが手や服などに付いたときは、なるべく早く洗ってください。放っておくと落ちにくくなります。
- ・ 保管について
 - インクパウチに記載されている使用期限内に使い切ってください。
 - 直射日光や強い照明が当たらない場所で保管してください。
 - ・ 温度が 5°C以上 30°C未満、湿度 20%RH以上 80%RH以下の風通しのよい場所で、未開封のまま保管してください。

メンテナンスの種類とタイミング

本機をより良い状態でお使いいただくためには、適切なタイミングで適切なメンテナンスを実施することが大切です。

<u>レギュラーメンテナンス</u>

日常的に必要なメンテナンス項目です。

タイミング	カテゴリー	項目
毎日の作業前	プリントヘッドチェック	P. 130 ノズル抜けテストを実施する
	インク撹拌 (ホワイトインクの場合)	P. 103 インクの沈殿を防ぐ
毎日の作業後	機体の清掃	P. 245 メディアの通り道の清掃
		P. 246 カッティングキャリッジのローラーの清 掃
メッセージが表示されたら	プリントヘッド周りの清掃	P. 247 プリントヘッド周りの清掃
廃液があふれそうなとき	廃液の処理	P. 261 廃液処理のメッセージが表示されたら
1 か月に 1 度	UV 照射装置の清掃	P. 255 月に 1 度以上必要なクリーニング

<u>ハードメンテナンス</u>

有事の際に実施するメンテナンスです。インク消費量が多いメンテナンスも含むため、説明をよく読んで適切な時期に実施して ください。

タイミング	カテゴリー	項目
ドット抜けやドットよれが発生した	プリントヘッドチェックとクリーニ ング	P. 130 ノズル抜けテストを実施する
とき		P. 132 ノーマルクリーニングの方法
		P. 266 ミディアムクリーニングの方法
		P. 268 パワフルクリーニングの方法
		P. 124 マニュアルクリーニングの方法
ホワイトインクの色ムラが改善しな	インク循環とインク経路のインク置 換 ^{*1}	P. 270 インク循環の方法
いとき		P. 271 パワフルクリーニングによる色ムラの解 消方法
		P. 272 ダンパー内インク更新の方法
上記を実施しても、色ムラ・ドット 抜け・ドットよれが改善しないとき	すべてのインク経路のインク置換 ^{*1}	P. 275 インク更新の方法
操作パネルが汚れたとき	操作パネルの清掃	P. 284 操作パネルの清掃方法

*1 ダンパー内インク更新は、インクの消費量が多いクリーニングです。

消耗部品の交換

消耗部品の交換です。説明をよく読んで、適切な時期に実施してください。

タイミング	カテゴリー	項目
メッセージが表示されたとき	消耗部品の交換	P. 286 ワイパーの交換
		P. 293 UV ミストフィルターの交換
・ ワイハークリーナー ・ UV ミストフィルター ・ フラッシングスポンジ ・ プリントヘッドキャップ	 ・ リイハークリーナー ・ UV ミストフィルター 	P. 295 フラッシングスポンジの交換
	フラッシングスポンジプリントヘッドキャップ	P. 289 プリントヘッドキャップの交換
切れ味が悪くなったとき	消耗部品の交換	P. 297 カッターの交換
	 ・ カッター ・ セパレーティングナイフ (メディ ア切り離し用ナイフ) 	P. 302 セパレーティングナイフ (メディア切り離 し用ナイフ) の交換

長期間使わないときの処置

長期間使わないときは、次の事項を守ってください。

- 廃液ボトルを空にしておく
 長期間使用しないことがわかっているときは、廃液ボトルを空にしておいてください。本機はメイン電源をオンにしておくと、自動メンテナンスを定期的に行って廃液を排出します。
 下記の期間が経過すると廃液は満杯になるため、定期的に廃液を捨てるようにしてください。
 - [出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]というメッセージが表示されてから約1週間、 または廃液ボトルが空の状態から約120日。

P. 261 廃液処理のメッセージが表示されたら

インク、洗浄液は空にしない
 定期的に実施する自動メンテナンスでは、インクと洗浄液の排出を伴います。残量が十分あるインクパウチと洗浄液パウチ
 をセットしておいてください。インク、洗浄液が空だと自動メンテナンスを実施できなくなります。

- 1か月に1度はサブ電源をオンにする
 月に1度はサブ電源をオンにしてください。電源が入ると、プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作などを自動で行います。長期
 間放置するとプリントヘッドが壊れることがありますので、必ず実施してください。
- 温度と湿度を一定に保つ

使っていないときでも、温度 5~40 ℃、湿度 20~80 % (ただし結露のないこと)を保ってください。高温になりすぎる と、インクが変質して故障の原因となります。低温になりすぎると、インクが凍ってプリントヘッドを破損する原因となり ます。

関連情報

- P. 112 インクの交換方法
- P. 118 洗浄液の交換方法

レギュラーメンテナンス

印刷前のプリントヘッドチェック	
ノズル抜けテストを実施する	243
機体の清掃	245
メディアの通り道の清掃	245
カッティングキャリッジのローラーの清掃	246
プリントヘッド周りの清掃	
マニュアルクリーニングの方法	248
マニュアルクリーニングに関係する消耗品、消耗部品について	254
月に 1 度以上必要なクリーニング	255
UV 照射装置の清掃が必要なタイミング	255
UV 照射装置の清掃方法	256

ノズル抜けテストを実施する

印刷の前にテストプリントをして、ドット抜けやドットよれがないかを確認します。ドット抜けやドットよれがあった場合は、 プリントヘッドのクリーニング(ノーマルクリーニング)を行います。



• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

メディアの通り道の清掃

日常的な清掃として、メディアの通り道を中心にインクや汚れをふき取ってください。メディアの通り道にはインクや汚れがつ きやすく、放置すると新しいメディアを汚したり、出力時のメディアの搬送に悪影響を及ぼしたりします。特にピンチローラー やグリットローラー、またはプラテンなどに汚れがつきます。

▲ 警告

清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。 火災の原因になります。

▲ 注意

清掃は、サブ電源をオフにし、ヒーターが冷めてから(約 30 分待つ)行うこと。 機械が突然動いてけがをしたり、やけどすることがあります。

重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください



水で薄めた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布でふいてください。

1	ピンチローラー	メディアを固定または搬送する部位で、インクや汚れが付きやすい場所です。清掃をおこたると、 メディア表面を汚します。
2	グリットローラー	メディアを固定または搬送する部位で、汚れが付きやすい場所です。ブラシを使って、こびりつ いたメディアかすなどを取ってください。金属ブラシは使わないでください。
3	プラテン	メディアの通り道や溝に付いた、インクや汚れ、またはカットしたメディアの切り粉をふき取っ てください。

カッティングキャリッジのローラーの清掃

メディアを切り離すときに、セパレーティングナイフ(メディア切り離し用ナイフ)のキャリッジのローラーには紙粉がつきま す。定期的にふき取ってください。

▲ 警告

清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。 火災の原因になります。

▲ 注意

清掃は、サブ電源をオフにし、ヒーターが冷めてから(約 30 分待つ)行うこと。 機械が突然動いてけがをしたり、やけどすることがあります。

重要

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください
- 注油は一切しないでください



プリントヘッド周りの清掃

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。プリントヘッド周りの清掃 を「マニュアルクリーニング」と呼びます。次のようなときは、必ずマニュアルクリーニングを行ってください。

<u>メッセージが表示されたとき</u>

メッセージが表示されたときは、ホーム画面の

をタップして通知内容を確認できます。通知をタップするとマニュア

ルクリーニングメニューの画面が表示されます。



パワフルクリーニングでも改善しない症状が出たとき

次のような症状が出て、パワフルクリーニングの効果が無いときは、マニュアルクリーニングを実施してください。

ドット抜け/ドットよれ	インクボタ落ち	引きずり
プリントヘッドに埃などが付着し、正常な インク吐出を妨げている状態です。	プリントヘッド周りに付着した汚れにイン クが溜まり、メディアに垂れ落ちてしまい ます。	プリントヘッド周りに付着した汚れがメデ ィアに接触して起こる現象です。

-**×**=

ワイパーの交換も症状の改善に効果的です。

関連情報

• P. 286 ワイパーの交換

マニュアルクリーニングの方法

以下のタイミングでマニュアルクリーニングを実施してください。

- 一日の作業を開始するまえ
- ・[マニュアルクリーニングの時期です。]という通知が表示されたとき
- 夜間、無人で印刷をしたい場合の印刷データを送るまえ
- パワフルクリーニングでも改善できないドット抜けやインクボタ落ちなどが発生したとき

▲ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約15分待つ)

UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

▲ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

重要

作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10分以内に作業を終わらせてください。10分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえってプリントヘッドを 傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響 を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面 (ノズル面) はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブ サイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。
- クリーニング中に警告音がなったときは
- ・ 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[**すべて完了**]を タップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。



1. プリントヘッドキャップを清掃する



清掃が終了したら、カバー R を閉じる。

2. プリントヘッドを清掃する

手順

1. カバーLを開ける。

重要



2. 新品のクリーニングスティックを洗浄液に浸す。

必ず付属のクリーニングスティックを使用すること。

- 使用済みのクリーニングスティックを使用しないこと
- 使用済みのクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないこと。



3. 下図の場所を清掃する。 特に繊維状のほこりをよく清掃してください。



この部分に垂れそうなインクや洗浄液が残っている場合は、毛羽立たない乾いた布でやさしく拭き取ってください。


6. 命 をタップして、もとの画面に戻る。

3. テストプリントを実施して結果を確認する



• P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき

マニュアルクリーニングに関係する消耗品、消耗部品について

クリーニングスティック、洗浄液、プリントヘッドは消耗品、または消耗部品です。

- マニュアルクリーニングで使用するクリーニングスティックと洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせ いただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください
- プリントヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店または当社コールセン ターまでお問い合わせください

UV 照射装置の清掃が必要なタイミング

UV 照射装置は、インクを定着させるための重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。UV 照射装置の清掃 は適切なタイミングで行うことが重要です。

月に一度以上

常に安定した印刷状態を保っていただくために、月に一度以上は清掃を実施してください。

<u>インクミストの飛散が多くて機体内部が汚れやすいとき</u>

プリントヘッドと印刷面との距離が離れた状態での印刷が多かったり、印刷面からはみ出た位置にインクが吐き出されたりする ような場合には、毎日実施してください。飛散したインクミストが硬化して故障の原因になります。

UV 照射装置の底面および照射窓が汚れているとき(下図参照)



メモ

- UV 照射装置の清掃が必要な頻度は、本機の使いかたによって変わります。お使いの状況に応じた頻度については、お 買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください
- 固着したインクなど、清掃しきれない汚れがある場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡く ださい。

UV 照射装置の清掃方法

重要

作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10分以内に作業を終わらせてください。10分を過ぎると警告音が鳴ります
- 清掃に使う布やアルコールなどは、お客様ご自身でご用意ください

クリーニング中に警告音が鳴ったときは

 ・ 作業開始から10分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[すべて完了]を 押し、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。



▲ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約15分待つ) UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

▲ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコールは、当該製品の使用上の注意を守って使うこと。

引火や、換気、肌荒れなどに注意してください。

▲ 注意 →

```
無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外は使用しないこと。
無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外の薬品等を使用すると、UV 照射装置の故障の原因になります。
```

▲ 注意

拭き取りに使う布は、毛羽立ちのないものを使うこと。金属など、硬い素材は使わないこと。 毛羽立ちの多い布や金属などの硬い素材を使うと、UV 照射装置の故障の原因になります。

手順

1. メディアを取り外す。





7. 無水エタノール、またはイソプロピルアルコールをつけた布で、UV ランプの底面と照射部を拭く。 10 往復程度、汚れが落ちるまで拭き取ってください。



- **8.** カバーLを閉じる。
- 9. [すべて完了]をタップする。
 画面上部に[ノーマルクリーニング中です。]と表示され、クリーニングを開始します。画面には、この工程の残り時間
 (目安)が表示されます。
- 10. かりして、もとの画面に戻る。
- 関連情報
- P. 255 UV 照射装置の清掃が必要なタイミング



廃液処理におけるご注意	260
廃液処理のメッセージが表示されたら	261

廃液処理におけるご注意

▲ 警告

廃液やインクを火気の近くに置かない。 火災の原因になります。

⚠注意

廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと閉じること。

こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

重要

廃液を直射日光の当たる場所に保管しないでください。

付属の廃液ボトルで廃液を一時的に保管する場合、直射日光の当たる場所に置かないでください。廃液が固まって廃液ボ トルが使用できなくなったり、廃液ボトルが劣化し廃液が漏れる恐れがあります。

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでくだ さい。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

廃液処理のメッセージが表示されたら

廃液がある程度ボトルにたまると、[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、廃液を処理してください。

手順

- 1. [出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]メッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
- 2. たタップして通知を表示する。
- 3. 以下の通知をタップする。

出力できます。		
通知 1件		ft
光 出力やクリーニングなどの動作が終わ > ったら、廃液を捨ててください。		≡
	^	
		Ļ
	~	ப
[廃液ボトル]画面が表示されます。		

廃液は任意のタイミングで処理することができます。
以下の手順で廃液ボトル画面を表示させ、手順4以降の手順にしたがって廃液を処理してください。
1. をタップする。
2. [メンテナンス]>[廃液ボトル]をタップする。

- **4. [実行**]をタップする。
- 5. 廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。



▲ 注意

画面に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速や かに廃液ボトルを本体に取り付けること。

手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

重要

廃液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくることがあります。手についたり、床を汚したりしないようにご注意ください。

- 6. 空にしたボトルを速やかに再び取り付ける。
- 7. [完了]をタップする。 もとの画面に戻ります。
- 8. かやりまた おとの画面に戻る。

ハードメンテナンス

ドット抜け、ドットよれが発生したとき	
ノーマルクリーニングの方法	
ノーマルクリーニングの効果がないとき	
ミディアムクリーニングの方法	
パワフルクリーニングの方法	
ホワイトインクの色ムラが発生したとき	
インク循環の方法	
パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法	
ダンパー内インク更新の方法	
重度のドット抜け、ドットよれ、色ムラへの対応	275
インク更新の方法	
印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する	
応急処置)プリントヘッド表面のクリーニング	
操作パネルが汚れたとき	
操作パネルの清掃方法	

ドット抜け、ドットよれが発生したとき

ドット抜けやドットよれがあった場合は、プリントヘッドのクリーニング(ノーマルクリーニング)を行います。

ノーマルクリーニングの方法 メモ メディアがセットアップ済の場合、[ノーマルクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが 表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。 手順 **1.** テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。 (A)の文字から(B)の文字までの間が、A グループ。(B)の文字から右のすべてが B グループです。 メモ テストプリントの結果がわかりにくいときは 明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。 2. をタップする。 3. [ノーマルクリーニング]をタップする。 以下の画面が表示されます。 メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。 f ← ノーマルクリーニング 2 クリーニング後、テストプリントを行う。 \equiv $\mathbf{\wedge}$ () 両方 Û ○ Aグループ ○ Bグループ Ċ 実行

4. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。

ホーム画面で [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜け

テスト (下地:黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなります。

ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト (下地:黒)]は表示されません。

JE

ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度[**ノーマルクリーニング**]を行ってください。長く 使っていると 2~3 回[**ノーマルクリーニング**]を行ってもドット抜けが直らないことがあります。その場合は、 別の方法でクリーニングします。

関連情報

- P. 130 ノズル抜けテストを実施する
- P. 266 ノーマルクリーニングの効果がないとき

ミディアムクリーニングの方法

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。[ノーマルクリーニング]で ドット抜けなどが直らないときは、より強力な[ミディアムクリーニング]を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。

重要

[ミディアムクリーニング]は、[ノーマルクリーニング]よりもインクの消費量が多いより強力なクリーニングです。

メモ

メディアがセットアップ済の場合、[ミディアムクリーニング]画面で[クリーニング後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、クリーニングに続けてテストプリントが実施されます。

手順

- メディアをセットアップする。
 P. 32 新規メディアのセットアップ
- **2.** をタップする。
- 3. [ミディアムクリーニング]をタップする。
- **4.** テストプリントの結果を見て、ドット抜けやドットよれのあるグループを確認する。
 (A)の文字から(B)の文字までの間が、A グループ。(B)の文字から右のすべてが B グループです。





5. クリーニングするプリントヘッドのグループを選択する。

266

メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。		
← ミディアムクリーニング	?	♠
クリーニング後、テストプリントを行う。		=
● 両方		
○ Aグループ		Ļ
○ Bグループ	~	
実行		

6. [実行]をタップする。

クリーニングを開始します。操作パネル上部に[**ミディアムクリーニング中です**。]とステータスが表示されます。 終了すると、もとの画面に戻ります。

- 7. 🔶 をタップする。
- 8. [テストプリント]をタップする。
- 9. [ノズル抜けテスト]を選択して、[実行]をタップする。 もう一度テストプリントを行って、ドット抜けやドットよれが無くなったか確認します。

メモ ご使用になるメディアの色によっては、ホワイトインクのテストパターンを確認しにくい場合があります。 ホーム画面で [ノズル抜けテスト]をタップしたのちに、[クリーニング]>[テストプリント]>[ノズル抜け テスト (下地:黒)]を選択するとホワイトインクの下地を黒にするため、ホワイトインクが確認しやすくなりま す。 ホワイトインクを搭載していない機体の場合は、[ノズル抜けテスト(下地:黒)]は表示されません。 メモ

- ドット抜けやドットよれが無くならなかった場合は、もう一度[ミディアムクリーニング]を行ってください。
- [ミディアムクリーニング]を数回行ってもドット抜けやドットよれなどが直らないときは、[パワフルクリーニング]を行ってください。

関連情報

• P. 268 パワフルクリーニングの方法

パワフルクリーニングの方法

プリントヘッドは、インクを吐出する重要な部品です。定期的かつ適切なメンテナンスが必要です。[ミディアムクリーニング] でドット抜けなどが直らないときは、より強力な[パワフルクリーニング]を行って、プリントヘッドの詰まりを解消してください。





関連情報

• P. 124 マニュアルクリーニングの方法

インク循環の方法

インクカートリッジを振ってインクを撹拌させてもホワイトインクの色ムラが直らない場合は、[**インク循環**]を行ってください。 色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。

メモ

メディアがセットアップ済の場合、[インク循環]画面で[インク循環後、テストプリントを行う。]メニューが表示されます。この設定をオンにすると、インク循環に続けてテストプリントが実施されます。





- **2.** [メンテナンス]>[インク循環]をタップする。
- [実行]をタップする。
 [インク循環]を開始するタイミングによっては、クリーニングを開始することがあります。クリーニングが終了すると
 [インク循環]を開始します。
 [インク循環]を行ってもホワイトインクの出力色が安定しない場合は、[パワフルクリーニング]を行ってください。
- 4. 6タップして、もとの画面に戻る。

関連情報

• P. 271 パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法

パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法

[インク循環]を行ってもホワイトインクの色ムラが直らないときは、より強力な[パワフルクリーニング]を行って、ホワイトインクの色ムラを解消してください。色ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。



関連情報

• P. 272 ダンパー内インク更新の方法

ダンパー内インク更新の方法

[パワフルクリーニング]を行ってもホワイトインクの色ムラが直らない場合は、[ダンパー内インク更新]を行ってください。色 ムラとは、同じデータを同じ設定で出力しても濃淡が異なるなど、出力色にムラがある症状です。 [ダンパー内インク更新]によってインクを置き換えて、出力色が安定するようにします。





- 5. [ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトインクの出力色が安定しない場合は、[インク更新]を行ってください。
- 6. かをタップして、もとの画面に戻る。

関連情報

- P. 275 インク更新の方法
- P. 343 [クリーニングエラー(インクカートリッジ)]

インク更新の方法

次の場合は、[**インク更新**]を行ってください。

- クリーニング機能(ノーマル、ミディアム、パワフル)や[マニュアルクリーニング]を行ってもドット抜けなどインクの吐出 不良が直らない。
- [ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトの色ムラが直らない。
- インクカートリッジを振って攪拌させてもホワイト以外の色ムラが直らない。

重要

[**インク更新**]ではインクを多量に排出します。他のクリーニング(ノーマル、ミディアム、パワフル、マニュアル、ダン パー内インク更新)を行っても、どうしてもドット抜け、ドットよれ、色ムラなどのインク吐出不良が直らない場合にだ け行ってください。

関連情報

- P. 264 ドット抜け、ドットよれが発生したとき
- P. 266 ミディアムクリーニングの方法
- P. 268 パワフルクリーニングの方法
- P. 124 マニュアルクリーニングの方法
- P. 271 パワフルクリーニングによる色ムラの解消方法
- P. 272 ダンパー内インク更新の方法

1. [インク更新]メニューを開始する

手順



- 2. [メンテナンス]>[インク更新]をタップする。
- **3.** テストプリントの結果を見て、ドット抜け、ドットよれまたは色ムラのあるグループを確認する。 (A)の文字から(B)の文字までの間が、A グループ。(B)の文字から右のすべてが B グループです。





テストプリントの結果がわかりにくいときは

1	明るい場所で視線を変えながら結果を確認してく	ださい。光の反射を利用して目視が可能です。	
4.	インク更新を行うプリントヘッドのグループを選	択する。	
	メニュー操作中:[ホーム]を押すと出力できます。		
	← インク更新	?	
	○ Aグループ	=	
	○ Bグループ		
	● 両方		
5.	[実行]をタップする。		
	[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]画面が	表示されます。	
6.	廃液ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。		
	産液ボトルを取り外すと、本体から廃液が数滴出てくることがあります。手についたり、床を汚したりしないよ		
	うにご注意ください。		
	▲ 注意		
	画面に[ボトルにたまった廃液を捨ててください。]	と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。廃液を捨てたら、速や	
	かに廃液ホトルを本体に取り付けること。 手順を守らないと、本体から廃液が出てきて、廃	液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。	
	警告		
	を 座波やインクを火気の近くに置かない。		
	火災の原因になります。		
	▲ 注意		
	廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、	金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、ふたをきちんと	
	閉じること。 こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につなか	「ったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。	
	重要		
	廃液を直射日光の当たる場所に保管しないでくた	ざさい。	
	付属の廃液ボトルで廃液を一時的に保管する場合	は、直射日光の当たる場所に置かないでください。廃液が固まっ	
	C 廃 液 ホ ト ル か 使 用 で き な く な っ た り 、 廃 液 ボ ト	♪ルか务化し廃液か漏れる 恐れがあります。	

重要

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

7. 空にした廃液ボトルを速やかに再び取り付ける。



- 8. [完了]をタップする。 インク更新を開始します。終了すると、もとの画面に戻ります。
- 9. 命 をタップして、もとの画面に戻る。

2. テストプリントを実施して結果を確認する



てください。

テストパターンのドット抜けやドットよれの場所に変化がある場合は、ミディアムクリーニングを2、3回やり直してください。 症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

印刷に使用するプリントヘッドを部分的に制限する

インク更新を行ってもドット抜けやドットよれが改善しない場合、プリントヘッドを部分的に使用しないようにします。この操作を「ノズルマスク」といい、印刷スピードは遅くなりますが、ドット抜けやドットよれの影響を減らすことができます。 まずテストパターン印刷を行い、テスト結果を見て、使用するノズルグループを選択します。その後、VersaWorksを使用して印刷に使用するノズルグループを選択する作業を行います。

1. ノズルマスク用のテストプリントを行う



2. 印刷に使用するプリントヘッドを限定する



関連情報

・ VersaWorks マニュアル(https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6)

応急処置)プリントヘッド表面のクリーニング

何度クリーニングしてもドット抜けやドットよれが改善しない場合は、応急処置として、プリントヘッド表面をクリーニングす る方法があります。プリントヘッド表面(ノズル面)はとても繊細な機構となっていますので、作業は丁寧かつ慎重に行ってく ださい。

この作業は応急的処置です。症状によっては正常な箇所を傷め、さらに症状の悪化を招くことがあります。ご不明な点は、お買 い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

▲ 注意

印刷直後は清掃しないこと。(印刷後約 15 分待つ)

UV 照射装置周辺が熱く、やけどすることがあります。

▲ 警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。

機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

重要

作業にあたってのお願い

- この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐため、10分以内に作業を終わらせてください。10分を過ぎると警告音が鳴ります。
- 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはかえってプリントヘッドを 傷めます。
- 付属の洗浄液以外は使わないでください。
- 必ず新品のクリーニングスティックを使用してください。クリーニングスティックの使いまわしは印刷結果に悪影響 を与えます。
- 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- プリントヘッド表面(ノズル面)はこすらないでください。
- クリーニングスティック、または洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブ サイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。
- クリーニング中に警告音がなったときは
- ・ 作業開始から 10 分が経過すると警告音が鳴ります。作業を一時中断し、すべてのカバーを閉めてから[**すべて完了**]を タップし、マニュアルクリーニングモードを終了させます。その後、はじめの手順から作業を再開してください。



手順

1. メディアを取り外す。



8. プリントヘッド表面 (ノズル面) にクリーニングスティックをそっと軽く押し当てる。 プリントヘッド表面 (ノズル面) に洗浄液が染み込むように、やさしくそっと押し当ててください。決してスティック をこすりつけたり、力強く押し当てたりしないようにしてください。

操作パネルの清掃方法

重要

作業にあたってのお願い

- 清掃に使う布やアルコールなどは、お客様ご自身でご用意ください。
- 操作パネルを清掃するときは必ず布を使ってください。操作パネルのすき間に液体が入りこむと、プリンターの故障の 原因になります。



▲ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコールは、当該製品の使用上の注意を守って使うこと。 引火や、換気、肌荒れなどに注意してください。

▲ 注意

無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外は使用しないこと。 無水エタノール、およびイソプロピルアルコール以外の薬品等を使用すると、操作パネルの故障の原因になります。

手順

- 1. サブ電源をオフにする。
 - **2.** 無水エタノール、またはイソプロピルアルコールをしみこませた布で、操作パネルを拭く。 軽くゆっくりふきとって、汚れを取り除いてください。

消耗部品の交換

メンテナンス用部品の交換	286
ワイパーの交換	
プリントヘッドキャップの交換	
ワイパークリーナーの交換	
UV ミストフィルターの交換	
フラッシングスポンジの交換	
刃物の交換	297
カッターの交換	
セパレーティングナイフ(メディア切り離し用ナイフ)の交換	
交換前にお問い合わせが必要な消耗部品	304

ワイパーの交換

ワイパーは定期的にプリントヘッドの表面を清掃します。

ワイパーの交換時期になると、[**ワイパー交換の時期です**。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、ワ イパーを交換してください。

ワイパーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。



操作パネルにインクが付着しないように十分注意してください。

手順

- 1. [ワイパー交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
- 2. メディアを取り外す。
- 3. 1 をタップしてメッセージを表示する。
- 4. [ワイパー交換の時期です。]をタップする。



- 7. ワイパーの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。
- 8. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、カバー R を閉じる。 カバー R を閉じると、もとの画面に戻ります。
9. 合 をタップして、もとの画面に戻る。

クリーニングスティック

プリントヘッドキャップの交換

プリントヘッドキャップはプリントヘッドのノズル面に密着して、乾燥やほこりの付着を防ぎます。

プリントヘッドキャップの交換時期になると、[**キャップ交換の時期です**。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、プリントヘッドキャップを交換してください。

プリントヘッドキャップの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。



手順

1. [キャップ交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。

布 (毛羽立ちのないもの)

2. メディアを取り外す。

プリントヘッドキャップ

- 3. 1 をタップしてメッセージを表示する。
- 4. [キャップ交換の時期です。]をタップする。



[キャップ交換] 画面が表示されます。

5. [実行]をタップする。

プリントヘッドキャリッジがプリントヘッドキャップの交換可能な位置へ移動します。

6. 操作パネルの指示にしたがって、プリントヘッドキャップを交換する。



・操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[**すべて完了**]をタップしてください。

重要

取り外したプリントヘッドキャップからインクが垂れることがあります。手についたり、床を汚したりしないようにご注意ください。

インクが手や機体、床に付着しないよう、取り外したプリントヘッドキャップの下面にウエスなどを当ててくだ さい。

- 7. プリントヘッドキャップの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。
 - 8. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、カバー R を閉じる。 カバー R を閉じると、もとの画面に戻ります。
 - 9. かをタップして、もとの画面に戻る。

290

ワイパークリーナーの交換

清掃によってワイパーに付着したインクやほこりなどを、ワイパークリーナーで清掃します。

ワイパークリーナーの交換時期になると、[**ワイパークリーナー交換の時期です**。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、ワイパークリーナーを交換してください。

ワイパークリーナーの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。



 5. [実行]をタップする。 プリントヘッドキャリッジがワイパークリーナー交換可能な位置へ移動します。
 6. 操作パネルの指示にしたがって、ワイパークリーナーを交換する。

 「静電気を逃がす。]が表示されたら、指示された場所を触り、[完了]をタップするとワイパークリーナー交換の操作 案内が表示されます。



- ・操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[**すべて完了**]をタップしてください。
- 7. ワイパークリーナーの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。
 - 8. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、カバーRおよびフラッシングカバーを閉じる。 カバーRおよびフラッシングカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。



UV ミストフィルターの交換

UV ミストフィルターは、印刷時に発生するインクミストを吸着して UV ランプへのインクミストの付着を軽減します。 UV ミストフィルターの交換時期になると、[**UV ミストフィルター交換の時期です**。]のメッセージが表示されます。このメッ セージが表示されたら、UV ミストフィルターを交換してください。

UV ミストフィルターの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。



UV ミストフィルター

手順

- 1. [UV ミストフィルター交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。
- 2. メディアを取り外す。
- 3. 1 をタップしてメッセージを表示する。
- 4. [UV ミストフィルター交換の時期です。]をタップする。



5. [実行]をタップする。



フラッシングスポンジの交換

フラッシングスポンジはプリントヘッドの詰まりを防止するために吐出したインクを吸着します。

フラッシングスポンジの交換時期になると、[フラッシングスポンジ交換の時期です。]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、フラッシングスポンジを交換してください。

フラッシングスポンジの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト(https://www.rolanddg.co.jp/)をご覧ください。



手順

1. [フラッシングスポンジ交換の時期です。]のメッセージが表示されたら、[OK]をタップする。

ピンセット

2. メディアを取り外す。

フラッシングスポンジ

- 3. 1 をタップしてメッセージを表示する。
- 4. [フラッシングスポンジ交換の時期です。]をタップする。



5. [**実行**]をタップする。



カッターの交換

▲ 警告

カッターの切れ味が悪くなったとき、刃先が欠けたとき、カット品質が悪くなったときは、新しいカッターと交換してください。

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。 機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

▲ 注意

カッターの刃先に触らない。

けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。



1. カッターを交換する

手順

- 1. メディアを取り外す。
- [メンテナンス]>[カッター交換]をタップする。
 [カッター交換]画面が表示されます。
- **4.** [実行]をタップする。 カッティングキャリッジがカッター交換可能な位置まで移動します。
- 5. 操作パネルの指示にしたがって、カッターを交換する。

く をタップして手順を確認できます。

・操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[**すべて完了**]をタップしてください。

メモ

٠

カッターを取り付けるときは、刃先の向きを間違えないようにしてください。



2. 新しいカッターに合わせて調整する



8. --- キャプして、各設定を変更する。

カッティング条件	設定内容	出荷時設定
[カッター圧]	カッターの圧力を設定します。	50 gf
[カット速度]	カッティングの速度を設定します。	30 cm/s
[カッターオフセット]	カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセッ ト値を入力してください。 付属品のカッターのオフセット値は 0.250 mm です。	0.250 mm
[UP 移動速度]	カッティング中のカッターの空送り速度(1つのカット線をカッ ティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが 移動するときの速度)を設定します。空送り中に、メディアが浮 き上がりカッターがメディア表面を傷つけるような場合には、速 度を落としてください。	30 cm/s

- 9. [保存]を押して決定する。
- 最適な設定になるまで、テストカットとカッティング条件の調整をくり返す。
 手順7~10を繰り返して、各カッティング条件を調整してください。
- 11. 6 をタップして、もとの画面に戻る。

3. 切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整するとよい結果 が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。1 目盛で 0.1 mm、1 回転で 0.5 mm の調整ができます。

ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり傷つけたりすることが あります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。

刃先突出量(A)は、最小で0mm(B)、最大で2.5mm(C)です。



• 刃先突出量の目安(ステッカーを作成する場合) 刃先突出量(A)は、「シート部分の厚み(D)」と「台紙の厚み(E)の半分(F)」を足した量にしてください。



・ 刃先突出量の目安(ミシン目カットを実施する場合)

刃先突出量(A)は、カッターがメディア(G)を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。 ミシン目カットの出力設定については、VersaWorksの取扱説明書を参照してください。



重要

刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

セパレーティングナイフ(メディア切り離し用ナイフ)の交換

セパレーティングナイフの切れ味が悪くなったら、付属の替え刃と交換してください。

▲ 警告 必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。 機械が思わぬ動作をして、けがをすることがあります。

▲注意

セパレーティングナイフの刃先にさわらない。 けがをすることがあります。



手順

- 1. メディアを取り外す。
- 3. [メンテナンス]>[セパレーティングナイフ交換]をタップする。 [セパレーティングナイフ交換]画面が表示されます。
- **4.** [実行]をタップする。 カッティングキャリッジがセパレーティングナイフ交換可能な位置まで移動します。
- 5. 操作パネルの指示にしたがって、セパレーティングナイフを交換する。

- <

>

をタップして手順を確認できます。

・操作案内を見ずに作業が完了した場合は、[**すべて完了**]をタップしてください。



セパレーティングナイフは、次の手順で取り外してください。 1.ネジが飛び出してくるまで緩める。 2.ネジ部分を持ち、矢印の方向にゆっくりと抜く。

このとき手前に引っ張らないでください。



- 6. セパレーティングナイフの交換が終了したら[すべて完了]をタップする。
 - 7. [カバーを閉じてください。]と表示されたら、フロントカバーを閉じる。 フロントカバーを閉じると、もとの画面に戻ります。
- 8. かをタップして、もとの画面に戻る。

下記の消耗部品を交換する際は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い合わせください。

品名	関連ページ
プリントヘッド	P. 247 プリントヘッド周りの清掃

トラブルへの対応方法

出力品質のトラブル

印刷が粗い/横すじが入る	307
プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか?	307
プリントヘッド高さは適切ですか?	307
[送り補正]はしてありますか?	307
[メディアギャップ補正](インクの着弾位置補正)はしてありますか?	307
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	307
印刷モードは適切ですか?	308
メディアの取り付け方法は適切ですか?	308
[メディア設定]は適切ですか?	308
印刷するとメディアが汚れる	309
プリントヘッドがメディアに当たっていませんか?	309
プリントヘッドが汚れていませんか?	309
ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか?	309
色が安定しない/ムラになる	310
インクカートリッジを振ってから取り付けましたか?	310
インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか?	310
メディアがしわになっていませんか?	310
印刷途中に一時停止しませんでしたか?	310
印刷中にクリーニングが行われていませんか?	311
プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?	311
メディアの取り付け方法は適切ですか?	311
動作条件を適切に設定してありますか?	311
[メディア設定]は適切ですか?	311
- UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか?	311
カットがずれる/ゆがむ/きれいでない	312
メディアの取り付け方法は適切ですか?	312
カッティング条件の設定は適切ですか?	312
出力の長さが長すぎませんか?	312
伸縮の大きいメディアを使用していませんか?	312
[カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか?	312
ピンチローラーを適切な位置に配置していますか?	312
プリントとカットのずれを補正しましたか?	313
カッターホルダーは適切に取り付けられていますか?	313
カッターは消耗してませんか?	313
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか?	313

プリントヘッドがドット抜けを起こしていませんか?

テストプリントを行い、ドット抜けやドットよれがないか確認してください。ドット抜けやドットよれがある場合は、ヘッドク リーニングを行ってください。

関連情報

- P. 130 ノズル抜けテストを実施する
- P. 132 ノーマルクリーニングの方法
- P. 266 ノーマルクリーニングの効果がないとき

プリントヘッド高さは適切ですか?

[ヘッド高さ設定]メニューが[高い]または[中間]に設定されていると、[低い]のときに比べて印刷が粗くなります。厚みのあるメ ディアを使う場合などを除き、必要のないときは[低い]に設定してください。

関連情報

• P. 170 プリントヘッドの高さを変える

[送り補正]はしてありますか?

メディアの送り量が大きくずれると、印刷が粗い感じになったり、横すじが入ったりすることがあります。メディアの種類に適合した設定をソフトウェア RIP で行うか、プリンター側で補正を行ってください。

関連情報

- P. 165 必要な調整を自動で行う
- P. 166 手動調整:横すじを軽減する(送り補正)

[メディアギャップ補正](インクの着弾位置補正)はしてありますか?

メディアの厚みによって、最適な補正は異なります。メディアに応じた補正値を設定してください。[簡易補正(自動)]を行っても印刷がきれいにできない場合は、[詳細補正(手動)]で補正を行ってください。

関連情報

- P. 165 必要な調整を自動で行う
- P. 168 手動調整: インクの着弾位置のずれを調整する (メディアギャップ補正)

プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにして ください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

印刷モードは適切ですか?

きれいに印刷できないときは、より高品質な印刷モードを試してみてください。メディアによっては高品質な印刷モードでにじ むこともありますし、ソフトウェア RIP の設定(カラープロファイルの選択など)によっても結果は大きく変わります。お使い のメディアに適した設定をしてください。

メディアの取り付け方法は適切ですか?

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディア を正しく取り付けてください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[メディア設定]は適切ですか?

設定がメディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

関連情報

• P. 210 メディア設定を変更する

プリントヘッドがメディアに当たっていませんか?

プリントヘッド高さが低すぎるかもしれません。また、メディアのセットが適切でなかったりすると、しわや浮き上がりが起こ りヘッドに当たることもあります。

関連情報

- P. 170 プリントヘッドの高さを変える
- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

プリントヘッドが汚れていませんか?

次のことが原因で、印刷中、メディアの上にインクが垂れることがあります。

• ヘッドのまわりに繊維状のほこりなどが付いている。

• メディアをこすった影響でヘッドにインクがべったり付いている。

このようなときは、マニュアルクリーニングを行ってください。定期的なヘッドの清掃をおすすめします。

• 湿度が低すぎる。

35~80% RH(ただし結露がないこと)の環境で使用してください。

関連情報

• P. 247 プリントヘッド周りの清掃

ピンチローラーやメディアクランプが汚れていませんか?

定期的に清掃してください。

関連情報

• P. 245 機体の清掃

インクカートリッジを振ってから取り付けましたか?

新しいインクカートリッジを取り付ける前には、インクカートリッジを 50 回(20 秒程度)振ってください。 ホワイトインクは、その日の作業を始める前にインクカートリッジをいったん取り外して、50 回(20 秒程度)振ってから再び 取り付けてください。



インクカートリッジを振ってインクを攪拌しても色ムラが発生しますか?

インクカートリッジを振ってインクを撹拌させてもホワイトインクの色ムラが発生するときは[インク循環]を行ってください。 [インク循環]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[パワフルクリーニング]を行ってください。 [パワフルクリーニング]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[ダンパー内インク更新]を行ってください。 [ダンパー内インク更新]を行ってもホワイトインクの色ムラが発生するときは[インク更新]を行ってください。 インクカートリッジを振ってインクを撹拌させてもホワイトインク以外の色ムラが発生するときは[インク更新]を行ってください。

関連情報

- P. 270 インク循環の方法
- P. 272 ダンパー内インク更新の方法
- P. 275 インク更新の方法

メディアがしわになっていませんか?

メディアがしわになってプラテンから浮いた状態になると、色のムラになったり、印刷品質が低下したりします。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

印刷途中に一時停止しませんでしたか?

印刷を一時停止すると、再開したときのつなぎ目で色味が変わってしまうことがあります。印刷の一時停止は避けてください。 長尺印刷の前には、インクの残量を確認するようにしてください。また、コンピューターからのデータ転送速度が十分でない と、印刷がときおり停止することがあります。印刷中は、コンピューターに印刷以外の処理をさせないことをおすすめします。

印刷中にクリーニングが行われていませんか?

印刷中にクリーニングが行われると、印刷品質に影響を与えます。印刷前にクリーニングまでの時間と印刷時間を確認してください。

関連情報

• P. 206 クリーニングによる印刷の中断を回避する

プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が当たらないようにして ください。これらは、ドット抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

メディアの取り付け方法は適切ですか?

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディア を正しく取り付けてください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

動作条件を適切に設定してありますか?

[印刷時の動作幅]メニューや[印刷中クリーニング]メニューの設定によっては、色のムラになることがあります。設定を変えて ある場合は、初期値に戻してみてください。

関連情報

• P. 218 幅のせまいメディアへの出力を速くする

[メディア設定]は適切ですか?

設定がメディアの種類に適合していない場合、印刷に悪影響を与えます。お使いのメディアに最適な設定を選んでください。

関連情報

• P. 210 メディア設定を変更する

UV 照射装置の照射窓は汚れていませんか?

照射窓が汚れていると、インクの定着性や印刷物の品質が低下することがあります。汚れの程度をご確認いただき、適切なタイ ミングで清掃をお願いします。

関連情報

• P. 255 月に1 度以上必要なクリーニング

メディアの取り付け方法は適切ですか?

メディアの取り付けが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、出力に悪影響を与えます。メディア を正しく取り付けてください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

カッティング条件の設定は適切ですか?

カッティング速度が速すぎたり、カッター圧が強すぎたりすると、位置ずれやゆがみの原因になります。カッティング条件を変 えてみてください。粘着層の粘りが強いメディアは、カット後すぐに粘着層部分がつながります。しかし、テストカットをし て、メディアのはがれ具合と台紙に付いたカッターの跡が最適であればメディアは切れています。カッター圧を大きくしすぎな いように注意してください。

関連情報

• P. 181 カッティングの設定を細かく調整する

出力の長さが長すぎませんか?

特にプリント&カットする場合、ひとつのページが長くなるほど(つまり、プリント後にメディアを引き戻す距離が長いほど) 位置ずれが起きやすくなります。1 ページの大きさは必要最小限にするとよいでしょう。

伸縮の大きいメディアを使用していませんか?

プリント&カットする場合、メディアが伸縮すると位置がずれてしまいます。このようなときは、クロップマーク付きで印刷 し、カッティングしてみてください。メディアの伸縮に合わせて、カット位置が補正されます。

関連情報

P. 150 クロップ&カットの方法

[カット設定]の[カット距離補正]は正しく設定されていますか?

プリント&カットするときは、[カット設定]の[カット距離補正]の補正値を 0.00 %に設定してください。

関連情報

• P. 187 カッティング時の距離補正をする

ピンチローラーを適切な位置に配置していますか?

ピンチローラーは必ずグリットローラーの上に配置してください。適切な位置に配置していないと、メディアの位置がずれます。

関連情報

- P.32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

プリントとカットのずれを補正しましたか?

メディアの厚みやヘッド高さによって、プリントとカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わせて印刷と カットのずれを補正してください。

関連情報

• P. 191 プリント&カットの設定を細かく調整する

カッターホルダーは適切に取り付けられていますか?

カッターホルダー取り付け時にしっかりネジをしめて、カッターホルダーが固定されていることを確認してください。

関連情報

• P. 297 カッターの交換

カッターは消耗してませんか?

カッターの摩耗、欠損があるとカッティング品質に悪影響を与えます。カッターの状態を確認し、必要に応じて新しいカッター に交換してください。

関連情報

• P. 297 カッターの交換

カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか?

カッターホルダーを取り外したあと、カッターホルダーの先端を取り外し、中に入り込んだシートやほこりを取り除いてください。



関連情報

• P. 183 切り込み量を細かく調整する

クロップ&カットのトラブル

クロップマークの自動検出に失敗した	315
ピンチローラーからクロップマークまでの余白が少なすぎませんか?	315
メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか?	315
メディアサイズが大きすぎませんか?	315
光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使用していませんか?	315
透明なメディアを使っていませんか?	315
印刷したクロップマークの色と機体で設定したクロップマークの色が異なって	
いませんか?	316
プリントとカットがずれる	317
クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか?	317

ピンチローラーからクロップマークまでの余白が少なすぎませんか?

余白が少なかったり、ピンチローラーの位置が正しくなかったりすると、クロップマークが検出できないことがあります。 余白を確認して、正しい位置にピンチローラーをセットしてください。

メディアに"しわ"や"ゆがみ"がありませんか?

メディアの"しわ"や"ゆがみ"は、クロップマークの検出に失敗する原因になります。"しわ"や"ゆがみ"のあるメディアの使用は避けてください。

関連情報

• P. 205 読み取りセンサーを補正する

メディアサイズが大きすぎませんか?

メディアのサイズが大きいと誤差が大きくなり、クロップマークの検出に失敗する原因になることがあります。 長尺メディアを使用する場合は、なるべく短いサイズに分割して出力することをおすすめします。

光を反射しやすいメディア/色の濃いメディアを使用していませんか?

光が反射しやすいメディアや濃い色のメディアにクロップマークを印刷した場合、クロップマークを読み取れないことがあります。

下記手順で設定を変更してお試しください。それでも読み取れない場合は使用するメディアを変更してください。

手順

- **1.** をタップする。
- [メディア設定]>[カット設定]>[クロップカット位置調整]をタップし、[クロップマーク読取感度]で[高い]を選 択する。

透明なメディアを使っていませんか?

透明なメディアや濃い色のメディアの場合、クロップマークを読み取れないことがあります。 下記手順でクロップマークカラーを白に変更してお試しください。それでも読み取れない場合は使用するメディアを変更して ください。

手順

メモ

- **1.** をタップする。
- [メディア設定]>[カット設定]>[クロップカット位置調整]をタップし、[クロップマークカラー]で[白]を選択する。
- 3. 再度クロップマークを印刷し、クロップマークが読めるか確認する。
 - クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ&カット同時テスト)
 Step 4: クロップ印刷とカットのずれを同時に補正する(P. 155)
 - クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)
 2. クロップマークだけを印刷する (P. 200)

印刷したクロップマークの色と機体で設定したクロップマークの色が異なっていま せんか?

実際に印刷したクロップマークの色とクロップマークカラーの設定が異なっていると、クロップマークが検出できないことがあります。クロップマークカラーの設定は、読み取るクロップマークと同じ色に設定してください。

クロップ印刷とカットのずれを補正しましたか?

メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お使いのメディアに合わ せて印刷とカットのずれを補正してください。

関連情報

- P. 196 クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ&カット同時テスト)
- P. 199 クロップ印刷とカットのずれを補正する(クロップ/カット分離テスト)

317

メディア送りのトラブル

メディアがしわになる/縮む	319
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?	
メディアをセットしたまま放置しませんでしたか?	
メディアクランプはセットしてありますか?	
フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか?	
フロントヒーターの温度が高すぎませんか?	
部屋の湿度が高すぎませんか?	
使用しているメディアにたわみがありませんか?	
メディアが斜行する	320
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?	
メディア送りがなめらかでない	321
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが厚すぎませんか?	
グリットローラーが汚れていませんか?	321
メディアが詰まった	322
エラーメッセージが表示されていませんか?	
メディアが反ったりしわになったりしていませんか?	
プリントヘッド高さが低すぎませんか?	
グリットローラーが汚れていませんか?	
メディアクランプはセットしてありますか?	
メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?	
メディアが何かにぶつかったりしていませんか?	
メディアが厚すぎませんか?	

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してく ださい。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

メディアをセットしたまま放置しませんでしたか?

メディアを長時間加熱するとしわになることがあります。印刷が完了したらサブ電源をオフにして、メディアを取り外してくだ さい。

メディアクランプはセットしてありますか?

印刷するときはメディアクランプを必ずセットしてください。

フロントヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか?

フロントヒーターがオンで、温まった状態でメディアをセットすると、急激に温まるため、印刷時にしわになることがありま す。サブ電源をオフにしてエプロンを冷ましてからメディアをセットしてください。

関連情報

• P. 176 メディアを温めてメディア浮きを抑制する

フロントヒーターの温度が高すぎませんか?

メディアの種類に合わせて、適切な温度に設定してください。

関連情報

• P. 176 メディアを温めてメディア浮きを抑制する

部屋の湿度が高すぎませんか?

本機は、35~80 % RH(ただし結露のないこと)の環境でお使いください。 湿度が高いとメディアがたわんでしまうことがあります。 たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいま す。

使用しているメディアにたわみがありませんか?

たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいます。

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

メディアが何かにぶつかったりしていませんか?

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

関連情報

- P.32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

メディアが厚すぎませんか?

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。

グリットローラーが汚れていませんか?

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

(関連情報)

• P. 245 機体の清掃

メディアが詰まった

エラーメッセージが表示されていませんか?

メディアづまりのためエラー表示が出たときは、すぐにその対処をしてください。プリントヘッドが壊れることがあります。

関連情報

• P. 342 [**モーターエラー**]

メディアが反ったりしわになったりしていませんか?

反りやしわにはさまざまな原因があります。以下をご覧のうえ対処してください。

関連情報

• P. 319 メディアがしわになる/縮む

プリントヘッド高さが低すぎませんか?

プリントヘッドを高くしてみてください。まずは[**中間**]から試し、それでもメディアが詰まる場合は[**高い**]にしてください。メ ディアは多少なりとも反ったりしわになったりしますので、その分も考慮してヘッドの高さを決めてください。

関連情報

• P. 170 プリントヘッドの高さを変える

グリットローラーが汚れていませんか?

グリットローラーにメディアかすなどの異物が付着していないか確認してください。

| 関連情報 | 】

• P. 245 機体の清掃

メディアクランプはセットしてありますか?

印刷するときはメディアクランプを必ずセットしてください。

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディアをセットし直してく ださい。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

メディアが何かにぶつかったりしていませんか?

メディアに何も当たらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響することがあります。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

メディアが厚すぎませんか?

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなります。このようなメディアは使用しないでください。
機体のトラブル

プリントヘッドが動かない	325
はじめに行う処置	
どうしても動かないときは	
プリンター本体が動かない	327
電源がオンになっていますか?	
[出力できます 。]と表示されていますか?	
カバーが開いていませんか?	
[出力を一時停止中です 。]と画面に表示されていませんか?	
画面にメッセージが表示されていませんか?	
ケーブルが接続されていますか?	
LAN のルーティングは適切ですか?	
LAN の設定は正しいですか?	
ソフトウェア RIP が異常終了していませんか?	
[インクカートリッジエラー]と表示されていませんか?	
フロントヒーターが熱くならない	330
メディアをセットアップしてありますか?	
[フロントヒーター]がオフになっていませんか?	
部屋の温度が低すぎませんか?	
メディアの切り離しができない	
セパレーティングナイフは取り付けてありますか?	

プリントヘッドが動かない

プリントヘッドキャリッジがプラテン上で止まってしまったときは、ヘッドの乾燥を防ぐためすぐに対処してください。

はじめに行う処置

サブ電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。メディアづまりのときはメディアも取り除いてください。 プリントヘッドがスタンバイポジション(カバー R の中)に移動すれば完了です。



それでもプリントヘッドが動かない場合

サブ電源、メイン電源の順にオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてみてください。

どうしても動かないときは

それでも動かないときは、次の応急処置を施したうえでお買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

手順

- 1. サブ電源をオフにする。
 - 2. メイン電源をオフにし、フロントカバーを開ける。
 - **3.** カバーRを開ける。



4. プリントヘッドキャリッジを静かに手で動かし、スタンバイポジションまで持っていく。 「カチッ」と音がしたところでとめると、プリントヘッドキャリッジが固定されます。



5. 右側から静かに力を加え、左側に動かないことを確認する。
左側に動いてしまった場合は、もう一度左側からゆっくりプリントヘッドキャリッジを移動し、固定されることを確認してください。

電源がオンになっていますか?

プリンターのメイン電源をオンにしてからサブ電源をオンにし、ホーム画面が表示されていることを確認してください。

関連情報

P. 28 電源オン

[出力できます。]と表示されていますか?

操作パネル上部に[**出力できます**。]と表示されていないと出力しません。メディアを取り付け、ローディングレバーを下ろした 後、 [セットアップ]をタップしてください 。画面の指示に従ってメディアのセットアップを完了してください。また、 設定メニューを操作中の場合、一部のメニューではコンピューターからデータを送っても出力が開始されません。出力可能なメ ニューまでもどるか、 テタップしてホーム画面にもどると出力がはじまります。

関連情報

• P. 134 出力の開始

カバーが開いていませんか?

フロントカバー、カバーL、カバーR、リア UV シールドを閉じてください。

[出力を一時停止中です。]と画面に表示されていませんか?

画面に[出力を一時停止中です。]が表示されているときは一時停止状態です。再開するときは、[再開]をタップしてください。

関連情報

• P. 104 出力の一時停止と中止

画面にメッセージが表示されていませんか?

関連情報

- P. 333 メッセージ
- P. 339 エラーメッセージ

ケーブルが接続されていますか?

ケーブルをしっかり接続してください。

関連情報

・ LG-640 セットアップガイド (https://downloadcenter.rolanddg.com/LG-640)

LAN のルーティングは適切ですか?

ネットワークのルーティングが適切か確認してみてください。コンピューターと本機を同じハブに接続するか、ケーブルで直接 接続します。これで出力できるようなら、ネットワーク側の問題である可能性があります。

LAN の設定は正しいですか?

ケーブルがしっかり接続されており、ネットワーク側に問題がない場合は、IP アドレスなどの設定が適切か確認してください。 本機とコンピューターの両方の設定が適切である必要があります。ネットワーク上で IP アドレスが重複していないか、ソフト ウェア RIP のポート設定は本機で設定した IP アドレスが指定されているか、入力ミスはないかなどを確認しながら設定をやり 直してください。

関連情報

- P. 231 プリンターの情報を確認する
- ・ LG-640 セットアップガイド (https://downloadcenter.rolanddg.com/LG-640)

ソフトウェア RIP が異常終了していませんか?

ソフトウェア RIP が正常に起動していることを確認し、サブ電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにしてください。

関連情報

・ VersaWorksマニュアル (https://downloadcenter.rolanddg.com/VersaWorks6)

[インクカートリッジエラー]と表示されていませんか?



表示画面に[**インクカートリッジエラー**]と表示されているときは、出力データを受け付けることはできません。エラーが解消されると、本機にまだ出力されていないデータが残っている場合は、出力を再開します。コンピューターに未送信のデータがある場合は、データの再送信をすると出力を再開します。

インクが空になった場合

インクカートリッジ内のインクパウチを新しいインクパウチに交換してください。

異なるカラーのインクカートリッジが取り付けられている場合

誤ってセットされたインクカートリッジを取り外し、適切なインクカートリッジをセットしてください。 インクカートリッジが取り外されている、またはきちんとセットされていない場合 インクカートリッジを奥までしっかりセットしてください。

関連情報

- P. 112 インクの交換方法
- P. 339 [インクカートリッジエラー]

メディアをセットアップしてありますか?

電源をオンにしただけでは設定温度までは熱くなりません(出荷時設定)。メディアをセットアップし、温まるのを待ってくだ さい。

関連情報

• P. 176 メディアを温めてメディア浮きを抑制する

[フロントヒーター]がオフになっていませんか?

[フロントヒーター]を[オン]にしてください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ
- P. 179 出力時のヒーター温度を設定する

部屋の温度が低すぎませんか?

20℃未満では、フロントヒーターが十分温まらないことがあります。また、フロントヒーターが設定温度に達しても、メディアが冷え切っていると十分な効果が出ません。メディアを室温になじませてから印刷してください。

セパレーティングナイフは取り付けてありますか?

セパレーティングナイフが取り付けられていないとメディアの切り離しはできません。

関連情報

• P. 302 セパレーティングナイフ (メディア切り離し用ナイフ)の交換

操作パネルのメッセージ

メッセージ	333
[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]	333
「マニュアルクリーニングの時期です。]	333
- 「ワイパー交換の時期です。]	333
[キャップ交換の時期です。]	333
「ワイパークリーナー交換の時期です。]	333
「UVミストフィルター交換の時期です。]	334
「フラッシングスポンジ交換の時期です。]	334
「ヘッド保護モードに入ります。]	334
「洗浄液パウチを交換してください。]	334
「洗浄液パウチをセットしてください。]	335
[洗浄液が残りわざかです。]	335
[インク増拌の時期です。]	335
「券取装置の動作を停止しました。〕	335
「すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してくださ	
「メディアクランプを正しくセットしてください。]	
[メディアクランプが検出できませんでした。]	
[LAN ケーブルが接続されていません。]	337
「接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。]	337
「消費期限が切れているインクがあります。]	337
「メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]	337
て フーメッヤージ	339
「インクカートリッジTラー]	339
[サバーオープンエラー]	
[メディアエンドエラー]	330
[パッイ)エン「エン」	330
[ビノノレハーエノー]	340
[ダブイブビブトエノー]	340
[飛飛ホトルエノー]	340
[ノロノノマーノ夜田エノー]	3/1
[パイパールテルスがったころところという	3/1
[Cノノローノーエノー]	3/1
[、、ノ「同じ小正口」	3/1
[アノイノ帽/パイモ]	242
[モーノーエノー]	242
[ハットゼ床エノー]	242
[出価エノ ^ー]	242 242
[同価土ノ ^ー]	242 242
[ハノノ庁止エノ ^ー]	∠4∠ כו∕ כ
「クリーニングエフー(1 ノンガードリッン)」	243 242
「ノリーーノンエフー(洗液小トル)」	343
[登以表自)) [344
[サービスコール]	344
[ソノトワエ/エフー]	344

メッセージ

正しい操作を促すために、本機の表示画面に表示される主なメッセージです。特にエラーを示すものではなく、メッセージはー 旦閉じて他の作業をすることもできます。メッセージを再度確認したり対処したりする場合は、 なタップして一覧を表 示します。メッセージをタップすると、対処に必要なメニューや手順が表示されます。画面に従って操作してください。

[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]

廃液ボトルにある程度廃液がたまると表示されます。

[出力やクリーニングなどの動作が終わったら、廃液を捨ててください。]>[実行]をタップして、廃液を処理してください。

関連情報

• P. 261 廃液処理のメッセージが表示されたら

[マニュアルクリーニングの時期です。]

マニュアルクリーニングの時期が来ると表示されます。 [マニュアルクリーニングの時期です。]>[実行]をタップして、マニュアルクリーニングを実施してください。

関連情報

• P. 124 マニュアルクリーニングの方法

[ワイパー交換の時期です。]

ワイパーの交換時期が来ると表示されます。

[ワイパー交換の時期です。]>[実行]をタップして、ワイパーを交換してください。

関連情報

• P. 286 ワイパーの交換

[キャップ交換の時期です。]

プリントヘッドキャップの交換時期が来ると表示されます。 [キャップ交換の時期です。]>[実行]をタップして、プリントヘッドキャップを交換してください。

関連情報

• P. 289 プリントヘッドキャップの交換

[ワイパークリーナー交換の時期です。]

ワイパークリーナーの交換時期が来ると表示されます。

[ワイパークリーナー交換の時期です。]>[実行]をタップして、ワイパークリーナーを交換してください。

(関連情報)

• P. 291 ワイパークリーナーの交換

[UV ミストフィルター交換の時期です。]

UV ミストフィルターの交換時期が来ると表示されます。

[UV ミストフィルター交換の時期です。]>[実行]をタップして、UV ミストフィルターを交換してください。

関連情報

• P. 293 UV ミストフィルターの交換

[フラッシングスポンジ交換の時期です。]

フラッシングスポンジの交換時期が来ると表示されます。

[フラッシングスポンジ交換の時期です。]>[実行]をタップして、フラッシングスポンジを交換してください。

関連情報

• P. 295 フラッシングスポンジの交換

[ヘッド保護モードに入ります。]

ご使用のインクが当社指定の製品ではない可能性があるときに表示されます。

インクが当社指定の製品でない場合、インクの消費量が増えたり、乾燥が頻繁に行われます。最適なパフォーマンスを発揮する ために当社指定のインクをご使用いただくことを推奨します。購入方法は本機をお買い上げの販売店または当社コールセンタ ーまでお問い合わせください。

[洗浄液パウチを交換してください。]

洗浄液が空になると表示されます。

空になった洗浄液パウチを交換してください。 洗浄液パウチを交換すると[洗浄液パウチを交換しましたか?]が表示されます。 [はい]をタップすると、洗浄液の残量がリセットされ、洗浄液パウチは新品と認識されます。

メモ

洗浄液パウチを交換していないのに洗浄液パウチ交換の確認画面で[**はい**]をタップすると、洗浄液の残量がリセットされ ます。その場合、洗浄液の残量が残りわずかになっても通知が表示されずに、洗浄液がなくなるタイミングで[**洗浄液パウ チを交換してください**。]が表示されます。洗浄液を準備する時間を確保するため、洗浄液を交換していないときは[いい え]をタップしてください。

関連情報

• P. 118 洗浄液の交換方法

[洗浄液パウチをセットしてください。]

洗浄液パウチがついていない洗浄カートリッジをセットする、または洗浄カートリッジを機体から取り外したときに表示されます。

新しい洗浄液パウチを正しくセットし洗浄カートリッジを取り付ける、または速やかに 洗浄カートリッジを挿入してください。 洗浄カートリッジを取り付けると、洗浄液パウチ交換の確認画面が表示されます。

•洗浄液パウチを交換した場合は[はい]をタップしてください。洗浄液の残量がリセットされます。

• 交換していない場合は[いいえ]をタップしてください。洗浄液の残量は変更されません。

(メモ

洗浄液パウチを交換していないのに洗浄液パウチ交換の確認画面で[**はい**]をタップすると、洗浄液の残量がリセットされます。その場合、洗浄液の残量が残りわずかになっても通知が表示されずに、洗浄液がなくなるタイミングで[**洗浄** 液パウチを交換してください。]が表示されます。洗浄液を準備する時間を確保するため、洗浄液を交換していないときは[**いいえ**]をタップしてください。

関連情報

• P. 118 洗浄液の交換方法

[洗浄液が残りわずかです。]

洗浄液が少なくなったときに表示されます。

空になるまで使用することができますので、すぐに交換する必要はありません。ただし、空になると印刷ができません。このメ ッセージが表示されたら、交換用の洗浄液パウチを準備してください。

[インク攪拌の時期です。]

インク攪拌の時期が来ると表示されます。

[環境設定]>[通知の表示/非表示]の[インク攪拌通知]をオンにすると、前回のインク攪拌から1日経過すると表示されます。 [インク攪拌の時期です。]が表示されたら、[OK]をタップして表示を消します。



ホワイトインクのカートリッジを抜き、50回(20秒程度)振ってから再び差し込んでください。 完了後、[**はい**]をタップします。

[巻取装置の動作を停止しました。]

メディア送り中または引き戻し中にダンサーローラーの位置が検出できない状態が続いたときに表示して、巻取装置を停止させ ます。

[巻取装置の動作を停止しました。]が表示されたら、[OK]をタップして表示を消します。



から[**巻取装置の動作を停止しました**。]をタップして、画面の指示に従って、巻取装置を復帰してください。

[すべてのグリットローラー位置にミドルピンチローラーを配置してください。]

ミドルピンチローラーが正しく配置されていないときに表示されます。 左右ピンチローラーの間の正しい位置にミドルピンチローラーを配置してください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[メディアクランプを正しくセットしてください。]

メディアクランプが既定の位置に配置されていないときに表示されます。

メディアの取り付け状態とピンチローラーが正しく配置されていることを確認し、メディアクランプをメディアの端に正しくセットしてください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[メディアクランプが検出できませんでした。]

メディアクランプがメディアで隠れてしまい、メディアクランプが検出できないときに表示されます。

メディアの取り付け状態とピンチローラーが正しく配置されていることを確認し、メディアクランプをメディアの端に正しくセットしてください。

メディアクランプの読み取り部分がインクなどで汚れてメディアクランプが検出できないときに表示されます。

洗浄液とクリーニングスティックを使って、メディアクランプの白い部分を清掃してください。



印刷直後のメディアがあたるなどして、マルチセンサーがインクなどで汚れてメディアクランプが検出できていない可能性があ ります。

メディアクランプを正しくセットし、かつメディアクランプの読み取り部分を清掃してもこのメッセージが表示される場合は、 お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。





• P. 32 新規メディアのセットアップ

• P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[LAN ケーブルが接続されていません。]

機体とコンピューターが LAN ケーブルで接続されていないときに表示されます。

LAN ケーブルを正しく接続してください。

[接続に時間がかかっています。IP アドレスを手動設定すると改善します。]

IP アドレス自動取得が有効で、自動取得中に DHCP サーバーが存在しないネットワークに接続したときに表示されます。 DHCP サーバーが存在するネットワークに接続するか、IP アドレス自動取得をオフにして固定の IP アドレスを設定してください。

[消費期限が切れているインクがあります。]

インクの消費期限が切れました。

消費期限内のインクパウチに交換してください。

関連情報

• P. 112 インクの交換方法

[メディアを自動検出できませんでした。手動で印刷領域を設定します。]

反射率が高いメディアをセットアップすると表示されます。手動で印刷領域を設定してください。

手順

- 1. 上記メッセージが出ている画面で[OK]をタップする。
- [変更]をタップする。
 [ピンチローラーの内側に印刷領域の右端を設定してください。]画面が表示されます。
- **3.**

 を押して、カッターの中心(A)を右側ピンチローラーの左端から 2 mm 程度内側(B)に移動

 する。





7. [OK]をタップする。

エラーメッセージ

本機の表示画面に表示されるエラーメッセージとその対処方法です。

画面の指示にしたがってエラーを解消するか、一度電源をオフにしてから本機の操作を再開してください。

画面に表示された対処を行っても復帰できない場合や、ここに記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、お買い 上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

[インクカートリッジエラー]

インクカートリッジに以下のエラーを検出すると表示します。

・メモう

エラー発生時は、画面の対応するインクカートリッジに 🔀、😑 または የ のアイコンが表示されます。

エラーに応じた対処方法を実施してください。

・ インクが空になったとき

[Empty][インクが空になりました。]

新しいインクパウチと交換して、インクカートリッジを取り付ける。

いずれかのインクカートリッジを取り外したとき

😑 [Removed][インクカートリッジが取り外されました。]

取り外したインクカートリッジを取り付ける。

• 異なるカラーのインクカートリッジを取り付けたとき

(Wrong)[誤ったインクカートリッジがセットされています。]
 誤って取り付けたインクカートリッジを取り外し、正しいインクカートリッジを取り付ける。
 インクカートリッジを取り外すと、
 [Removed][インクカートリッジが取り外されました。]が表示されます。

[カバーオープンエラー]

フロントカバー、カバー R、カバー L、リア UV シールドのいずれかが開いています。 機体動作中にカバーを開くと安全のため、機体を停止させます。 開いているカバーを閉じてください。

[メディアエンドエラー]

以下のいずれかを検出したときに表示します。

• 巻取装置セットアップ中や印刷出力中にメディア残量が足りなくなった

メディアを送っているときにメディアがなくなった

新しいメディアに取り替えて、データを送り直してください。

[ピンチレバーエラー]

メディアのセットアップ中またはセットアップ後にローディングレバーを上げた。 ローディングレバーを下げてセットアップをやり直してください。

[メディアセットエラー]

[メディアエッジ検出]を[有効]に設定している状態で、かつピンチローラーが正しくセットされておらずメディアを送れていないときに表示します。

いったんローディングレバーを上げ、ピンチローラーを正しくセットし、メディアのセットアップをやり直してください。

[メディアエッジ検出]を[有効]に設定していて、かつメディアの長さが短いときに表示します。

使用しているメディアが、検出に必要な長さに達していません。いったんローディングレバーを上げ、[メディアエッジ検出]を [無効]に設定してからメディアをセットアップし直してください。

[メディアエッジ検出]を[無効]にした場合のセットアップ方法は、1.B:メディアの位置を決める([メディアエッジ検出]:[無効]の場合)(P.60)を参照してください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[廃液ボトルエラー]

廃液ボトル内の廃液が処理する液量に達したときに表示します。

廃液ボトル内の廃液を捨て、廃液ボトルを取り付けてください。

(メモ

廃液ボトルを取り外すとエラーメッセージが[廃液ボトルをセットしてください]に切り替わります。

廃液ボトルの位置がずれたときに表示します。

廃液ボトルをセットしなおしてください。

[クロップマーク検出エラー]

[クロップマークを検出できませんでした。]

クロップマークの自動検出ができなかった。

[マルチセンサー調整](クロップマークの読み取りセンサーの補正機能)を使って補正してみてください。なお、メディアによっては自動検出ができないことがあります。

[クロップマークを検出しましたが、サイズや位置が不正です。]

クロップマークの自動検出ができなかった。

データの出力設定を確認したのちに、正しい位置にメディアを取り付け、再度クロップマークの検出を行ってください。再度クロップマークの自動検出を行ってもエラーが表示されるときは、クロップマークの印刷からやり直してください。

関連情報

- P.32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ
- P. 150 クロップ&カットの方法
- P. 205 読み取りセンサーを補正する

[ワイパー洗浄液が充てんできません]

洗浄カートリッジ内の洗浄液パウチが空になった。

速やかに新しい洗浄液パウチに交換してください。

[ピンチローラーエラー]

左(右)ピンチローラーがメディアを挟めない位置にあります。

いったんローディングレバーを上げ、ピンチローラーを正しい位置に移動してください。

関連情報

- P. 32 新規メディアのセットアップ
- P. 69 登録済みメディアのセットアップ

[ヘッド高さ不整合]

設定したプリントヘッド高さと実際のプリントヘッド高さが異なる。

画面の指示に従って、プリントヘッド高さを変更してください。プリントヘッドの高さを変更すると、画面に[**OK**]が表示されます。[**OK**]をタップして印刷を再開してください。

プリントヘッドキャリッジが移動したまま 10 分が経過した場合、ヘッド乾燥保護のためにプリントヘッドキャリッジはキャッ ピングされ、データはキャンセルされます。

関連情報

• P. 170 プリントヘッドの高さを変える

[メディア幅が不足]

[印刷データがメディアの幅を超えます。出力を続けますか?]

印刷データに対して取り付けたメディアの幅が足りないときに表示されます。

そのまま出力を続けるときは、[**出力を続ける**]をタップします。このとき、印刷領域からはみ出した部分は出力されません。 出力を中止するときは、[**キャンセル**]をタップします。データの出力設定を確認して、データを送り直してください。

[印刷データがメディアの幅を超えるため、クロップマークが書けません。出力を続けますか?]

以下のいずれかが検出されたとき表示されます。

- クロップマーク付きの印刷データに対して取り付けたメディアの幅が足りないとき
- 印刷データの幅が 60 mm 以下のとき

そのまま出力を続けるときは、[出力を続ける]をタップします。このときは、クロップマークなしで出力されます。

出力を中止するときは、[キャンセル]をタップします。データの出力設定を確認して、データを送り直してください。

出力するデータのサイズが小さすぎます。

左右(SCAN)方向のデータサイズを 61 mm 以上にしてください。そのまま出力を続けるときは、[**出力を続ける**]をタップします。このとき、クロップマークは印刷されません。

出力を中止するには、[キャンセル]をタップします。データサイズを大きくしてからデータを送り直してください。

[モーターエラー]

モーターエラーが発生しました。

作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。次に、エラーの原因を取り除き、すぐにサブ電源をオンにしてください。

エラーのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して壊れることがあります。このエラーが発生する原因には、メディアのセット方法の誤り、メディアづまり、メディアを無理に引っぱる操作などがあります。

メディアづまりを起こしています。

つまったメディアをていねいに取り除いてください。また、プリントヘッドがダメージを受けているかもしれません。ヘッドク リーニングをし、テストプリントで確認してください。

メディアを無理に引っぱっていませんか。

メディアに過剰な張力がかかっており、このままでは復帰できません。まずローディングレバーを上げてメディアを少しゆるめてから、サブ電源をオンにしてください。

[ヘッド乾燥エラー]

プリントヘッドの乾燥を防ぐため、強制的にスタンバイポジションに移動したときに表示されます。

作業は続行できません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。

[低温エラー]

機体の内部温度が動作可能な温度より低くなりました。

起動時に 16℃以下、または動作中に 14℃以下になると表示されます。 作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。 設置場所を動作可能な温度(20 ~ 32℃)にしたあと、電源をオンにしてください。

関連情報

• P. 28 電源の操作

[高温エラー]

機体の内部温度が動作可能な温度より高くなりました。

起動時に 45℃以上、または動作中(スリープ復帰時)に 50℃以上になると表示されます。 作業は続行できません。サブ電源をオフにしてください。 設置場所を動作可能な温度(20 ~ 32℃)にしたあと、電源をオンにしてください。

関連情報

• P. 28 電源の操作

[ポンプ停止エラー]

クリーニング中など、ポンプ作動中にインクカートリッジが抜かれる、またはインクがなくなった状態で 10 分以上経過したと きに表示されます。

作業は続行できません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。

[クリーニングエラー(インクカートリッジ)]

以下のいずれかが原因で、緊急停止しました。

- 「ダンパー内インク更新」の実施中にインクが無くなった。
- 「ダンパー内インク更新」の実施中にインクカートリッジが抜かれた。
- 初めてのインク充てん中にインクカートリッジが抜かれた。
- 作業は続行できません。以下の作業を実施してください。
- 1. インクカートリッジが差し込まれていること、インクが十分にあることを確認する。
- 2. サブ電源をオフにし、再びオンにする。
- 3. [ダンパー内インク更新]またはインク充てんを実施する。

メモ [ダンパー内インク更新]が途中で停止した場合は、〔A〕または〔B〕のホワイトインクがあるグループの[インク更新]を 実施してから再度[ダンパー内インク更新]を実施してください。 [A] の文字から(B) の文字までの間が、[A グループ]。(B) の文字から右のすべてが[B グループ]です。 テストプリントの結果がわかりにくいときは 明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

作業中にインクカートリッジエラーが表示されたときは、インクカートリッジの抜き差しを実施してください。

関連情報

• P. 272 ダンパー内インク更新の方法

[クリーニングエラー (廃液ボトル)]

以下のいずれかが検出されたときに表示します。

- 「ダンパー内インク更新」実行中に廃液ボトルを外した。
- 初めてのインク充てん中に廃液ボトルを外した。

作業は続行できません。以下の作業を実施してください。

- 1. インクカートリッジが差し込まれていること、インクが十分にあることを確認する。
- 2. サブ電源をオフにし、再びオンにする。
- 3. 「ダンパー内インク更新]またはインク充てんを実施する。

メモ

[ダンパー内インク更新]が途中で停止した場合は、〔A〕または〔B〕のホワイトインクがあるグループの[インク更新]を 実施してから再度[ダンパー内インク更新]を実施してください。

[A] の文字から(B) の文字までの間が、[A グループ]。(B) の文字から右のすべてが[B グループ]です。



テストプリントの結果がわかりにくいときは

明るい場所で視線を変えながら結果を確認してください。光の反射を利用して目視が可能です。

作業中にインクカートリッジエラーが表示されたときは、インクカートリッジの抜き差しを実施してください。

[巻取装置通信エラー]

巻取装置セットアップ時に接続が切れるなどのエラーが発生したときに表示されます。

作業は続行できません。サブ電源、メイン電源の順にオフしてください。巻取装置が正しく接続されていることを確認したのち にメイン電源、サブ電源の順で、再びオンにしてください。

[サービスコール]

復帰不能なエラーが発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった。

操作パネルに表示されている番号を確認してから、サブ電源をオフにします。電源をオフにしたあと、お買い上げの販売店また は当社コールセンターまでご連絡ください。

[ソフトウェアエラー]

機体内部の通信やアプリケーションに異常が発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった。

メイン電源をオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてもエラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店また は当社コールセンターまでご連絡ください。



移送するときの作業

移送の準備をする 347 Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す 347 Step 2: インクを循環させる(ホワイトインクを使用している場合のみ) 349 Step 3: 廃液を捨てる 350 Step 4: プリントヘッドを固定具で固定する 352 Step 5: 再設置する 354

移送の準備をする

移送前に廃液を処分して、プリントヘッドを固定します。また、ホワイトインクをお使いの場合は、手動で循環を行う必要があ ります。移送前の準備をしないと、インクが漏れて内部の機器を傷めたり、プリントヘッドが壊れたりする原因になりますので ご注意ください。

重要

- 準備ができたら速やかに移送し、移送後すぐに電源を入れてください。電源を入れずに放置すると、沈殿したインクが 固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります
- 移送時は、温度 5~40°C、湿度 20~80 %RH(ただし結露のないこと)を保ってください。守らないと、故障の原因になります
- 衝撃を与えたり、傾けたりしないよう、慎重に移送してください

Step 1: メディアとカッターホルダーを取り外す

メモ
 操作パネルにはカッターを交換する手順が表示されますが、ここではカッターを取り外す作業だけ行ってください。

手順

メディアを取り外す。
 メディアが取り付けられている場合は、メディアを取り外します。
 メディアが取り付けられていない場合は、ローディングレバーを上げます。



- **2.** をタップする。
- [メンテナンス]>[カッター交換]をタップする。
 [カッター交換]画面が表示されます。
- **4.** [実行]をタップする。 カッティングキャリッジがカッター交換可能な位置まで移動します。
- 5. [フロントカバーを開けてください。]と表示されたら、フロントカバーを開ける。

- 6. カッターホルダーを取り外す。
- **7.** ネジを締める。
- **8.** [**すべて完了**]をタップする。
- **9.** フロントカバーを閉じる。
- 10. かりして、もとの画面に戻る。

Step 2: インクを循環させる(ホワイトインクを使用している場合のみ)

※以下のインクタイプには不要な作業です。

•4色:CMYK





7. サブ電源をオフにする。

8. メイン電源をオフにする。

Step 4: プリントヘッドを固定具で固定する

手順

1. カバーLを開ける。



3. フロントカバーを開ける。



4. 取り外した固定具 C でプリントヘッドを固定する。



5. フロントカバーおよびカバーLを閉じる。

Step 5: 再設置する

手順

- 1. 準備ができたら、時間をおかずすぐに移送する。
 - 2. すぐに設置し直し、フロントカバーを開ける。



3. プリントヘッドを固定した固定具 C を取り外す。



4. カバーLを開ける。



5. 保管のため、固定具 C は図の位置に取り付ける。



- **6.** フロントカバーおよびカバー L を閉じる。
 - 7. メイン電源をオンにする。

重要

プリントヘッドの故障などを避けるために、なるべく時間をおかずに移送を完了し、移送後はすぐにメイン電源 をオンにしてください。再設置は、セットアップガイドの手順に従ってください。

8. サブ電源をオンにする。

ホーム画面が表示されます。

関連情報

• P. 118 洗浄液の交換方法

主な仕様

印刷/カッティング領域	
最大領域	
クロップマーク使用時の最大印刷領域	
連続印刷時のメディア切り離し位置	
カッターについて	

最大領域

取り付けたメディアの横方向(キャリッジの移動方向)の印刷/カッティング領域は、ピンチローラーの位置で決まります。



1	ピンチローラー
2	印刷またはカッティング領域
3	印刷またはカッティング座標原点
А	75 mm
В	10 mm
С	1.5 mm
D	最大 24,998 mm
E	64 インチモデル:最大 1,600 mm 54 インチモデル:最大 1,346 mm 30 インチモデル:最大 736 mm
F	最大 220 mm

クロップマーク使用時の最大印刷領域

クロップマークを使用する場合の最大印刷領域は、クロップマーク未使用時の最大印刷領域よりもクロップマークの分だけ小さ くなります。



12.5 mm

10 mm

A B

連続印刷時のメディア切り離し位置

コンピューターからメディアを切り離す命令を送った場合、メディアの切り離し位置は下図のようになります。



1	1ページ目
2	2ページ目
3	切り離し位置
4	余白(ソフトウェア RIP の値)
Α	35 ~ 75 mm (初期値:75 mm)
同じカッターを使っていても、メディアや使用環境によって、カッティング条件やカッターの寿命は変わってきます。また、カ ッターの種類によって寿命も違います。おおよその目安は下記のとおりです。

カッター	メディア	カッター圧	カッターオフセット (刃先補正量)	寿命(目安)*1
ZEC-U5032	サインシート一般	$30 \sim 100 \ { m gf}$	0.25 mm	8,000 m
ZEC-U5025	サインシート一般	$30 \sim 100 \ { m gf}$	0.25 mm	4,000 m
	蛍光シート	$120\sim 200~{ m gf}$	0.25 mm	4,000 m
	反射シート	$100\sim 200~{ m gf}$	0.25 mm	4,000 m

*1 「寿命」は、同一種類のメディアをカットした場合の目安です

カッター圧をこの表に示したものより 50~60 gf 以上高くしても切り残しができる場合はカッターを交換してください。

Memo

この文書について	
ソフトウエアについて	363

この文書について

本書は LG-640/540/300 共通のユーザーズマニュアルです。機種を区別する必要がある場合、本書内では各機種を次のように 表記しています。

- LG-640:64 インチモデル
- LG-540:54 インチモデル
- LG-300:30 インチモデル

本書内のイラストはおもに LG-640 のものを使用しています。

ソフトウエアについて

当製品には、イーソル株式会社の eT-Kernel [eT-Kernel Multi-Core Edition] 及 び TCP/IP プロトコルスタック [PrCONNECT(R)/Pro] が搭載されています。eT-kernel,PrCONNECT は、イーソル株式会社の登録商標です。

記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

